



高知大学
Kochi University

2012 大学案内



いざ、飛び込め。
高知の「フィールド」へ。





INDEX

特集

高知を学びつくせ! 04

学びの構造 11
 共通教育 13

▶ 各学部の情報や特徴は?

学部紹介
 人文学部 21
 教育学部 25
 理学部 29
 医学部 33
 農学部 37
 クローズアップ 41
 教員紹介 45

▶ もっと学びたい時は?

大学院 51
 国際交流 53

▶ 学びの設備や環境は?

学びの環境 — 教育研究施設 56

▶ 大学生活について詳しく知りたい!

キャンパスライフ
 年間スケジュール 61
 朝倉キャンパス(人文・教育・理学部) 63
 岡豊キャンパス(医学部) 65
 物部キャンパス(農学部) 67
 サークル活動 69
 学生の暮らし 73

▶ 入試に関する情報

入試データ 75

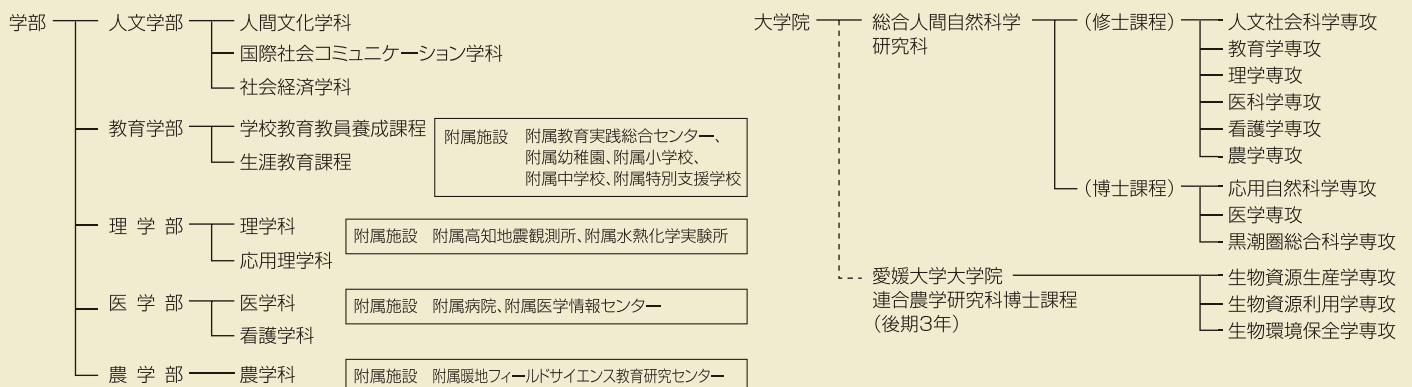
▶ 就職に関する情報

就職活動支援 79

▶ ようこそ、高知大学へ

学長からのメッセージ 87
 オープンキャンパス 88

▶ 組織図



特集

学び方・フィールド・研究

高知を 学びつくせ!

『興味があるからやるというよりは、
やるから興味ができる場合がどうも多いようである——』

これは、物理学者であり随筆家でもある寺田寅彦の言葉。
科学と芸術の融合を試みた先駆者ともいわれる寅彦は、
ここ高知で、豊かな感性と知識の土台を築いた。

今、大学4年間という人生で最も輝く時を高知で過ごそうとしているあなたに、
この言葉を贈りたい。

4年間をいかに濃密な時間にするかは、あなた次第。

何にでも興味を持って果敢にチャレンジしてほしい。

寅彦の精神を育んだ高知には、あなたの心を揺り動かす
まだ見ぬ何かがかきっと待っているはずだ。





心揺さぶる出会い



師から学ぶ

ゼミで、あくなき“ものづくり”に挑戦

成田 幸紀

理学部 応用理学科 情報コース4年 | 愛媛県出身

大学での学びと聞いてまず思い浮かべるのは「ゼミ」。このゼミにこそ、学びの個性が特徴づけられている。

成田幸紀さんは、教育工学を専門とする岡本竜准教授の研究室に在籍する4年生。学習や討論によって知識が洗練されていくサイクルを“見える化”し、人の学習を支援しようという目的のもと、ネットワークやデータベース技術を利用したソフトウェアの開発に取り組んでいる。「僕にとって、大学で学ぶ意義はゼミにあるといってもいい。何よりもゼミでの時間が、自分にとって最も刺激を受ける時間です」

3年生のゼミ配属で岡本准教授の研究室を選んだのは、研究内容への興味と、先生の人柄に惹かれて。

「研究室訪問の時、先生が僕の名前を覚えてくれたんです。びっくりして、感激しました」

“師”との出会い。配属されると、さらに多くの心強い存在が待っていた。研究室の先輩たちだ。

「最初のゼミは、今後の研究に必要なプログラミング技術を習得するためのものでした。僕たち3年生が与えられた課題をやっていくと、先生と先輩たち全員が参加して1対5とか1対6でそれぞれについての議論や評価が行われます。プログラミングで大切なこと——例えば言われたことだ

けやってもダメでプラスαが大事だとか、挑戦する姿勢だとかは、すべてそこで教わりました」

先生や先輩たちから刺激を受け、技術はもちろんモチベーションも上がったという。

「ゼミは午後2時50分からの1コマ90分。でも、気がつくといつも夜の7時とか8時になっていて…(笑)。濃密な時間でしたね」

4年生で卒業研究が始まると、学びはさらに深まった。

「卒論テーマを設定するにあたって、『何のために作るのか』ということと先生とよく話し合いました。それまでの技術習得は、新しいことをやるための土台。課題をやり遂げた達成感やプラスαへの評価は純粹にうれしかったけれど、研究では作ることの根拠や意味が大切だと気づかされました」

今は岡本先生との個別ミーティングが自分にとって最も充実した時間、と成田さんは言う。

「先生との1対1の時間の中で、自分たちがやっているソフトウェア開発の意義も見えてきました。『かつてワープロの発明によって仕事の質が変わったように、人間の頭の中のできごとが明らかになることでまったく新しい価値が生まれるかもしれない』——先生の話聞いて、

そういう世界があるんだ!とものすごく惹きつけられました。

大学とは、そんな高みに挑める場だと思います」

師弟の出会い。学問との出会い。それが世界を広げてくれた。成田さんは春から大学院に進学する。さらなる高みを目指し、ものづくりの道は続く。

ゼミで人から刺激、学問から刺激



岡本准教授との出会いが、新しい世界を開いてくれた



ゼミの仲間から卒論への意見をもらう成田さん

地域から学ぶ

授業がきっかけで広がった、日曜市サポート活動

浅川 直也

人文学部 社会経済学科2年 | 高知県出身

大学における授業や学びは、大学の中だけで行われるものではない。浅川直也さんはこの2年間、様々な授業で地域に出て学んだ。

「入学してすぐ、共通教育の『地域協働入門』で山あいの集落に入り農業体験をしました。実を言うと、単位目当てでとった授業。でも、クワ一本で山を耕す過酷さを体験しながら講義では過疎高齢化の問題や山の豊かさについて学ぶ中で、知識と体験とが一緒になってストンと自分の中に入ってきました。初めての経験でしたね」

これをきっかけに、一気にやりたい気持ちか膨らんだという。「ただ正直、僕には農業がきつくて…(笑)。先生に相談したら、じゃあ日曜市はどうだ、今度日曜市をテーマに授業をしてみたいからお前が先遣隊で行って見て来い!と放り出されたんです。乱暴な話でしょう?」

浅川さんは楽しそうに振り返る。

「日曜市は高知の街路市。出店しているのは近隣や中山間の農家の方で、かなり高齢化が進んでいます。僕は最初の授業で相当しんどい思いをして農業をやりましたが、高齢者の方たちがそんな苦勞をしながらなぜ日曜市を続けているのだらうと、興味を持ちました」

日曜市を管理している市役所の職員と話し合い、授業では

『サンデーマーケットサポーターズ』として店番や荷物運びなど、出店者の販売支援を行うことになった。

「毎週、早朝から日曜市に通いました。その中で疑問もたくさん生まれました。みなさん、僕らが一生懸命売ろうとすると『そんなに売らんでえい』と言う。同じようなものを置く隣の店の店番もやってあげている。何で?と思いましたね。そしてすごくここが好きになりました」

しかし授業には期限がある。行政と一緒にやっているため制約もある。

「2年生では長期インターンシップというかたちで活動を続けましたが、さらに深く関わっていくために仲間と一緒に学生団体を立ち上げました」

そんな彼らの想いが原動力となり、日曜市に新しい変化も起きた。新設された休憩所兼観覧案内所は、大学生が運営を担当。出店者と学生の直のネットワークもできた。

「今は、日曜市で感じたことを学問的に考えたくて自分たちで先生を探し、自主ゼミとして『組織論』を勉強しています。また日曜市ファンを増やしたい、他の学生の“気づき”のきっかけにしてもらいたいと、出店農家への体験ツアーも行っています」

授業をきっかけに目覚めた自分の中のやる気。浅川さん

たち学生の変化と共に、日曜市サポート活動も授業という枠を超え、地域に認められていった。

「できれば将来もずっと日曜市に関わっていきたい。自分がどういふふうにか世の中の役に立てるのか、それを探していきたいと思います」

外の世界で感じた 疑問や共感に“化学反応”



観光客に日曜市案内をする学生たち



販売のお手伝い。おしゃべりも大事な交流

特集 高知を学びつくせ!
フィールド

多様なフィールドで “宝探し”を

豊かさのものをさし

山の暮らしから学んだ、人生の価値観

栗原 浩太

農学部 農学科 国際支援学コース4年 | 埼玉県出身

山、川、海の自然のフィールドに恵まれる高知。しかし、初めての「田舎」に驚く学生も多い。栗原浩太さんも当初はそんな一人だった。「僕が高知に来たのは海や魚、黒潮に興味があったから。でも実際に来てみて、少なからず衝撃を受けました。路面電車は遅いし、店も遊ぶ場所も少ない。不便だなと…(笑)」水産学を志して国際支援学コースに進み、2年生の時、海外フィールドサイエンス実習でタイに行った。「それはもう、高知に来た時以上に衝撃的でしたね」発展途上。昔の日本みたい。第一印象はそう感じたという。「けれど、気づいたんです。便利さ=豊かさなのかと。予想以上に世界は広い。多様性があると感じました」徐々に、自分の中に変化が起こった。「それまでは水産学で一つの研究を極めようと思っていました。でももっと多面的に広い視野でものごとに向き合いたいと思うようになり、社会学の道に進みました」そして出会ったのが、大豊町^{ぬた}怒田集落。人口約100人、高齢化率は60%を超える、山の中の小さな村だ。「まず人工物がない！ 棚田の風景、段差のある緑——まったく見たことのない景色で、それは美しかったですね。そして、そこに暮らすお年寄りたちは何より地域に適応し

た暮らしをしていました。僕はここ怒田で卒業論文のテーマを探することにしました」栗原さんが怒田に入ると前後して、他にも何人かの学生が村に入った。土壌学を学ぶ学生は焼畑の研究を、果樹園芸学を学ぶ学生はブルーベリーの試験栽培を、流域環境工学を学ぶ学生は小水力発電の実験をテーマにしていた。「僕はそれらの学生研究に関わらせてもらいながら、集落の人たちとも交流をし、社会学の視点から中山間地域の未来を考えていきました」大学が借りてくれた集落の空き家を拠点に、頻繁に怒田に通った。集落の道役^{みちやく}や神祭に参加させてもらい、山の暮らしを体感。学生同士、熱く議論もした。「中山間地域は、日本の国土の65%を占めます。けれど僕自身がそうだったように、みんな関心が薄い。そこがまず問題だと感じました」栗原さんは卒論と平行して、大学生の関心を高めようと怒田での週末合宿やワークショップを企画。問題意識を共有する取り組みに力を入れた。「ここで得たものはたくさんありますが、一番は生きていく上での価値観を教わったこと。『生活の質=やりがいを見つけること』だということです。それが豊かさの本質で

あり、社会の発展や便利さと必ずしもイコールではない」卒業後、栗原さんは都会に戻る。「怒田との出会いが教えてくれた『豊かさのものをさし』。高知を離れても、変わることはありません」※道役：近隣で集まって水路の掃除や草刈をすること

視点が変われば
「何にもない」が「何でもある」に!



山の暮らしで豊かさを実感



地域の方の指導のもと、焼畑を体験

未来へのまなざし

子どもを取り巻く環境を守り、育む

柴本 里咲 / 酒井 美穂

教育学部 学校教育教員養成課程3年 | 香川県出身・山口県出身

学びや活動のフィールドは、何も自然の恵みばかりとは限らない。柴本里咲さんは、高知子ども守り隊『守るんジャー』の6代目隊長。「守るんジャーは、下校中の子どもたちの安全を見守る活動です。現在は朝倉キャンパス近くの2つの小学校で通学路をパトロールしながら、交通安全のマナーなどを指導しています。目印はこのグリーンのユニフォーム。子どもたちもよく親しんでくれます(笑)」しかし活動の対象は子どもたちだけではない。「私たちが通学路に立つことで、そこを通る車も交通マナーを意識しますよね。子どもを狙った犯罪の抑止力にもなる。子どもたちを取り巻く環境に、安全というキーワードで貢献するのが守るんジャーなんです」メンバーになって、あらためて気づいたこともある。「私は将来、学校の教員になりたいと思っています。でも、子どもが育っていくのは学校だけじゃない。まずは家庭、学校、そしてそこに地域が加わることで、子どもの可能性は何倍にも広がると思うんです」地域のつながり、包容力。それが子どもたちを豊かに育んでくれる。その視点を心得、活動の幅も広がった。「今は、近隣の清掃活動をする『クリーン作戦』を実行した

り、夏祭りなどの地域行事に参加させてもらったり…。私たち大学生も地域の一員として、地元の方たちと一緒に子どもたちを見守っていききたい。そんな想いで日々活動をしています」一方、大学から遠く離れた地域で、子どもたちの豊かな育ちに貢献した学生もいる。酒井美穂さんは、ゼミの仲間と一緒に県西部の四万十市東中筋中学校で『山の中の音楽会』を開催した。「東西に長い高知県では、中心部から離れると本物の音楽に触れる機会はぐっと少なくなります。そこで私たち大学生が企画・演出・出演をして、地域の子どもからお年寄りまでみんなが楽しめる音楽会を企画しました」目的は、音楽の楽しさを伝えること。教員を目指す学生と音楽を専攻する学生とが、互いの得意を出し合って一から手作りしていった。「すべてが初めての体験。とまどったり、行き詰まることもありました。でも『誰のために』『何のために』やるのかを考え練習を重ねていくうちに、恥ずかしさが消え表現自体を楽しめるようになりました」受身から主体的な姿勢に変わった結果、と酒井さんは言う。

「音楽活動って、人と人のつながりなんですよ。山の中の音楽会ではそれを実感させてもらいました。この経験は私にとって大切な宝物。子どもたちにとっても同じであつたらうれしいですね」守るんジャーの活動も、山の中の音楽会も、共通するのは未来を担う子どもたちへの温かいまなざし。そしてそれは、彼ら自身の未来とも交差している。

フィールド=場所とは限らない。
人とのつながりが学びの現場

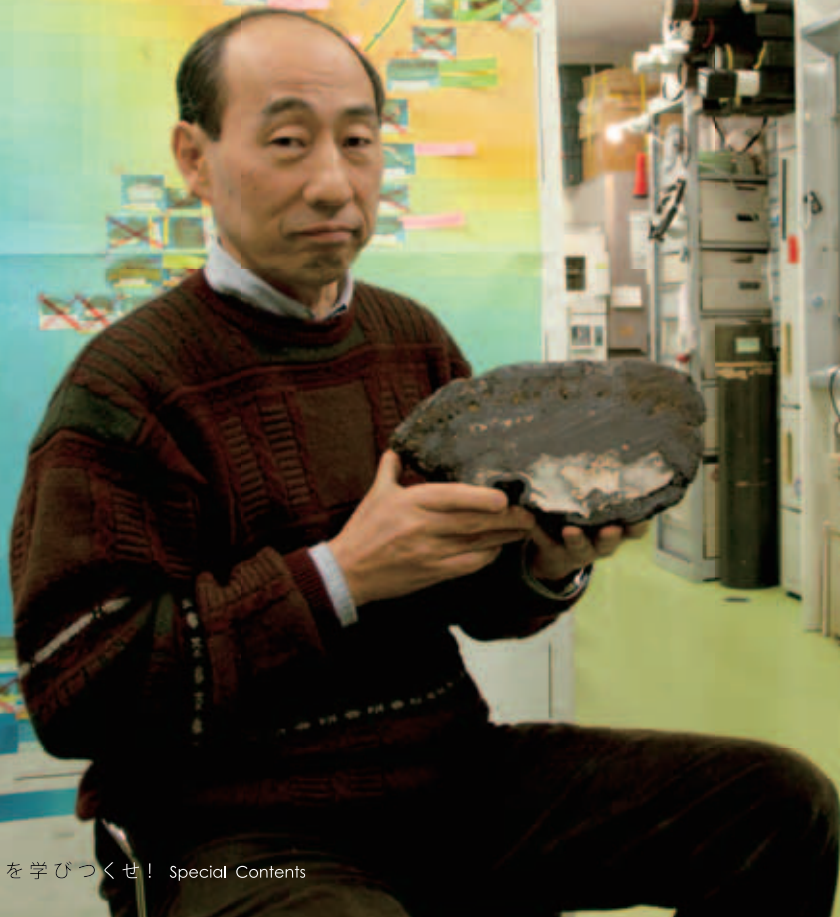


山の中の音楽会での舞台の様子

特集 高知を学びつくせ!
研究



研究も人生も近道なし



夢中になる幸せ

世界初の手術ナビシステムを開発! 目指すのは安全な医療

佐藤 隆幸 教授

医学部

高知大学に、世界初となる医療技術を開発した医師がいる。佐藤隆幸教授は、近赤外蛍光によって体内の血管やリンパ管など目的部位を可視化し、それをカラー映像化する手術ナビゲーションシステムを企業と共同開発した。従来の放射線を使った画像診断と比べ患者への負担が少ない上、手術の安全性・正確性も向上する画期的な技術。世界の医療現場で活用が期待されている。

「僕はよく人から、『本当にお医者さんですか?』と聞かれるんですよ(笑)。その理由は、エンジニアリングの知識や技術を知っているから。みなさん『どうして?』と不思議がられます」

研究の道を選んだのは、臨床医をやっている世の中には治らない病気があることが身に沁みたからだという。

「治らない病気に対応するには、新しいことにチャレンジするしかなかった。病院を辞め、母校の高知大学に戻り、そこから国立循環器病センターに入って人工心臓の研究に没頭しました。そこですごくイヤだったんだけど(笑)、制御工学や情報工学の知識が必要になって、専門誌や本を大量に買ってきて独学で勉強をしました。寝ずにやりましたね」その時役に立ったのが、高校時代に習った三角関数や複素数など数学の知識だった。

「このインフラがなかったら、工学の勉強は到底無理でした。人生何が役に立つかわからないと思いましたね。だから若い人には、受験に関係なくいろんなことを学んで!と言いたい。何かをする時、それが将来役に立つかどうかばかり考えて判断するのはよくありません。それは短期的なものの見方です。それでは、夢中になれることを探すとか取り憑かれるように仕事をするといった、心豊かな人生に巡り合うチャンスを減らしてしまう」

夢中になれる人材になってほしい——。研究の道に教育の道が重なったのは、自然な流れだったと佐藤教授は言う。「僕が大事にしているのは、学生に介入しすぎないこと。学習に報酬を与えたり、間違えた時にすぐに手を出してはいけません。とことん困れば、学生は自分自身でどうすればいいか考えます。それが長い目で見て本当の成長につながる。そういった意味で“何もしない”という勇気を持って学生に接しています」

そこには、研究者だからこそ感じるもう一つの想いがあった。「安全な医療の現場を築くために、僕は新しい技術を開発してきました。しかし、高度な医療機器が導入され、役割が細分化する中で、何か一つ足りない」と医師は何もできないというのでは問題です。自分の頭で考えること、

患者さんとのコミュニケーションや、機器についての基本的な知識を絶対におろそかにしないこと。そういうことを学生にきちんと伝えるのが、僕のもう一つの責任。それが目指すべき安全な医療の現場だと思っています」

「近赤外蛍光カラーカメラシステム」で医療の常識が変わる!

※瑞穂医科工業、三洋半導体などの共同開発



バイパス手術によって、心臓の筋肉への血流が回復したことが、近赤外蛍光という光によって確認できる。人の目には、この光は見えない。

一生ものの興味

日本近海にレアメタル鉱床を発見! 膨らむ、未来への可能性

白井 朗 教授

理学部

今、世界は鉱物資源の枯渇化に直面している。この問題を解決する有力候補が、地球の表面積の7割以上を占める海だ。海底資源研究の第一人者といわれる白井朗教授は、東京大学との共同調査によって日本最東端の南鳥島沖の海底に日本最大級となるマンガンクラストの巨大鉱床を発見した。最先端産業に欠かせないレアメタル(コバルト、ニッケル、白金など)やレアアース(希土類元素)を豊富に含むこの鉱床が、資源のない日本にとって救世主となるかどうか、注目が集まっている。

「この黒い塊がマンガンクラストの一部です。一世代前までは深海からこのような試料を採取してくるなんて夢のような話でした。観測衛星や掘削船などの技術が発達し、ようやく研究が進化したのがここ20年くらいでしょうか」深海研究における世界三大拠点の一つ、海洋コア総合研究センターを有する高知大学は、今も海洋地質研究のフロントランナーだ。

「ここでは地球の歴史や生命の進化、海洋資源の有効利用など様々な研究がなされています。とはいえ、深海はまだ未知の世界。わからないことだらけなんですよ」白井教授は慎重に言葉を選ぶ。

「深海に眠るレアメタル鉱床は、将来への大きな可能性

を秘めています。けれど、今の段階でそれが何十兆円分のお宝だなどとセンセーショナルに煽り立てるのは、少し違います。開発にはまず地球規模での環境保全が優先します。将来は希望に満ちていますが、その前に十分な科学調査が必要なのです」

ふだんから現場である海と研究室を往復する白井教授。「現場に行くのは、理論として考えたことが本当にその場で起きているかどうかを確かめるためです。そのやりとりを繰り返すことで、だんだんと規則性が見えてくる。鉱物資源の発達や分布、環境インパクトの評価に必要な情報なども、そういった中から読み取れます」

目先の利益ではなく長期的な視点で考えることが大切。それは大学の学びでも同じだという。

「大学でも、目先の就職のためだけではなく、生きていく上で困らないような判断を下せるための原理や原則を学ぶことが大切です。すぐに答えが出ることだけを求めていると、挫折や勘違いを起こしやすい。もう少し長いスケールでものごとを見て、人生の役に立つような広い知識を学ぶ。一生かけても尽きない興味と出会う。それが、大学の醍醐味ではないでしょうか。」

白井教授は、大学を「海」に例える。

「高知大学には大変貴重な“絶滅危惧種”のような人もたくさんいて、多様性が保たれています。それはまるで海のような(笑)。今はたった一つの基準で人間が判断されがちですが、高知大学はそうじゃない。タフな人間が育つし、何より楽しいと思いますよ」

深海の可能性は無限大!



鉱物資源の断面を顕微鏡で調べる



理学部棟には希少な試料がごろごろ

学びの構造

1年

共通教育

- 初年次教育
 - 大学基礎論
 - 課題探求実践セミナー
 - 学問基礎論
 - 大学英語入門
 - 英会話
 - 情報処理

- 教養科目
 - 人文分野
 - 生命・医療分野
 - 外国語分野
 - 社会分野
 - 自然分野

- 共通専門科目
 - 基礎科目
 - キャリア形成支援科目

学びのポイント

人間と世界についてしっかりとした考え方をくり上げ、自律的な能力の基盤を形成します。講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、実践の中で自分の幅を広げながら、専門教育へのプロセスを踏んでいきます。

どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる力や、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる力を育みます。

2年

専門教育

分野のキーワード

- 人文科学
- 社会科学
- 異文化間理解
- グローバル社会
- 現代社会
- 地域社会

人文学部

▶ 21p

学科/課程

人間文化学科

コース

- 人間基礎論コース
- 地域変動論コース
- 言語表象論コース

国際社会コミュニケーション学科

社会経済学科

- 総合地域政策コース
- 経済企業情報コース

教育学部

▶ 25p

- 教育学と心理学、理論と実践
- 各教科の高度な内容理解と指導法
- 障害のある子どもへの教育支援
- 美術工芸と音楽による芸術表現
- 基本的な実技とスポーツ諸科学
- 生活環境問題、多角的な学習

学校教育教員養成課程

- 教育科学コース
- 国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・音楽教育・美術教育・保健体育・技術教育・家庭科教育の各コース

生涯教育課程

- 特別支援教育コース
- 芸術文化コース
- スポーツ科学コース
- 生活環境コース

理学部

▶ 29p

- 数学的思考力・英語力・情報処理能力
- 科学の基礎法則
- 資源、エネルギー、レアメタル、化石
- 生物の多様性、環境、生命現象
- 防災、南海地震
- コンピュータ、情報理論

理学科

- 数学コース
- 物理科学コース
- 化学コース
- 生物科学コース
- 地球科学コース

応用理学科

- 情報科学コース
- 応用化学コース
- 海洋生命・分子工学コース
- 災害科学コース

医学部

▶ 33p

- 生命と健康を守る
- 身体、精神の苦しみを和らげる
- 病気、負傷などに対する治療を行う
- 身体機能の改善を助ける
- 健康への悪影響、病気を減らす
- 病気、身体、生命の仕組みを解明する

医学科

看護学科

農学部

▶ 37p

- 人と自然が共生する社会へ
- 生命の源、水と森を守る
- 海に資源の可能性を探る
- 食から始まる健全な暮らしと環境
- 化学で生命活動を解き明かす
- 循環型・持続型の地球社会を目指す

農学科

- 暖地農学コース
- 海洋生物生産学コース
- 食料科学コース
- 生命化学コース
- 自然環境学コース
- 流域環境工学コース
- 森林科学コース
- 国際支援学コース

4年 ※医学部医学科は6年

卒業

どんな力を身につけるのか

- 幅広い教養
 - 人文・社会科学に関する専門的知識
 - 国際化への対応に求められる知識や語学力
 - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
 - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
 - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
-
- 教育学・心理学理論に基づく教育実践力
 - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
 - 児童生徒の状況に応じた個別指導力
 - 芸術全般にわたっての知識・技術
 - スポーツの専門家としての教育・研究能力
 - 生活環境の創造に必要な知識・技術
-
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
 - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
 - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
 - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
 - 多様な生物の諸現象を正しく理解する力
 - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
-
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
 - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
 - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
 - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
 - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
 - 使命を達成するための自己管理能力
-
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
 - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
 - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
 - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
 - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
 - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力

進路

進学 → 51p

就職 → 79p

大学院（総合人間自然科学研究科）

修士課程

- 人文社会科学
- 教育学
- 理学
- 医科学
- 看護学
- 農学

博士課程

- 応用自然科学
- 医学
- 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年みの博士課程です。

主な職業イメージ

新聞社、テレビ局、中学校教員(国語、英語、社会)、高等学校教員(国語、英語、公民、地歴、商業)、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、デザイン・印刷・衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など

医学科: 病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者
看護学科: 看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者
共通: 国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

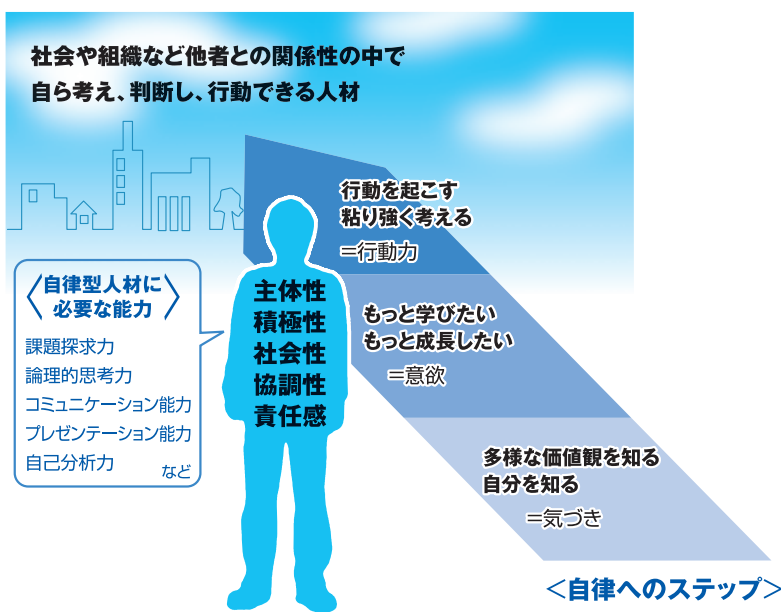
試験研究機関、公務員、教員、民間企業(食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント)、各種コンサルタント(環境科学・土木建設系など)、各種団体(農・林・水産系)、JICA、青年海外協力隊など

目指すのは自律型人材

今、社会は「自律型人材」を求めています。

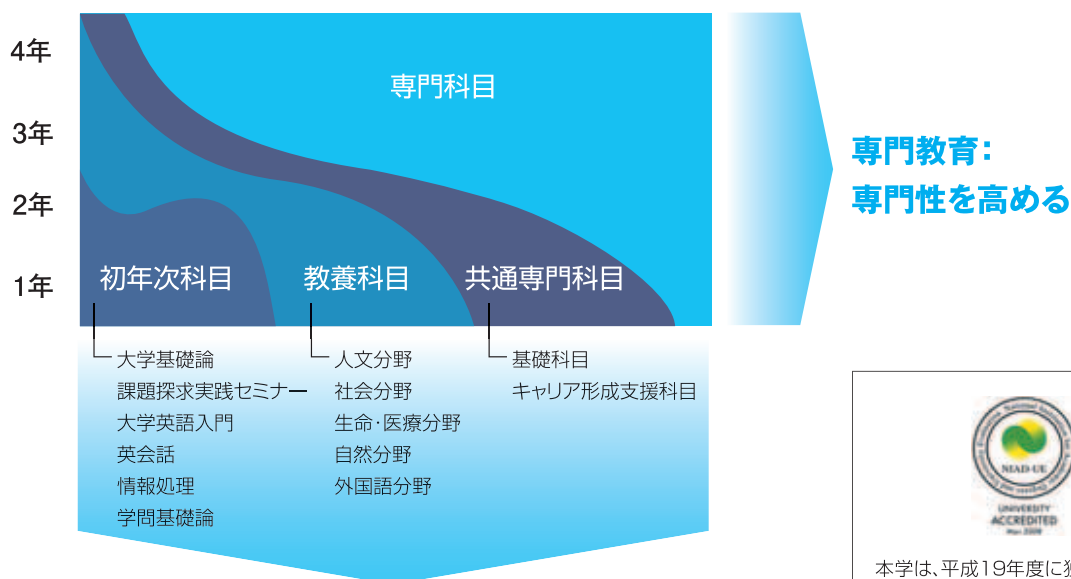
「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらし、意欲は「行動力」へとつながっていきます。高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。



教育課程の全体像

共通教育は「初年次科目」「教養科目」「共通専門科目」の3つの科目群で構成されています。共通教育で自律的な力を育みながら、それを基盤に各学部における「専門科目」を学修していきます



共通教育：自律的な力を育む



自律性を育む、独自のプログラム

キーワードは、

“枠を超える”

社会が求める自律型人材を育成するため、社会との協働を重視した学びを実践しています。

- 人** 学生や教員は学部という枠を超えて、企業人や地域で生きる人々はその立場を超えて、互いにコラボしながら授業や活動に参加します。
- フィールド** 形式にとらわれず、学びの“現場”には積極的に出ていきます。山、川、海、街…それぞれのフィールドの懐に入り込んで学びます。
- 社会** 社会は様々な組織やネットワークのつながり合い。そこで、企業やNPO、自治体などと協働し、社会に貢献しながら学んでいきます。



1 program

大学基礎論

学びの転換をはかる。

大学基礎論は、入学後すぐの1年生1学期に開講される授業です。その最大の目的は、“学ぶ姿勢を学ぶ”こと。「大学で学ぶ意義は?」「学ぶ目的は?」といった学びの動機を学生自身が再確認し、“教わる”から“掴みとる”へと学びの姿勢を転換します。

与えられる学びから、掴みとる学びへ

授業例1. 理学部

- 人
- フィールド
- 社会

授業では、教員や社会人講師の話聞いて、感じたことを少人数グループでディスカッションしていきます。自分の意見を伝える、相手の考えを理解することを通じて、様々な気づき生まれます。



▶ この授業のねらいは

1. 何事にも“疑問”を持つこと
2. 自分と違う考え方に触れること
3. 自ら学ぶ姿勢に気づくこと

Voice

水野 慶子 理学部2年 長崎県出身

社会人講師の先生の話はとても魅力的でインパクトがありました。グループワークでは疑問に思ったことを仲間に投げかけることで新しい発見があったり、逆に仲間の意見を聞くことで自分とは違う考え方を知って自分に足りないものを感じたりしました。

この授業を受けて自分が変わったと思うのはやはり積極性。ほかの講義でも疑問を持つ姿勢や、自分から取り組んでいく姿勢を大事にするようになりました。

student

鈴木 知彦 理学部教授

近年の学生は素直で、物事を盲目的に受け入れる傾向にあります。しかし、批判的にものを見ること、疑問を感じることは、実は主体的な学びの始まりです。この授業では論理的思考力やコミュニケーション能力はもちろんのこと、そういった学びへの主体性を養ってもらいたいと考えています。また、大学は学問を修めると同時に総合的な人間としての魅力を養う場。そのために大切なことは何か、気づききっかけになれればと思っています。

professor

授業例2. 教育学部

人
フィールド
社会

自らの学びをデザインする力を養うこと。これが本授業の目的です。この力が大学における学びの基礎となります。と同時に、自身の学びづくりを体験すること、そして他の仲間たちとの協同作業によって成り立つという原理を経験することが、将来、児童・生徒の学びづくりを支援する学校教員としての第一歩になると考えています。



▶ この授業のねらいは

1. 学びをデザインする体験をする
2. 協同的な学びの創造を経験する
3. 学びづくりを支援することについて考える

Voice

松本 和士

教育学部学校教育教員養成課程1年
高知県出身

大学基礎論では、最初に講義を聞き、そこから自分たちで課題を見つけて班ごとの発表をまとめ、プレゼンを通じて他の班との意見交換を行っていきました。授業を通じて、意見交換や仲間の意見に耳を傾けることで、自分に足りないものを感じたり、積極的な行動と反省を行いながら大学生活を充実したものにしていける重要性を学んでいきました。



student

増尾 慶裕 教育学部教授

次の3つのテーマ「大学での学び方」、「社会が大学生に求めるもの」、「地域における大学の役割」による講義を基にして、学生諸君が自分達に対応した調査学習を行い、その結果として、思考力・判断力・表現力を身につけることを目指しています。

professor

授業例3. 医学部

人
フィールド
社会

授業の最大の目的は、学びの目的意識を明確にすること。附属病院で患者さんに付き添う外来体験や、現場の医療スタッフ、病院長などのレクチャーをもとにグループでディスカッションを行い、様々な気づきや知識を共有しながら学ぶ意義を考えます。また将来のチーム医療を見据え、授業は医学科・看護学科合同で行われます。



▶ この授業のねらいは

1. 何のために学ぶのか、今後どう学んでいくのかを考える
2. 自分と違う視点に気づく
3. コミュニケーション・スキルを養う

Voice

高島 伶奈 医学部医学科1年 兵庫県出身

グループ討論では、自分が気づけなかった点を他の学生が気づいていたり、医学科生、看護学科生で感じ方が違っていたりして、人の意見を聞くことの大切さやディスカッションで理解が深まっていく楽しさを実感しました。また、いろいろな医療スタッフの方の話を聞いていく中で、関わり方や役割は違っても目指す医療は同じだということがよくわかり、グループワークにおいてもチームの一員としての自分を意識するようになりました。



student

三木 洋一郎 医学部准教授

医学部では入学直後から、様々な臨床の現場に触れる「EME※」という授業と、ディスカッションを通じて知識を共有し考えを深める「大学基礎論」とを並行して展開します。高校までは一方的に知識を伝授されることに慣れていますが、大学では目的意識をはっきり持って自ら学ぶことが大切。それに気づき、学びを転換することが最大のねらいです。また、チーム医療を目指す上でのコミュニケーションスキルも、グループ討論の中で身につけていきます。

※EME初期臨床医学体験：病院や施設などで医療の実際に触れる授業。医療人となる心構えや態度を身につけることを目的としています。

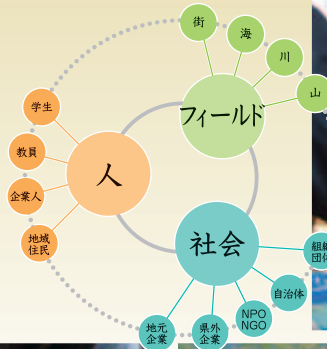
professor

2 program

課題探求実践セミナー

社会と関わり自律性に目覚める。

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。



多くの他者と共感し、自分自身と深く向き合う 自律協働入門

- 人
- フィールド
- 社会

授業の目玉は、夜通し人生談義をする「入門合宿」。社会人師匠から様々な話を聞き、そこから自分の人生観について考えていきます。本質にたどりつくまで議論を掘り下げ、4年間を変えるきっかけとします。



- ▶ この授業のねらいは
1. 何のために学ぶのか、
今後どう学んでいくのかを考える
 2. 自分と違う視点に気づく
 3. チームワークを体験する

Voice

川村 聡志 農学部農学科3年 高知県出身

チームメイトや社会人講師、ファシリテーター（FT/議論の推進役）の上級生と一緒に「なぜ？」を掘り下げていく中で、自分がどんなことに関心があり、どんな生き方がしたいのかが引き出されていきました。自分の想いがはっきりしたことでやるべきことも明確になり、授業への取り組み方が変わったように思います。また、人への興味が強くなったことも大きな変化。今は自分がFTとなって下級生の授業に関わっています。

student

池田 啓実 人文学部教授

社会においては他者と共感し合って人を集団化し、コラボレート（協働）していくことが重要となります。高知大学では「他者と共感する」機会、「なぜ？」と考える機会を1、2年生の早い段階で取り入れ、学びの“文化”とすることで学生の自律性を育てていますが、自律協働入門もそのプログラムの一つ。社会人の持っている人生観や幸福感に触れることで学生自身が自分の想いに気づき、成長への意欲につなげることを目指しています。

professor

フィールドに出て、自分の目でものごとを見る

地域協働入門

Voice

伊藤 慶樹 理学部2年 奈良県出身

僕が学んだのは「山」のコース。四国山地のほぼ中央に位置する嶺北地域に入って自分の目で森や地域の暮らしを見たり、林業に携わる方の話を聞いたりしながら様々なことを感じてきました。印象的だったのは講師の方の「共想」という言葉。「想」は「木を目で見る心」で、山も街も互いに想い合うことが大事だと話されていました。僕自身がワークショップの中で感じた人の意見を聞くことの大切さともつながり、とても心に残っています。

student

霜田 博史 人文学部准教授

この授業で大切にしているのは、現場に出て地域の人や地域の暮らしに出会うこと。自分の目でものを見て、知らなかった世界を肌で感じることです。そこで得た実感や人とのつながりは、学生の想像力を広げてくれます。想像力があれば、例えば「不便でかわいそうだ」などと自分の感覚だけでも語るのではなく、相手の立場に立って考えたり、本当の問題に気づいたりすることができます。そういう経験が、学びを大きく変えていくのです。

professor

フィールドは、「山」「街」「海」の3つに分かれています。それぞれの現場でスタディツアーを行いながら、「本当の課題は何か」「それはなぜなのか」をチームで考えていきます。



▶ この授業のねらいは

1. 地域でがんばる人と出会う
2. 知らない世界を肌で感じる
3. 人とのつながりから想像力を広げる

多様性に気づきながら、答えの一つを考えていく

国際協力入門

Voice

五藤 真世 人文学部国際社会コミュニケーション学科2年 高知県出身

高校生の時は、海外に行けない、英語力が足りない、だから国際協力はできないと思っていましたが、この授業でそれが「幻想の壁」だったことに気づかされました。「語学ができて今そこで困っている人を助けられない人には国際協力はできない」——身近な清掃活動や人助けも国際協力につながっていくんだと知り、固定観念が消えました。夏休みの宿題では、大阪の入国管理局に収容されている人と一斉面会する活動に参加。行動することの大切さを実感しました。

student

石筒 覚 人文学部准教授

国際協力は国境を越えていることに目が向けられがちですが、いざ現地に入ればそれは私たちの身近にあるのと同じくローカルな問題になります。そういう気づきを得た学生たちは、夏休みの活動でも地域の花壇に花を植えたり、要らなくなった服をリメイクしたり、かなり幅広く課題を見つけて取り組んでいました。ここでの講義は基本的に情報提供。それをどう活かすかは自分次第です。そこに気づけば大学はもっとおもしろくなる。その転換の機会になればと思っています。

professor

まずは社会人講師による講義とワークショップで“固定観念”を取り払った後、夏休みの「宿題」として個々が様々な角度から国際協力を実践。報告会で振り返りを行い、理解を深めます。



▶ この授業のねらいは

1. 固定観念を取り去る
2. 様々な価値観を理解する
3. 想いを行動に移す力を養う

授業が地域貢献に!

人のつながりが地域を変える

地域協働入門 社会人講師
田岡 秀昭

Profile

森昭木材株式会社代表取締役。
高知県森林環境保全基金やCO2
吸収専門委員会の委員を務め、木
材産業の再生に取り組む

私が関わっている「地域協働入門」の授業は、学生さんにまず嶺北の山に来て森に入ってもらい、山や木材産業の実際を知ってもらうことから始まります。日本の森林の約4割は人工林。木を切り利用して、また植林するという産業の循環こそが森を守ることにつながりますが、山を知らない人たちの多くは、森はそっとしておくべきだと思っています。森林への正しい理解を広げると

いう意味において、この授業はその伝道者となる1人目を育てる役割も果たしています。また若い人たちが新たな目で地域を見ることで、何でもなかったものが資源になったり、おもしろい発想が生まれたり、私たちも気づきや元気をもらえます。社会と関わり合う授業は、学生のよい学びの機会であると同時にすばらしい地域貢献の場にもなっているのです。



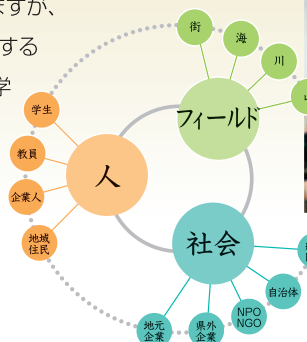
3 program

学問基礎論

自律的な学びの土台を築く

1年生2学期に開講される学問基礎論は、各学部で展開される専門教育の基礎をイントロデュースし、自律的な学びへの土台を築く役割を担います。

学問基礎論のプログラムは各学科や各コースによって異なりますが、共通しているのは学生たちの「自発的な思考プロセス」を尊重するという点。教員側から教えたり誘導したりという介入は行わず、学問の本質やその楽しさを体感することに重点を置いています。



自発的な思考プロセスを育む 授業例1. 農学部



■ プログラムの流れ

共通講義(5回)

農学科8コースからそれぞれの分野に関する話題提供

その中から受講したい希望テーマを2つ選択

課題解決型グループ学習1(5回) 課題解決型グループ学習2(5回)

1チーム5~6名に分かれて自分たちで課題を設定。その課題解決のための方法を情報収集やディスカッションなどグループワークを通じて導き出し、プレゼンテーションする



lecture 1 「学問の基礎」とは?

専門分野の基礎的な知識ももちろんですが、何より学問をしていく上での「考えるプロセスの基礎」を学びます!



lecture 2 「課題解決型」とは?

学問は与えられるものではありません。課題を見つけ、情報収集し、ディスカッションを重ねて答えを導き出すことが大切!



lecture 3 ポイントは?

今は情報過多の時代。便利な反面、自分が何を必要としているのか見極め、判断する力も必要です!

Voice

山田 悟 農学部農学科1年

僕がテーマに選んだのは、「自然環境」と「食料科学」。「自然環境」では実際に行われている干潟開発を例に自然への影響について考え、「食料科学」では様々な国の食文化を調べて栄養を補完する食べ合わせを提案しました。グループ学習の中では、思いもよらなかった分野を調べたり、これまで自然保護の面からしか見ていなかった農学を自然と人の共存という視点で見るとなると、新しい発見も多かったです。やりたいことが明確になった気がします。



student

村松 久司 農学部准教授

彼らはまだ1年生。グループワークでいきなり正しい答えにたどりつくことはありません。しかし最終的な答えに結びつかなくても、考える過程で疑問に思ったこと、感じたことを大事にしてほしい。それを持った上で専門科目に入っていければ、いずれ答えを見つけ出し出してくれるのではないかと思います。今の豊かな感受性を大切にしながら、専門科目で学術的な知識を学ぶ。そうすれば、困難な課題に対しても自由な発想で乗り越えて行けると思いますね。

professor

4 program

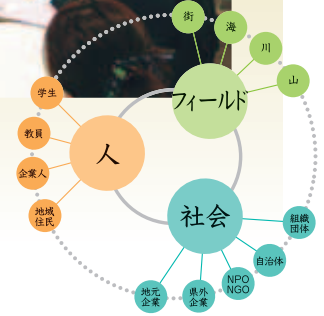
キャリア形成支援科目

協働型インターンシップで自律性を高める。

高知大学が行った企業調査^{*1}によると、企業が重視するのは「前向きに行動する力」と「チームワーク力」。実はこれこそが、本学の目指す自律的な能力に他なりません。

この自律性をさらに高める取り組みが、長期の社会協働型インターンを組み入れた「CBI授業^{*2}」。企業と大学がコラボして生まれた日本初の教育プログラムです。

^{*1} 本学卒業生の採用実績のある企業を対象に行った、企業の人材ニーズ、新卒採用・人材育成の実態把握を目的とした調査。
^{*2} Collaboration Based Internship



“共感の場”に出て自分の基盤づくり — 長期インターンシップ CBI授業

- 人
- フィールド
- 社会

授業は大きく3つの段階で構成されます。CBIの最大のねらいは自律的な能力のベースとなる“共感力”を高めること。そのため、まずは「事前学習」で学生たちの錆びついた共感の扉を開けてから、共感の場となる首都圏の受入先企業で「インターンシップ」に挑みます。最大6ヶ月間の長期インターンが終了すると、「事後学習」で経験してきたことを振り返り、内面化します。

Voice 山地 由圭里

人文学部社会経済学科3年 高知県出身

株式会社ワークライフバランス(東京都)にて約6ヶ月間のインターンシップを経験

インターンシップに行こうと思ったきっかけは、小室社長の本。これまで女性がキャリアを積むということは男性化して働くことだと思っていた私にとって、そこに書かれていた仕事と人生についての考え方はまさに“目からウロコ”。この会社で学びたいと思い、エントリーしました。

実際に行ってみて一番印象的だったのは、社員の皆さんが本当に楽しそうに働いていたこと。誰もがワークとライフのバランスを大切にしている、プライベートで講演会に行ったり人と会ったりして得たものを仕事にフィードバックしていました。その姿に刺激を受け、私も与えられた仕事にはプラスαの付加価値をつけたいと、いろいろ工夫していきましたね。

期間中、週に1日は東京に拠点を置く先生の研究室で、一週間を振り返る講義もありました。おかげで自分を見失うこともなく、充実した時間を送ることができたと思います。



student



自律的な学びを支える様々な制度

4年間を通じて学生の自律的な学びをしっかりとサポートし、高い意欲と能力を備えた人材として社会に送り出すため、様々な教育制度や学習支援を行っています。

アドバイザー教員とオフィスアワー

学生全員にアドバイザー教員が付き、学習計画、履修指導、学生生活から就職まで4年間を通じて支援します。また、その相談のためにオフィスアワーを設けています。

情報教育環境の充実

学内の様々な場所に情報コンセントを設置。インターネットへの接続やメールの送受信が自由に行えます。(岡豊キャンパスは無線LAN環境が整っています)

他大学との単位互換

単位互換協定校(高知県立大学、高知工科大学、放送大学、高知高専)が開講する単位互換対象科目の単位を修得した場合は、本学の単位として単位認定を受けることができます。

早期卒業

3年以上在学し、卒業の要件として定めた単位を優秀な成績をもって修得したと認定された場合は、申請により早期卒業を認めています。

ティーチングアシスタント

共通教育の実験科目や演習科目では、大学院生によるティーチング・アシスタントをおき、学生の理解をサポートしています。

補習教育

高等学校の教育内容の多様化や、専門高校からの入学者のために、英語や自然分野などにおいて補習教育を実施しています。

もうひとつの学びの場

学生の課外活動

自律的な力が育まれるのは授業ではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

高知大生の活発な活動は、新聞等でもよく紹介されています。

メディアでも紹介されています!

やる気とアイデアをかたちにする

コラボ考房 H22年度コラボ考房プロジェクト

様々な授業や経験と出会う中で「もっと何かしたい」という気持ちが学生の心に芽生えた時、その気持ちをかたちにするしくみとして始まったのが「コラボ考房」です。アイデアを応募して採択されれば、大学が持つ地域ネットワークの中から「社会人師匠」と支援教員がついて、一緒にコラボレーションしながら活動を実践していきます。

それいけ☆高知発掘隊!! Abnormal★☆

高知のB級グルメを発掘し、町おこしを図る



FPケースをつくりたいっ!!!! M.T.M.S

間伐材を使ったiPodケースづくりなど木材活用



とさしろ〜♪ 土佐知路一!!

情報交換できる憩いの場づくりとして、高知ならではの「居酒屋」文化活動を行う



ファンタスティック村 ファンタスティック

自分たちで作物を育て、販売する「村づくり」活動



VIVA☆KOCHI Teamお籠

高知のいいところを探す活動を行う



Welcome to まうてん あくりいず

野菜を育て収穫し、農業を体験する



学生による学生や地域のサポート活動

S・O・S認定活動支援 H22年度認定活動

学生が学生を支援するピア・サポート活動や、地域貢献活動など学生が自律的に行っているプロジェクトについても大学が認定し、支援しています。

※この6団体の他にも、高知子ども守り隊守るんジャー(P8で紹介)や就活会(P82で紹介)もあります。

フェアトレードによる国際協力 すきっぷ

途上国の貧困解決のためのフェアトレード活動



ちょっとオイシイ高知ライブJam チーム☆ぼうしぼん

キャンパス情報誌「Jam」の制作・発行



高知長寿いきいきプロジェクト 百遊会

地域の保健福祉センターで高齢者と定期的に交流



学生活動支援 さぼると

学生の横のつながりを活性化させるHPやMLの運営



世界最大の謎である「人間」に挑戦する

求める学生像 Admission Policy

人文学部は人文科学と社会科学の総合学部です。「人間」という存在を総合的に把握できる、「国際化」と「情報化」の時代に対応できる、「地域社会」の問題を理解し地域に貢献できる、そんな人間を育てたいと考えています。人間と人間がつくる文化や社会について旺盛な好奇心を持ち、課題に果敢に挑むスピリットにあふれた学生を求めます。

人間文化学科

哲学・心理学・言語学・史学・地理学・文学・語学などの人文諸科学に関心があり、人間それ自体や人間をめぐる歴史的・文化的環境、さらには多様化する現代の文化現象に興味を持ち、批判的な精神と創造的な力を涵養したいと考える学生を求めます。

国際社会コミュニケーション学科

グローバル社会に関心を持ち、広い視野と柔軟な思考力を身につけたいと考える人、異文化理解のために必要なコミュニケーション能力を身につけたいと考える人、地域社会の多様な問題をグローバルな視点から理解したいと考える人、世界の様々な地域の人々と積極的に連携したいと考える人、そんな学生を求めます。

社会経済学科

経済学・法学・経営学・会計学・政治学・社会学などの社会諸科学に関心がある学生、地域社会に関心があり、地域の総合的發展に貢献したいと考えている学生、企業とその環境に関心があり、情報収集・分析・処理能力を身につけたいと思っている学生、商業・会計・簿記・情報処理などの実務能力を専門的に身につけたいと思っている学生を求めます。



学科名

■人間文化学科

- 人間基礎論コース
- 地域変動論コース
- 言語表象論コース

■国際社会コミュニケーション学科

■社会経済学科

- 総合地域政策コース
- 経済企業情報コース

取得できる資格等

■人間文化学科

- 中学校教諭一種免許状(国語・社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・英語)
- 認定心理士
- 日本語教員
- 学芸員

■国際社会コミュニケーション学科

- 中学校教諭一種免許状(社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・英語)
- 日本語教員
- 学芸員

■社会経済学科

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)
- 学芸員

変革の時代に道を切り拓くアクティブな「人間の学」

情報化・国際化の進展に伴い、21世紀の日本は、あらゆる場面で大きな変革を迫られています。

混迷と激動の時代にあって求められるのは、問題に対して既成の枠にとらわれることなく、柔軟かつ迅速に的確な判断を下しうる能力です。

本学科は、言語・文学・思想・行動や、環境・歴史など、人間に関わる事象万般にわたる複眼的アプローチによって、

人間についての総合的な理解を深める教育を推し進め、そのことを通じて、現代社会の中で生じてくる様々な課題に対処し、

より善い将来を自らの手で築きうる、活きた知恵と知性とを備えた「人」を育てます。

●人間基礎論コース

社会生活が複雑さを増すほど、人間の本質への省察もまた必要となります。哲学・倫理学・宗教学・心理学・言語学などの分野を学びながら、人間の精神活動・言語・認知・思想・行動に関する認識を深め、文化をつくると同時に文化によってつくられる人間存在をトータルにとらえる洞察力の育成をはかります。

●地域変動論コース

世界の各地域に生成・変動する社会・文化の特質や構造を歴史的な視点から理解するとともに、人間が生活する場としての地域が持つ固有の産業・方言・自然などの文化的環境について学習し、人間の「生」の重層的な把握を目指します。主として、日本史学・考古学・東洋史学・西洋史学・地理学・方言学などの分野を学ぶことができます。

●言語表象論コース

文化のエッセンスは言語表象にあらわれます。日本文学・日本語学・中国文学・イギリス文学・アメリカ文学・フランス文学など、各地域固有の言語文化を学ぶとともに、それらの比較対照によって文化現象を相対的にとらえる視点の獲得に努め、そのことを通じて、多様な文化事象を総合的に把握できる、創造的な知性と豊かな感性の育成を目指します。



国際社会コミュニケーション学科

「異文化」と「グローバル社会」にアプローチする

今、グローバル社会の波が大きく押し寄せています。

この学科は、従来の学問・教育の枠組みを超え、「言語」「社会」「情報」をベースに、多角的な観点から「グローバル社会」にアプローチし、

外国語の会得、異文化への深い理解、グローバル社会に対する批判的考察を通じて、

幅広い問題意識と視野を持った人間の育成を目指しています。

異文化を学ぶ、現代社会における様々な問題を研究する、そして外国語の力を伸ばす。国際社会コミュニケーション学科では、これらを結びつけて多面的に学んでいこうとする学生が育ってほしいと思っています。そのために用意されているのが、「プログラム」と「ゼミナール」です。

まず、「何を学ぶのか」を明確に意識した複数の「プログラム」を軸に授業は構成されています。このプログラムには、<「言語・コミュニケーション」の理論や実践を学ぶ>、<「文化」を多面から総合的に学ぶ>、そして<「グローバル社会」の中での人・モノ・情報などの動きとそれに関する問題を学ぶ>という三つの核が用意されています。さらにそのもとで、「ヨーロッパ」、「南北アメリカ」、そして「アジア・オセアニア」といった地域を絞った勉強もできます。

また、この「プログラム」制を支えるのが少人数での「ゼミナール」です。2年生になると皆さんは各教員の「ゼミナール」に所属します。ゼミの学生数は平均で5~6名程度。卒業まで所属することになるゼミでは、卒業論文の作成を

視野に入れた上で、学生一人ひとりの必要に応じた、長期的かつ綿密な指導を行います。



幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人を養成する

世界経済、日本経済、地域経済は21世紀、大きな変動に直面しています。
 社会経済学科では新しいこれらの社会的諸問題に対して、
 その解決策を企画・立案・実行できる専門的職業人を養成することを目指しています。
 特に、成熟化・高齢化・少子化社会、高度情報化している状況を踏まえて、
 日本と地域社会の問題を真正面から学習することを目指しています。

●総合地域政策コース

総合地域政策コースでは、地域社会に関する政策立案能力を持った学生を養成します。今日の地域経済は、国内的にも国際的にも直接相互に関連し合う主体性を持った地域に生まれ変わることが求められています。また、21世紀は地方分権の時代とも言われています。このような時代に、経済学、社会学、財政学、法学等の諸科学を総合し、地域の総合的な政策を勉強します。

●経済企業情報コース

経済企業情報コースでは、高度情報化社会に対応した企業活動・経済環境に関する教育研究を行います。高度情報化社会では、経済、企業活動に新しいルール、課題が生まれています。そしてこのコースではこうした新しい時代に対応した、企業経営の分析や、経済分析を行う人材を養成します。



人間文化学科

カリキュラム例

■人間基礎論コース

西洋近現代哲学、倫理学、東洋思想、西洋思想史、宗教学、言語学、意味論、文法論、社会心理学、認知心理学、発達心理学、感情心理学

■地域変動論コース

日本中世史、日本近世史、日本近代史、考古学、中国古代史、中国近世史、西洋近現代史、人文地理学、自然地理学、方言学

■言語表象論コース

平安朝文学、日本中世文学、日本近代文学、日本語学、中国文学・文化、イギリス文学、アメリカ文学、フランス文学

卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、大学院進学など、進路は多種多様です。民間への主な就職先としては、流通サービス業、金融・保険機関、旅行代理店、情報処理関連企業のほか、新聞社、テレビ局、広告業などのマスコミ関係があげられます。

国際社会コミュニケーション学科

カリキュラム例

異文化間コミュニケーション論、比較文化論(日英米独仏中)、文化史、文化論、オーラルコミュニケーション、文章構成研究、第二言語習得論、日本語教育法、英語音声学、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、社会言語学、メディア文化論、社会文化交流論、国際関係論、社会思想史、比較日本文化論、アメリカ文化論、ヨーロッパ文化論、中国経済社会論、大衆文化論、日本文化表現法、世界経済論、西洋経済史

卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、さらに大学院への進学など、進路は多種多様です。民間企業では、商社や流通業界、各製造業界、銀行、証券会社、保険会社、旅行会社のほか、テレビ局や新聞社、広告業界などのマスコミ関係があります。また、国際機関の職員、さらに日本語教師への道もあります。

社会経済学科

カリキュラム例

■総合地域政策コース

経済政策論、財政学、地方財政論、地域経済論、労働経済論、福祉経済論、環境経済学、公共経済学、国際経済論、開発経済論、地域社会学、憲法、民法、刑法、行政法、経済法、政治学、地域の産業と経済、地域ジャーナリズム論

■経済企業情報コース

ミクロ経済学、マクロ経済学、資本主義システム論、統計学、計量経済学、金融論、国際金融論、流通経済論、日本経済史、経営学、人事管理論、競争戦略論、会計学原理、原価計算論、簿記原理、商法、企業情報システム論

卒業後の進路

社会経済学科は幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人・企業人を養成します。民間企業をはじめ公務員、教員への就職の道があります。また近年は大学院に進学する人も増えています。

人文学部 平成24年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
人間文化学科	前期日程	国 地歴・公民	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経	国 外	国語総合※・現代文・古典※ 英(英I・英II・リーディング・ ライティング)	
	後期日程	数 理 外	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I 英、独、仏、中、韓から1 [3教科3科目]			個別学力検査等は課さない
国際社会 コミュニケーション学科	前期日程	国 地歴・公民	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経	[から1]	その他	小論文
	後期日程	数 理 外	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I 英、独、仏、中、韓から1 [3教科3科目]		その他	面接
社会経済学科	前期日程	国 地歴・公民	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から2	[から1]	その他	小論文
		数 理 外	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目または6教科6科目]			
	後期日程	国 地歴・公民	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経	[から1]	その他	個別学力検査等は課さない
		数 理 外	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I 英、独、仏、中、韓から1 [3教科3科目]			
AO (第1次) (第2次)		大学入試センター試験は課さない		その他	講義及び講義理解力試験 ゼミナール活動適性試験、作文、 面接	

① [大学入試センター試験の利用教科・科目名] 欄について

「数学」の教科について「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、「情報関係基礎」については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。

利用教科・科目名の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科」については、本学の指定する利用科目数が1科目または選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いる。

「英語」については、リスニングを含む。

② [個別学力検査等] 欄について

※「国語総合」及び「古典」では「漢文」は出題範囲としない。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
人間文化学科	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	面接
国際社会 コミュニケーション学科	推薦入試I (A選抜) (B選抜)		大学入試センター試験は課さない	その他	面接
社会経済学科	推薦入試I (一般推薦) (専門推薦)		大学入試センター試験は課さない	その他	面接

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

求める学生像 Admission Policy

教育学部は、地域社会との連携を通じた自由で創造的な研究・教育を基本とし、学部の特性として子どもと触れ合い、子どもの心がわかる教員の養成を目指しています。

また、日本有数の高齢化県である高知県に立地する学部の特性として、これからの長寿社会における豊かな生活環境の創造のために貢献できる人材の育成を目指します。



学校教育教員養成課程

豊かな生活や遊びに関する体験を持ち、積極的に地域や子どもと触れ合い、仲間づくりを通してコミュニケーションを高めることができる学生を求めます。また、教員希望の学生として、幅広く、そして深い知識・技能を身につけるために適切な努力ができ、進んで教育の真の意義を見いだせる力を持った人を求めます。

生涯教育課程

これからの社会にふさわしい高度の専門性を身につけて、文化や芸術・スポーツの創造発展を目指し、社会環境や人間生活の向上に寄与しようとする意欲のある学生を求めます。

●芸術文化コース

自由な発想や新鮮なアイデアによる音楽や美術に関わる表現活動や文化の創造発展を目指し、芸術・文化環境の向上のために努力できる学生を求めます。

●スポーツ科学コース

これからの長寿社会の中で、スポーツの創造発展や、スポーツを通じて健康で充実した人間生活の実現に寄与できる学生を求めます。

●生活環境コース

変化する生活環境や発達した情報化社会にふさわしい専門性を通して、社会環境や人間生活の向上に寄与できる学生を求めます。

課程名

■学校教育教員養成課程

- 教育科学コース
- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 英語教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育コース
- 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 特別支援教育コース

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
- スポーツ科学コース
- 生活環境コース
(生活系、環境情報系)

取得できる資格

■学校教育教員養成課程

- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状
(教科)国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語
- 高等学校教諭一種免許状
(教科)国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体育・家庭・英語
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 幼稚園教諭一種免許状
- 学芸員
- ※卒業要件に含まれる免許状
小学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状または特別支援学校教諭一種免許状
- ※履修の仕方によって取得可能な免許状
幼稚園教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
 - 中学校教諭一種免許状(音楽・美術)
 - 高等学校教諭一種免許状(音楽・美術)
 - 学芸員
- スポーツ科学コース
 - 中学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 学芸員
- 生活環境コース
 - 中学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 高等学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 学芸員

※以上の免許状取得のためには、卒業に必要な授業科目に加えて、免許状取得のための科目の履修が必要

こどもたちに豊かな人間教育を

小学校及び中学校(あるいは特別支援学校)の教員養成を一体的に行うことを特色としています。

4年間一貫した実習系授業を履修する中で子どもたちや教職員・地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力を身につけることができます。

そして、幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、各教科に関連する科目を学習することで、それらの力を高めることができます。1年生2学期より、12のコースに分かれて学習と研究を深めます。

本課程では、小学校一種免許に加えて、中学校二種または特別支援学校一種免許の取得が必要です。

●教育科学コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。2年生から、教育学あるいは心理学担当教員の指導のもとに、演習や卒業論文作成などを通して学習と研究を深めます。

●国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／音楽教育／美術教育／保健体育／技術教育／家庭科教育の各コース

これらの10コースでは、小学校だけでなく、中学校及び高等学校の各教科の教員免許を取得できるよう学習します。各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築及び学習指導法などについての専門的な理論と実践を学び、教科指導にすぐれた実践力をもった学校教員の養成を目指します。さらに各教科の内容を深く掘り下げ、高度な能力と豊かな知識を身につけることを目指します。

●特別支援教育コース

本コースは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する教員の育成を目的としています。また視覚障害や聴覚障害、重度・重複障害、発達障害についても学びます。学校は大きく変わり、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行するなど「特別支援教育」が導入されました。通常学級においても特定の学習だけが著しく遅れていたり、授業が始まって10分もしないうちに席を離れてしまったり、こだわりがあったりなどの理由で、一斉指導では教えることが難しい児童生徒に、その子にあった適切な指導をする「個別の教育支援」ができる仕組みが整えられ、全教員が関わることとなります。これらの動向を踏まえて本コースでは、学習や生活上の困難を正確に理解するための理論や、児童生徒に応じた適切な指導法を学びます。



4年間一貫した実習系授業

1年次 フレンドシップ事業、観察実習

2年次 介護等体験、支援実習

3年次 教育実習、特別支援教育実習(特別支援教育コース)

4年次 教育実習(特別支援教育コース)、応用実習、幼稚園実習

カリキュラム例

■教職に関する科目

教職入門、同和教育論、道徳教育、特別活動指導法、教育の方法・技術、生徒指導、教育相談、各教科初等指導法、各教科中等指導法、教育実習(小・中・高・幼)

■小学校教科に関する科目

小学国語、初等社会科、初等数学、初等理科、こどもの生活と環境、初等音楽、初等図工、家庭科概論、小学校体育

■中学校教科に関する科目

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語)の各教科に関する科目

■特殊教育に関する科目

特別支援教育学概論、知的障害心理学、知的障害生理・病理学、肢体不自由等心理・生理・病理、病弱等心理・生理・病理、知的障害教育課程論、知的障害教育の理論と実際、肢体不自由教育指導法、病弱教育指導法、障害児教育基礎演習、障害児教育特講、障害児教育実習

■課程共通科目

教育情報演習、人権教育、障害児者問題入門、高知県の教育、児童英語、教育哲学、日本教育史、西洋教育史、教育行政学、教育社会学、教育評価、パーソナリティ論、学校カウンセリング、認知心理学、生涯学習概論、社会教育計画、応用実習、課題探求実践セミナー(フレンドシップ事業)

卒業後の進路

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員はもちろんのこと、最近では公務員、あるいは教育関連産業をはじめ、一般企業への就職者が増えています。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習・研究するために大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻(修士課程)へ進学することも可能です。

幅広い教養と総合的な知識を育み、社会のニーズに応える

生涯学習社会、情報化社会を迎えた今、私たちには多くの課題があります。

芸術・スポーツ活動による健康で文化的な生活の確立がますます重要になってきています。

また、私たちは、地球環境、生活環境をめぐるいろいろな問題にも直面しています。

豊かな感性と人間的交流と諸科学の学習をもとにした幅広い教養と柔軟な思考力と高度な技術力を身につけた人材が求められています。

本課程では、このような社会的な要請に応えるために3つのコースを設けました。

教員の養成を目的とするものではありませんが、履修の仕方によっては、教員免許状を取得することができます。

●芸術文化コース

本コースは、美術工芸と音楽を中心とした芸術表現に関わる領域を幅広く学んだ上で、主として芸術家と芸術文化に関する社会教育の指導者などを養成するコースです。1・2年生ではコース共通の基礎や専門の授業科目が用意されていますので、総合的に芸術全般にわたっての知識や技術を身につけることができます。



●スポーツ科学コース

本コースは、競技力を支えるコーチ、トレーナー、そしてマネージメントに関する指導者と生涯・健康スポーツの指導者を養成します。まず基本的な実技と自然科学や社会科学に基づくスポーツ諸科学を学び、学年の進行とともに少人数体制のもとで各人の関心や興味を深め、スポーツの専門家としての教育・研究能力を高めます。



●生活環境コース

本コースでは、生活環境問題を多角的に学び、新たな時代にふさわしい生活環境の創造に必要な知識・技術を学びます。2年次より「生活系」と「環境情報系」に分かれます。「生活系」では現代の生活環境問題を、生活科学及び社会科学の視点から分析的・総合的に学びます。「環境情報系」では環境を科学・技術的側面からとらえ、私たちがとりまく自然界に目を向け、さらに私たちの生活を便利・安全にするための工夫について学びます。



カリキュラム例

■芸術文化コース

サウンドクラフト、デッサン、グラフィックス、造形、音楽基礎論、ソルフェージュ、音楽実技、中国芸術・文化、書道、西洋画、日本画、デザイン、木材工芸、彫刻、美術理論、民族音楽・文化、日本音楽・文化、声楽、器楽、合奏、合唱

■スポーツ科学コース

生涯スポーツ論、スポーツ運動学、スポーツ生理学、スポーツ栄養学、スポーツ指導論、スポーツ健康論、スポーツマネジメント論、スポーツ社会史、スポーツ心理学、スポーツ社会学、身体表現論、トレーニング論、救急処置法、健康生活論、身体発達論、スポーツ実技(個人・対人・集団)、キャンプ実習、海浜スポーツ実習、スキー実習

■生活環境コース

被服管理学、住環境学、食生活論、生活環境教育論、地域社会学概論、社会調査法、環境技術概論、環境情報、生物環境学、計算機言語、被服学概論、被服心理学、住生活学、住環境計画論、食物学概論、調理実習、生活機器論、家庭経営学、都市地理学、政治学、社会学、経済学、物理学概論、化学概論、生物学概論、動物学概論、地学概論、鉱物科学、栽培、数値計算法、応用数値計算、計算機実験学、画像情報処理

卒業後の進路

芸術文化コースでは、各種デザイン、印刷関連、企画会社などの一般企業や美術館学芸員、文化施設・公民館職員などがあります。また、スポーツ科学コースでは、公共スポーツ施設や福祉厚生施設、及び商業スポーツ施設の指導員などがあり、生活環境コースでは、衣食住関連企業もしくは情報関連企業、環境・地域計画コンサルタント、消費生活・ファッションアドバイザーなどがあります。そして、各コース共通の進路として、教員や公務員があげられます。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習、研究したい場合には大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻(修士課程)へ進学することも可能です。

教育学部 平成24年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
学校教育 教員養成課程	前期日程	国	国語	数理 外 その他	数Ⅱ・数B※1 物Ⅰ・物Ⅱ 化Ⅰ・化Ⅱ 生Ⅰ・生Ⅱ 地学Ⅰ・地学Ⅱ 英(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング) 小論文
	後期日程	地歴・公民 数理 外	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から1又は2 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1又は2 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1又は2 英、独、仏、中、韓から1		
			[5教科7科目または6教科7科目]		個別学力検査等は課さない
生涯教育課程	前期日程	国	国語	その他	実技※3
	後期日程	地歴・公民 数理 外	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ 英、独、仏、中、韓から1	から1	実技※3
			[3教科3科目]		
スポーツ 科学 コース	前期日程	国	国語	その他	実技※4
	後期日程	地歴・公民 数理 外	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1 英、独、仏、中、韓から1	から1	面接
			[5教科5科目]		
生活環境 コース	前期日程	国	国語	数理 外 その他	数Ⅱ・数B※1 物Ⅰ・物Ⅱ 化Ⅰ・化Ⅱ 生Ⅰ・生Ⅱ 地学Ⅰ・地学Ⅱ 英(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング) 小論文
	後期日程	地歴・公民 数理 外	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から1又は2 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1又は2 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1		
			[5教科7科目または6教科7科目]		個別学力検査等は課さない

①[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について

「数学」の教科について「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、「情報関係基礎」については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科」については、本学の指定する利用科目数が1科目または選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いる。
「英語」については、リスニングを含む。

②[個別学力検査等]欄について

- ※1 「数B」の出題範囲は、次の通りとする。(数列、ベクトル)
- ※2 「物理Ⅱ」では「物質と原子(原子、電子と物質の性質)」及び「原子と原子核(原子の構造、原子核と素粒子)」は出題範囲としない。「化学Ⅱ」では「生命と物質」は出題範囲としない。「生物Ⅱ」では「生物の分類と進化」及び「生物の集団」を出題範囲に含む。「地学Ⅱ」では「宇宙の探求」は出題範囲としない。
- ※3 次のA～Cのうちいずれか一つを選択する。A:鉛筆淡彩画、B:演奏(①声楽 ②ピアノ ③管弦打楽器[オーケストラ及び吹奏楽常用楽器]のうちいずれか一つを選択し、任意の曲を演奏する)、C:作曲(与えられたいくつかのモチーフから一つを選択し、それをもとにピアノ独奏曲を作曲する)
- ※4 次の(A)、(イ)の実技検査を受ける。(A)基礎的運動能力検査 (イ)特技検査:次の種目のうちから一つを選択する。体操競技、陸上競技(専門とする一種目)、水泳競技(専門とする一種目)、柔道、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、硬式野球、硬式テニス、卓球、バドミントン、ダンス、剣道

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
学校教育 教員養成課程	推薦入試Ⅱ	国	国語	その他	小論文 面接
		地歴・公民 数理 外	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から1又は2 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1又は2 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1又は2 英、独、仏、中、韓から1	から 3教科 5科目 または 4教科 5科目	
			[5教科7科目または6教科7科目]		
生涯教育課程	推薦入試Ⅰ		大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、実技、面接
			大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、実技、面接
			大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、面接

[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、上記①を参照のこと。

壮大なスケールの世界を基礎から応用まで解き明かす

求める学生像 Admission Policy

理学部は数学的思考力・英語力・情報処理能力を土台にして、情報・材料・生命・環境・海洋・資源などの広範な分野で専門教育を実施し、地域国際社会に通用する専門職業人を養成します。数学と理科学目が好きで、自然に対する好奇心と探究心を持つ学生を求めます。



理学科

理学科は、正しい自然観や倫理観を学びたい学生を受け入れます。自然現象や生命活動の探求を通して知的文化の創造に寄与し、バランスの取れた自然観に基づいて、適切な課題設定と課題解決ができる理学士を養成します。

●数学コース

数学に興味を持ち、数学を一生の仕事あるいは友としたい学生、数学の基本的な思考法と技術を身につけて他分野へ進みたい学生、教員になって中学・高校で数学を教えたいと考えている学生を求めます。

●物理科学コース

自然現象の本質的法則に興味を持ち、その理解に意欲的な学生、物理や化学の実験が好きで、データ解析やものづくりに熱中することのできる学生、また、物理や化学の基礎を学び、将来、物質開発研究、教員などの職業に活かしたいと考えている学生を求めます。

●化学コース

物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらに分析化学的手法などについて興味があり、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めたいと考えている学生、また、グローバルな視野に立って将来の化学及び化学技術の発展に貢献したいと考えている学生を求めます。

●生物科学コース

生物の多様な存在様式や活動及びそれらを支えている生命機構に関して、分子・細胞レベルから個体や集団レベルに至る総合的学習を目指す学生、環境と生物の関わり合いに興味を持ち、さらなる専門性を身につけたいと考えている学生を求めます。

●地球科学コース

地球科学分野に向学心を持ち、地球史46億年をひも解く知的好奇心を持つ学生、自然と人間の関わり合い(地球環境)を理解しようという意欲を持つ学生を求めます。

応用理学科

応用理学科は、応用的な知的活動を通して社会に寄与し、国際的視野・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた、応用力に秀でた理学士の養成を目指しています。情報・材料工学・生命・防災などを学びたい意欲のある学生を受け入れます。

●情報科学コース

情報通信技術(IT)に興味を持ち、コンピュータに関する基礎的理解から柔軟な応用力を会得したい学生、情報科学という広範な学問分野のさらなる開拓と新しい応用分野の創造に参加したい学生を求めます。

●応用化学コース

分子レベルでの物質の構造・性質、合成及び反応性に興味を持ち、人々の生活に深く関わる機能性材料、医薬材料などを系統的に理解したい学生、資源・生命・地球環境問題の解決などに興味があり、国際的な研究者・技術者を目指す学生を求めます。

●海洋生命・分子工学コース

生命現象を分子レベルで解き明かそうとする強い熱意を持った学生、生物学と化学に強い関心を持つ学生、“どうしてだろう・・・”“何故だろう・・・”と探求心が旺盛な学生、実験が好きな学生、チャレンジ精神の旺盛な学生を求めます。

●災害科学コース

地球諸科学に底流する理学的思考と方法を基礎に、各地域の特性を熟知した上で防災という工学的課題の解決にチャレンジしたい学生、また、大気現象に関心があり、未知への探究・解明に取り組める学生を求めます。

学科名

●理学科

- 数学コース
- 物理科学コース
- 化学コース
- 生物科学コース
- 地球科学コース

●応用理学科

- 情報科学コース
- 応用化学コース
- 海洋生命・分子工学コース
- 災害科学コース

取得できる資格

●数学・情報系

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 情報処理技術者[要試験]

●物理系

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●化学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 環境計量士[要試験]
- 有機溶剤作業主任者[要試験]
- 特定化学物質取扱責任者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●生物系

- 学芸員
- 生物分類技能検定[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●海洋生命・分子工学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 中級バイオ技術者[要試験]
- 上級バイオ技術者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●地学・防災科学系

- 学芸員
- 測量士補[要試験]
- 技術士補[要試験]
- 防災士[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

知的文化の創造と人類進歩を目指して

理学科は、自然現象や生命活動の探求という純粋理学的な営みについて、数学的思考を基礎にとらえ、

物理・化学・生物科学・地球科学の諸分野の英知を結集してその教育と研究に挑みます。

知的文化の創造と人類の調和ある進歩に供することを理念として掲げ、そのことを通して正しい自然観と生命観を備え、

そして、課題設定及び課題解決ができる職業人の養成を目指します。

●数学コース

数学的である、あるいは論理的であることは全ての科学に携わる人々に必然的に求められています。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の習得と十分な数学的・論理的訓練とが必要です。数学コースでは、それらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学などの基礎的な概念をまずは学習・獲得し、広範な応用を視野に入れたさらに深い内容へと進み、総仕上げとしての卒業研究に至るまでの数学教育を行います。

●物理学コース

素粒子から原子核、原子、分子及びその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを取り扱います。これには、従来の理論物理、量子物理、物性物理、物理化学などの分野が含まれています。具体的には、素粒子やハドロン・原子核の基礎理論、素粒子間の相互作用や電磁的非線形現象、固体の電気・磁気・光・熱的諸性質、物質の持つ物理化学的諸性質(物質合成法、構造解析法、結晶構造と物性との相関など)などの理論を学び、実験によって確実な知識を習得できる教育を行います。

●化学コース

化学は、100種あまりの元素の組み合わせからなる物質の性質ならびに物質間の相互作用と変化を探求する学問分野です。本コースでは、これら様々な物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらには分析化学的手法などについて、原子・分子という基本的要素から複雑な先端化学物質までを対象として体系的に教育し、研究を行います。このことにより、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めるとともに、グローバルな視野に立つて将来の化学及び化学技術の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

●生物科学コース

原生動物や藻類の細胞生物学及び分子生理学、昆虫や魚類の行動生理学、魚類や無脊椎動物を対象にした分類学と生態学、こけ類と地衣類を対象とした分類学、河川、草原、里山などの植物生態学、堆積花粉の分析による古生態学、有用海藻類を対象とした海洋植物学などの教育と研究を行います。さらに、他コース生物系講義題目も加え、分子レベルから集団レベルに至る幅広い領域をカバーできるような充実した講義メニューを提供し、豊かな科学的素養と独創的専門性を備えた人材の育成を目指します。



●地球科学コース

地球科学コースでは、地球表層システム、とりわけ岩石圏、水圏の相互関係の理解を進めています。固体地球の分野では、火成岩や変成岩の成因論や、地殻・マントルの形成及び発達過程の解明を目指しており、また、地球環境の分野では、堆積相や化石の解析から過去の地球の様子を、海洋底堆積物の解析から海洋環境変遷などを研究し、教育しています。幅広い地球科学現象の学習を通して、地球環境の諸問題を地球科学の視点から理解する力を備えた学生の養成を目指します。



カリキュラム例

■数学コース

微積分学概論、線形代数学概論、解析学、幾何学、代数学、統計数学

■物理学コース

力学、電磁気学、熱力学、物理化学、統計力学、量子力学

■化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、物理化学

■生物科学コース

動物生理学、細胞生物学、植物分類学、動物分類学、生態学

■地球科学コース

地球史環境科学、造岩鉱物学、資源地学、海洋地質学、古生物学

卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、金融機関、コンピュータ関連企業、製造業、流通・販売業、サービス業、環境アセスメント関連企業、環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院

グローバルな視点と豊かな発想での挑戦

本学科は、情報、材料化学、生命、防災にそれぞれ対応した、他に類を見ないユニークな4コースで構成されています。各教育コースは、従来の学問分野にとらわれない応用面を強調した新しい融合型の教育と研究を行うばかりではなく、コース間で相互に連携を保ちつつ有機的な教育・研究を実践することも目標としています。これらにより、21世紀に活躍しうるグローバルな視点・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた人材の育成を目指します。

●情報科学コース

本コースは、コンピュータに基づくソフトウェアやアルゴリズムの基礎から応用までの習得にとどまらず、コンピュータは何ができるのか、どのようにして動くのか、どうすればより良い計算システムが構築できるかを講義を通して指導し、学生はコンピュータサイエンスの基礎と応用を学びます。情報科学の研究成果は多くの研究分野で活用されており、また、新しい学問の創出にも貢献しています。情報科学コースは、コンピュータの理論から広範な応用までを担うものとして、高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。

●応用化学コース

応用化学コースでは、分子レベルで物質の構造・性質及び反応性を明らかにするとともに、新しい物質の創造や機能材料の開発を目指した教育と研究を行うことで、食料、衣料、医薬品から家電製品に至る広い範囲にわたって人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解し、さらに資源・生命・地球環境問題の解決などに向けた産業創出に関する先導的学問領域の構築を目指します。このことにより、幅広い専門知識や高度な技術力に加え、豊かな人間性や崇高な倫理観をあわせ持った国際的な研究者・技術者の育成を目指します。

●海洋生命・分子工学コース

海洋生命・分子工学コースは、理学部の生命・海洋・物質の分野で中心的な役割を果たし、個性豊かな科学的教養を体得した専門職業人の養成を目指します。本コースは海洋生物などを対象とした遺伝子工学、発生工学、タンパク質・酵素工学、分子工学などの領域で教育と研究を行い、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。本コースには、分子生物学、生化学、天然物化学、有機合成化学などの分野が含まれています。

●災害科学コース

人間生活に多大な被害をもたらす自然災害に対し、効果的な防災対策を立案し災害の軽減をはかるには、自然現象の発生メカニズムを正しく理解し、次に人間生活を考慮した将来の予測を立てることが重要です。災害科学コースでは、地盤災害・気象災害・地震災害を主な対象とし、大気科学、地球物理学、地盤科学、地震地質学などの講義・実験・野外調査を通じて、地球の営みとそれを解明するための調査手法を研究し、教育します。これにより、問題解決の能力を持ち、自然災害に対する実務や啓発活動の主体となる人材の育成を目指します。



カリキュラム例

■情報科学コース

計算機システム学、プログラム言語論、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、人工知能論

■応用化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、機能材料化学、量子化学

■海洋生命・分子工学コース

生化学、発生生物学、有機化学、分子生物学、進化生物学

■災害科学コース

地球惑星科学、防災科学、地球観測学、連続体力学、地震物質学

卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、コンピュータ関連企業、化学・機械・電気・鉄鋼・建設・食品・薬品・遺伝子関連企業、製造業、環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院

理学部 平成24年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理学科・応用理学科	前期日程	国	国語	数	数I・数II・数III・数A・数B※1 数C※2
		地歴・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から1		
		数	数I・数A 数II・数B		
	理外	理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			
理科受験コース	国	国語	理	物I・物II、化I・化II、生I・生II、 地学I・地学IIから1※3	
情報受験コース	地歴・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から1	情報	情報※4	
		数	数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1		
		理外	理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]		
	後期日程	国	国語		個別学力検査等は課さない
		数	数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1		
		理外	物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]		

①[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について

「数学」の教科について[工業数理基礎]、[簿記・会計]、[情報関係基礎]を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、[情報関係基礎]については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科」については、大学の指定する利用科目数が1科目または選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いる。
[英語]については、リスニングを含む。

②[個別学力検査等]欄について

※1 「数B」の出題範囲は、次の通りとする。(数列、ベクトル)

※2 「数C」の出題範囲は、次の通りとする。(行列とその応用、式と曲線)

※3 「物理II」では「物質と原子(原子、電子と物質の性質)」及び「原子と原子核(原子の構造、原子核と素粒子)」は出題範囲としない。「化学II」では「生命と物質」は出題範囲としない。「生物II」では「生物の分類と進化」及び「生物の集団」を出題範囲に含む。「地学II」では「宇宙の探求」は出題範囲としない。

※4 「情報」の出題範囲は、情A、情B、情Cの共通範囲(必答)と、情A、情B、情Cのそれぞれに対応した範囲(1科目選択)とする。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理学科・応用理学科	数学分野	推薦入試I	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、面接
	理科分野		大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接
	情報分野		大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接

人間とその病態の中に真理を見いだす

求める学生像 Admission Policy

近年におけるサイエンスとしての医療の飛躍的な進展は、国際社会に様々な衝撃を与え続けており、こうした社会情勢における多様な価値観の変動的に的確に対処するためには、各医療人が自ら自分自身の「倫理体系」を構築することが求められます。高知大学医学部では、倫理体系構築の基盤となる資質としての、「強靱な論理的思考能力」「バランス感覚に支えられた多面的な考察力」「共感的能力」及び「問題解決能力」を有する人材を求めます。



医学科

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

医学科では、種々の学際的領域における幅広い知識・学力に加えて、医学・医療に対する強い意欲、高い倫理観、使命感、および思考の柔軟性を有し、自らの力で問題を見つけ解決する能力を中心とした医療人に不可欠な諸能力、態度・適性、コミュニケーション能力ならびにコラボレーション資質を具備した、活力みなぎる人材を求めます。

看護学科

看護学科では、人間に興味があり、命と生活を支援する「ライフサポーター」を目指す、「人間力」溢れる人材を求めます。

看護学科が考える「人間力」とは、次のような能力です。

- 豊かな倫理的感性を持つ
- 生命の尊厳を理解し、人権を尊重する
- 問題解決に向かって積極的に取り組む
- チームワーク達成に尽力できる
- 基本的生活習慣を身につけ、自己管理できる

学科名

- 医学科
- 看護学科

取得できる資格

- 医学科
 - 医師国家試験受験資格
- 看護学科
 - 看護師及び保健師の国家試験受験資格
 - ※ 助産師の国家試験受験資格は得られません。
 - なお、大学院総合人間自然科学研究科看護学専攻(修士課程)において所定の単位を取得することにより助産師の国家試験受験資格を得ることができます。
 - 高等学校教諭一種免許状(看護)
 - 養護教諭一種免許状
 - ※ ただし、高等学校教諭一種免許状(看護)と養護教諭一種免許状は、在学中に必要な単位を修得した者に限り取得できません。また、保健師免許取得後は、本人の申請により養護教諭二種免許状、及び第一種衛生管理者免許状が取得できます。

新しき医学の真理ひたに極めん

〔教育理念〕

医学部医学科は、その前身の旧高知医科大学の建学の精神である「敬天愛人」と「真理の探究」即ち「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にす大学人を目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」人材を育成することを教育理念として掲げています。

〔教育目的〕

- (1)豊かな人間性と裾野の広い価値観を有し、自己の人間形成を目指す医師及び医学研究者を育成します。
- (2)医師としての使命に徹し、生命の尊厳と医の倫理をわきまえた医師を育成します。
- (3)国際的視野に立った上で、地域住民の健康と福祉に十分貢献しうる意欲と能力を有する医師を育成します。
- (4)プライマリ・ケアを身につけ、患者第一に徹する医師を育成します。
- (5)高度の知識・技能を身につけ、高度専門医療の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (6)社会の変化と時代の要請に対応可能な高度な情報収集・分析能力及び自己課題設定・自己問題解決能力を有する医師、医学研究者及び医学教育者を育成します。
- (7)医療現場での問題を真理解明の糸口とし、生命科学の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (8)上記の目的達成のために、学生が勉学や人間形成活動に励める環境を整備します。

〔教育目標〕

医学部医学科の教育目標は、上記の目的達成のために総合的な医学を徹底的に身につけさせることにあります。即ち、人間の生命をあずかる医師の養成を柱とし、医の倫理を身につけた人間性豊かで、高度の知識技能を身につけた臨床医ならびに医学研究者として、時代の要請に応じうる「心を診る医師」を養成することを目指しています。



医学部医学科は、以下の3系、各講座より編成されています。

●基礎医学系

解剖学、病理学、生理学、生化学、遺伝子機能解析学、生体分子構造学、薬理学、微生物学、寄生虫学、免疫学

●社会医学系

法医学、医療学(人間医療学分野、予防医学・地域医療学分野、医療管理学分野)

●臨床医学系

消化器内科学、内分泌代謝・腎臓内科学、血液・呼吸器内科学、老年病・循環器・神経内科学、皮膚科学、小児思春期医学、産科婦人科学、神経精神科学、外科学(外科1)(外科2)、整形外科、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、脳神経外科学、放射線医学、麻酔科学、歯科口腔外科学、病態情報診断学、家庭医療学、附属病院(総合診療部、病理診断部、薬剤部)



カリキュラム例

■6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。

カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1~2年)、専門科目I [コア準備](1~4年)、専門科目II [コア科目基礎系](1~4年)、専門科目III [コア科目臨床系](3~4年)、専門科目IV [臨床実習・統合医学](5・6年)。

さらに専門科目II~IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学一般、C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、D 全身に及ぶ生理的变化、病態、診断、治療、E 診療の基本、F 医学・医療と社会、G 臨床実習・統合医学に分類される。

卒業後の進路

医師国家試験に合格し、卒業後2年間の臨床研修医となる場合と大学院に進学する場合があります。

新しい時代をリードする、グローバルな視点を持った看護専門職者の育成をめざす

【教育理念】

医学部看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏づけられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

【教育目的】

- (1) 生命の尊厳に基づく倫理観を備え、人間を総合的に理解し、医療人としての能力を養います。
- (2) 豊かな人間性を身につけ、相手の立場に立って、物事を判断できる人材を育成します。
- (3) 学際的視野に立ち、自ら人々の健康問題を発見し、解決できる能力を養います。
- (4) 国際社会において、活躍できる人材を育成します。
- (5) 看護の実践・教育・研究者として、保健・医療・福祉に関連する他の職種とチームを組み、看護専門職としての役割を有効に発揮できる基礎的能力を養います。

【教育目標】

医学部看護学科の教育目標は、人々の健康状態の向上を目指して、生活や環境との関係で専門的立場での確に判断し、人々の主体性や価値観を尊重する資質の高い看護実践者を育成し、あわせて将来の研究者・教育者及び指導者につながる教育を行います。

医学部看護学科は、以下の3講座より編成されています。

- 基礎看護学講座
- 臨床看護学講座
- 地域看護学講座



カリキュラム例

■看護学科のカリキュラムは、共通教育科目と専門教育科目の2つの領域を基に構成されている。

1) 共通教育

大学基礎論、学問基礎論、課題探求セミナー、生命倫理学、大学英語入門、看護情報論など、人として・大学生として・看護専門職として必要な基礎的・基本的人間力の育成

2) 専門教育

- [1] 専門基礎：身体のおしくみ、身体の働き、栄養と代謝、薬の効用と看護
- [2] 看護学：基礎看護学、臨床看護学、地域看護学の領域をとおして、看護専門職として必要な知識・技術・態度を修得

卒業後の進路

看護師及び保健師の国家試験に合格した後、本学医学部附属病院を含む医療機関や保健所、保健福祉センター、官公庁、福祉施設、訪問看護ステーション、一般企業などに勤務することができます。さらに、大学院に進学して、教員や研究者、看護管理者として進むこともできます。

また、高等学校教諭(看護)、養護教諭として小・中・高等学校に勤務することもできます。(在学中に教員免許状を取得した場合)

医学部 平成24年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
医学科	前期日程	国	国語	数 理 その他	数I・数II・数III・数A 数B※1・数C※2 物I・物II、化I・化II、 生I・生IIから2※3 面接	募集人員の 5倍
		地歴・ 公民	世B、日B、地理B、 倫・政経から1			
		数 理 外	数I・数A 数II・数B 物I、化I、生Iから2 英 [5教科7科目]			
	後期日程	実施しません				
	AO (第1次)		大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、総合問題	
	(第2次)				態度・習慣領域評価 面接	
看護学科	前期日程	国	国語	その他	面接	
		地歴・ 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経から1			
	後期日程	数 理 外	数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1 物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [5教科5科目]	その他	面接	

①大学入試センター試験の利用教科・科目名欄について

「数学」の教科については、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、「情報関係基礎」については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科」については、本学の指定する利用科目数が1科目または選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いる。

「英語」については、リスニングを含む。

②[個別学力検査等]欄について

※1「数B」の出題範囲は、次の通りとする。(数列、ベクトル)

※2「数C」の出題範囲は、次の通りとする。(行列とその応用、式と曲線)

※3「物理II」では「物質と原子(原子、電子と物質の性質)」及び「原子と原子核(原子の構造、原子核と素粒子)」は出題範囲としない。「化学II」では「生命と物質」は出題範囲としない。「生物II」では「生物の分類と進化」及び「生物の集団」を出題範囲に含む。

※医学科前期日程の一部は地域枠として募集します。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
医学科	推薦入試II	国	国語	その他	面接
		地歴・ 公民	世B、日B、地理B、 倫・政経から1		
		数 理 外	数I・数A 数II・数B 物I、化I、生Iから2 英 [5教科7科目]		
看護学科	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	総合問題、面接

[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、上記①を参照のこと。

※医学科推薦入試IIは「四国・瀬戸内地域枠」として募集します。

※医学部医学科入学者の方を対象に「高知県医師養成奨学金貸付制度」があります。

なお「地域枠」及び「四国・瀬戸内地域枠」での入学者は、本制度の貸与申請を行うことを原則としています。

詳細については、学生募集要項及び高知県HP(<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131301/>)をご覧ください。

人と自然が共存していく道を探求する

求める学生像 Admission Policy

21世紀における農学の使命は、安全な食料の確保、環境の保全、生物資源の有効利用などを通して、地域社会の健全な振興に貢献することと考えます。高知大学農学部は、農学の使命を理解し、自由闊達な創造力と行動力を持って実践しうる人材を育成したいと願っています。農学の使命に対する強い志を、進路設計の中にしっかりと位置づけ、高知の豊かな自然と伸びやかな風土をフィールドにして、自ら積極的に学ぶ学生を求めます。

農学科

● 暖地農学コース

- 西南暖地における農業生産の発展に貢献できる技術者・農業者
- 食と農の発展を志す積極性のある学生
- 環境との調和のもと、食料生産、施設園芸技術の研究に興味を持ち、意欲的に取り組む学生
- バイオサイエンスやバイオテクノロジーに関心の高い学生

● 海洋生物生産学コース

魚介類をはじめとした生物資源を、美しい海や川を保ちながら持続的に生産・利用するためにどうすればよいかについて学び研究しませんか？ 海洋生物生産学コースでは、以下のような元気で熱意のある学生を求めます。

- 海洋生物の多様性を維持しながら、その資源を人間がどのように有効利用できるか考えたい学生
- 海洋生物が棲みよい環境をどのように保つか考えたい学生
- 海洋生物資源の持続的な生産・利用するためにはどうすればよいかを考え、日本や世界が抱える食料問題の解決に貢献したいと考える学生

● 食料科学コース

安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる付加価値の高い食品の開発を目指しています。そのため以下のような学生を求めます。

- 食料生産に関わる自然環境の理解と保全修復に取り組みたい学生
- 食品及び食品成分が生体に与える機能を食品化学的ならびに生化学的に解明したい学生
- 機能性の高い食品やバイオテクノロジーを応用して食に関連する機能材料を生み出したい学生

● 生命化学コース

動植物、微生物の生命活動の基礎を学び、生理現象のメカニズムを化学的に解き明かすとともに、われわれの生活に役立つ実用技術に結びつけることを目指しています。そのため以下のような学生を求めます。

- 動植物、微生物の生命現象を遺伝子、タンパク質、生理活性物質など目に見えない分子レベルで解明したい学生
- 生態系に興味を持ち、土壌や動植物が果たす役割について理解したい学生
- 生物資源や農産物の新たな利用に取り組みたい学生

● 自然環境学コース

活力に満ちあふれ、動植物とのふれ合いに喜びを見いだし、また日々の小さな取り組みにも前向きにとらえられる資質を持っている学生を求めます。そしてその中でも、「自然環境」や「自然環境の保全」に興味があって、自然環境を地球規模からマイクロレベルまでの様々なスケールで総合的に理解したい学生、またそれに立脚して生態系と気圏・地圏・水圏より構成される自然環境と人間との共生に関する知識・技術を身につけたい学生を求めます。

● 流域環境工学コース

河川そして水によってつながる森林・農地・市街地から沿岸域までをひとつの「流域」と呼ぶことにしましょう。当コースでは、「流域」の中に存在する自然と人間の共存のあり方について深い知識を求める学生、探究心が旺盛で、行動力やチャレンジ精神に富み、仲間とともに勉強に取り組みたいと前向きに考える資質を持つ学生、そして、これらの資質を身につけた上で、日本に留まらず世界的な視点から自然や環境と人間をつなぐ技術者として社会に貢献したいと考える学生を求めます。

● 森林科学コース

森林が環境保全に果たす役割を重視する視点に立ち、森林資源の育成・管理とその高度利用を目指します。そのため、基礎学力を備え、真摯に取り組む姿勢を持ち、自然環境に関心のある人、自然と調和した森林の利用を考えたい人、森林の育成・管理に携わる後継者あるいは指導者として地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする人を求めています。

● 国際支援学コース

21世紀は食料、人口、環境、資源の世紀といわれ、世界的に増加し続ける人類に必要な食料を、環境や資源との調和を保ちながら生産していく必要があります。このような問題は先進国に比べて熱帯・亜熱帯域の発展途上国で深刻であり、問題の解決に向けた先進国の支援に期待が寄せられています。国際支援学コースでは熱帯・亜熱帯域の食料、人口、環境、資源の諸問題を解決できる人材の育成を目指しており、熱意と元気のある以下のような学生を求めています。

- 東南アジア、東アジアを中心とした熱帯・亜熱帯域の農林水産業を支援することを志し、そのために必要な技術や知識を習得したいと考えている学生
- 今後ますます重要となるであろう、食料、人口、環境、資

学科名

■ 農学科

- 暖地農学コース
- 海洋生物生産学コース
- 食料科学コース
- 生命化学コース
- 自然環境学コース
- 流域環境工学コース
- 森林科学コース
- 国際支援学コース

取得できる資格

■ 農学科

- 樹木医補
- 森林情報士2級
- 測量士補
- 測量士 [受験資格]
- 気象予報士 [受験資格]
- JABEE認定修習技術者 (技術士補相当)
- 中学校教諭一種免許状 (理科)
- 高等学校教諭一種免許状 (理科)
- 高等学校教諭一種免許状 (農業)
- 高等学校教諭一種免許状 (水産)
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 学芸員
- 土木施工管理技士 [受験資格]
- 中級バイオ技術認定 [受験資格]
- 上級バイオ技術認定 [受験資格]
- 家畜人工受精師 [受験資格]
- 林業改良普及員 [受験資格]
- 水産業改良普及員 [受験資格]
- 甲種危険物取扱者 [受験資格]

源の問題に関心を持ち、その解決に実践的に取り組みたいと考えている学生

- 海外の大学との国際交流活動を通じて歴史や文化の違いを体感し、幅広い視野と国際感覚豊かな人間性を身につけたいと考えている学生

「循環」「持続」「調和」をキーワードに、未来への課題を解決する

食料問題、資源問題及び環境問題は、ますます複雑に絡み合い現代社会の大きな課題となっています。

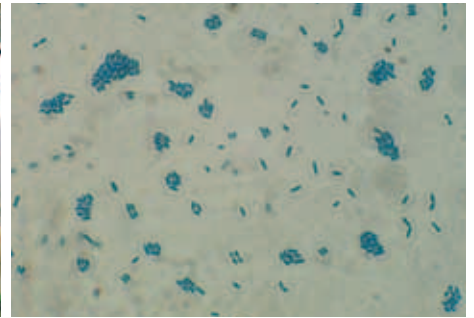
農学は、これらの問題を調和的に解決し、人類の未来を切り開く総合科学。

海・山・川・農地が近接する恵まれたフィールドを活かし、徹底した現場主義のもと

地域社会、国際社会に貢献できる新たな価値創造と先端技術に関する研究教育を行っています。

●暖地農学コース

資源の少ない国といわれる日本。でもここ高知には360度広がる大きな空があり、豊富な光、暖かい気候があります。これら西南暖地の貴重な資源を最大限に活用し、循環型農業を実現するため、様々な農産物の生産管理や高度な環境調節、遺伝的改良など最先端の研究が行われています。



●海洋生物生産学コース

海に取り囲まれた日本では、食料自給率を上げるためにも、海洋生物資源(魚介類)の生産と利用が今後ますます重要になります。本コースでは、海洋生物資源ならびにそれを育む海洋環境の重要性を認識し、その持続的生産・環境保全・有効利用に関して広く基礎知識を習得します。講義とともに、豊富な実験・実習を通じて応用力を身につけることにより、未来につながる海洋生物資源の保全と利用に関する思考力を備えた人材育成に努めています。



●食料科学コース

未来志向の豊かな「食」づくり!

食料生産に関わる自然環境の理解と保全・修復、食品及び食品成分が生体に与える機能の食品化学的及び生化学的解明、付加価値の高い食品やバイオテクノロジーを応用した機能材料の開発など、食の科学に立脚した教育・研究を行うとともに、安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる食品の開発に貢献できる人材の養成を目指しています。

●生命化学コース

化学で生命を探る

私たちの生きるこの世界は、つきつめればすべて元素記号の組み合わせ=化学物質で成り立っています。生物もその例外ではなく、植物は根から様々な化学物質を吸収し自分の体を作りあげます。また、昆虫は化学物質を使って仲間を認識し、植物も体内で作りあげた化学物質で病原菌や害虫を牽制します。それら動植物・微生物の生命現象を個体レベルから分子レベルまで解析し、実用化への道を探る先端研究を行います。



●自然環境学コース

自然界における化学、物理学、生物学、地学の諸法則を基礎とした自然環境の総合的な理解に立脚した、人間活動と自然環境との相互の影響と依存性を認識した人材や、それに立脚して持続可能な人間活動のための自然環境の制御と保全、及び環境との共生のために責任感を持って具体的に行動できる知識と能力を持った人材を育成します。

●流域環境工学コース

流域環境工学コースは川でつながる森林・農地・市街地そして沿岸域までをフィールドとします。山地・里山の保全、水環境の保全、水の利用、水災害の防止、農村・都市での生活環境の改善などに関する教育・研究を通じて、流域に暮らす人間が水とうまく付き合い自然と共存するための理論と技術を学びます。当コースでは日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けた教育プログラムを展開しています。そのため、卒業生全員が技術士補相当の資格を取得でき、技術者にとって最も重要な資格である「技術士」の一次試験が免除されます。



●森林科学コース

森林は環境を保全するとともに、様々な恵みを与えてくれます。地球環境に果たす森林の役割が理解されるようになってきましたが、自然環境の保全と循環型の資源利用システムの構築が重要な課題となってきています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、森林資源の高度利用を目指します。亜熱帯から亜寒帯までの多様な森林植生を抱える恵まれた高知県のフィールドで、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。森林と環境及び人間との関わりを総合的に研究するのが森林科学コースです。

●国際支援学コース

熱帯・亜熱帯諸国を中心に、地域の環境保全を意識した持続的農林水産業の生産性の向上とそれに関わる資源管理についての問題の発掘、それらの解決に向けての技術開発ならびに技術移転を実践的に担う人材の育成を行います。そのために、本県の立地条件を活かして熱帯・亜熱帯の環境を再現した条件下での実習・実験に重きを置いた教育を実施するとともに、海外の大学間・学部間協定校との交流を促進し、現地での実習や卒業論文研究などを実施します。また国際舞台で活躍するための英語教育を行います。



カリキュラム例

■暖地農学コース

栽培学、植物生理学、農業気象学、農場実習Ⅰ・Ⅱ、食用作物学、植物育種学、家畜管理学、暖地園芸学概論、蔬菜園芸学、園芸管理学、花卉園芸学、果樹園芸学、熱帯園芸学、農業経営学、食品流通論、施設生産学、植物・環境計測学、作物学実験、植物育種学実験、蔬菜花卉園芸学実験、果樹園芸学実験、農業経営学演習、施設生産学実験

■海洋生物生産学コース

水族遺伝・育種学、魚類生態学、海洋基礎生態学、水族環境学、水質学、魚病学、魚類防疫学、魚類栄養飼料学、魚類生理学、水産物利用学、水産物品質管理学など

■食料科学コース

無機化学、土壌環境科学、生物化学、食品製造学、食品化学、食品衛生学、栄養化学、食品分析学などの科目を受講します。また、食料科学実験、生命化学実験を通じて、本コースで学ぶための実験基礎を修得します。4年生の卒業論文では、土壌環境学、植物栄養学、生物資源利用化学、応用生物化学、生物工学、応用微生物学などの分野の研究に取り組みます。

■生命化学コース

植物生育環境学、応用微生物学、生理活性物質化学、生物有機化学、動物生理学、動物生産・繁殖学、植物感染病学、細菌学などの科目を受講します。また、生命化学実験、食料科学実験を通じて、化学実験、生物学実験の基礎を修得します。4年生の卒業論文では、植物生育環境学、生理活性物質化学、応用微生物学、植物工学、動物生殖学などの分野の研究に取り組みます。

■自然環境学コース

昆虫学概論、生物環境システム学、山地環境学、自然エネルギー利用学、生物多様性管理学、農業気象学、海洋基礎生態学、人間・環境相互影響論、水科学、魚類生態学、生物多様性管理学、動物生態学などの講義。実験・実習として自然環境学実習Ⅰ～Ⅳ、自然環境学実験Ⅰ・Ⅱ、昆虫学実験があります。

■流域環境工学コース

水資源学、流域計画学、施設工学、景観デザイン、流域水環境保全学、農地環境工学、環境評価学、環境管理計画学、科学・技術の倫理、流域環境学、環境情報学、土壌環境物理学、環境水質学、フィールドでの実験・実習、卒業論文など

■森林科学コース

森林育成学、森林生産機械学、森林測定学、森林経済学、木材物理学、木質成分化学、森林科学実習、森林統計学、測量学、測量学実習、森林環境政策学、山地測量設計実習、森林生産技術実習、森林科学専門実習、樹病学、樹病学実験、バイオマスエネルギー利用学、木質資源材料学など

■国際支援学コース

熱帯農業論、熱帯林業論、熱帯水産業論、熱帯環境論、海外フィールドサイエンス実習、海外課題研究、実用英会話、実用英作文、沿岸環境学、栽培学、測量学、国際農林水産業開発協力論、国際農林水産物市場論、樹木学実習、森林生産技術実習、養魚実習、農場実習など

卒業後の進路

国家公務員、地方公務員、試験研究機関、大学院、各種団体(農業関係団体、森林・林業関係団体、水産業関係団体)、民間企業(農業機械・施設関連、食品関連業界、木材産業、木材流通、建設コンサルタント業界、環境アセスメント企業、測量・設計関連、土木・建設関連、情報関連業界、バイオ技術関連企業、食品・医療業界、魚介類養殖業界)

農学部 平成24年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
農学科	前期日程	国 数	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1	その他	小論文
	後期日程	理 外	理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文

①[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について

「数学」の教科について『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科」については、本学の指定する利用科目数が1科目または選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いる。

「英語」については、リスニングを含む。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
農学科	暖地農学コース	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接	
	海洋生物生産学コース	国 数 理 外	国語 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科4科目]	その他	小論文、面接	
	食料科学コース	国 数 外 理	国語 ー から 数I、数I・数Aから1と数II、数II・数B、 2教科2科目 工、簿、情報から1の計2科目 又は 英、独、仏、中、韓から1 2教科3科目 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 [3教科3科目又は3教科4科目]	その他	小論文、面接	
	生命化学コース	国 数 外 理	国語 ー から 数I、数I・数Aから1と数II、数II・数B、 2教科2科目 工、簿、情報から1の計2科目 又は 英、独、仏、中、韓から1 2教科3科目 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 [3教科3科目又は3教科4科目]	その他	小論文、面接	
	自然環境学コース	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接	
	流域環境工学コース	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接
		推薦入試II(一般推薦)(専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接
	森林科学コース	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	面接
		推薦入試II(一般推薦)(専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接
	国際支援学コース	推薦入試II(一般推薦)(専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接

[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、上記①を参照のこと。

可能性を伸ばす、自由な学び

～農学最前線からのメッセージ～

フィールドを活かし、主体性を重視する高知大学の学び。
中でも広い視野をもって社会の課題解決に挑む農学部では、
既存の枠にとらわれない感性豊かな人材の育成に力を入れています。
そんな自由度の高い学びや現場体験が、どんな未来を拓くのか——
社会の最前線で活躍する先輩たちのメッセージから、
その可能性をイメージしてみませんか？



“高知”という多彩で豊かなフィールドと密接に関わり合う農学部の授業。その大らかな空気が、個性豊かな人材を育み、輩出している。

Message

松井 徳光 武庫川女子大学生生活環境学部教授

教育と研究の最前線から

—— 農学の不思議さ、おもしろさを伝える！

高知大学の魅力は → 贅沢な自然と自由な空間、そして人！

高知大学の魅力は、まず明るい太陽やさわやかな空気など贅沢な自然環境に恵まれ、健康的で大きく成長できる自由な空間があること！そのことがユニークなアイデアを生み、チャレンジできる環境をつくっていると思います。また、豊かな専門知識と獨創性に優れた教授が多いということ、さらに研究施設が充実し、世界が注目する研究が展開されていること！私は今でも高知が大好きです。

学んだのは → 自分の核となる精神力

ソフトボール大会での優勝など、感動的な思い出では数多くありますが、卒論研究室での思い出が強烈です。研究、「ストライヤーの生化学」の翻訳、旅行やコンパなど、よく実験し、よく勉強し、よく遊びました。その中で、人には優しく自分には厳しくという姿勢や、「やればできる！」という考え方が身につきました。現在、武庫川女子大学の学生部

長をしながら、年間20コマの講義、論文作成、特許取得など楽しくハードな日々を続けていますが、高知大学で培われた強い精神力と、“気合い！”があったからこそ実現できたと心から感謝しています。



Profile 高知大学農学部農芸化学科卒。愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程修了(高知大学にて研究)。京都大学化学研究所、ドイツ留学などを経て現職。専門は食品微生物学。

大学教育や先端研究のかたわら人気テレビ番組にも出演し、機能性食品の不思議さ、楽しさを広く発信する松井先生。「趣味は研究！」というその原点は、高知で過ごした9年間だという



「世界一受けたい授業」でも大活躍!!



Message

神田 優 NPO法人 黒潮実感センター長

豊かな自然のフィールドから

—— “島がまるごと博物館” 構想を実現!

大学時代は → “世界一楽しい苦学生”

私の学生生活におけるモットーは自給自足。畑では酒のつまみの枝豆やトマト、ナスなどの野菜を作り、海では魚を釣って干物を作り、余った分は良心市や大学で売るとい、自他共に認める“世界一楽しい苦学生”でした(笑)。そして趣味と実益を兼ねてダイビングガイドのバイトをしながら海の生物の生き様に触れる日々。この時出会ったのが、私の一生の現場となった大月町柏島です。大学1回生から通い続け、修士課程では島に4ヶ月間住み込んで研究に没頭。恩師のおかげで本当に自由に学ばせてもらいましたね。

転機は → 情熱が共感を呼び、出発点に

その後、廃校を控えた島の中学校の一室を拠点に、“島が丸ごと博物館”構想を実現しようと活動を開始。若さと情熱だけじゃなかったけれど、体当たりしていくうちに当時の校長先生をはじめ、島の人も共感してくれるようになりました。

高知の人は“いごっそう(頑固)”。でも一度心を開いたらとことん応援してくれます。その人情や島のすばらしい自然を守り活かしたいと、この12年がむしやらに突っ走ってきました。「黒潮実感センター」も、当初は「実験センターですか?」とよく間違えられましたが、今ではみなさんいい名前だと言ってくださいます。

枠内写真すべて ©NPO法人 黒潮実感センター



人の都合に合わせて生き物を展示する水族館に対し、丸ごと博物館は生態系の中に人が入らせてもらうもの。新しい発想で、理解してもらおうが大変だったそう。

農学としての視点 → 未来へのバトン

日本国内で確認される魚は約4,000種。柏島周辺ではその約1/4が確認されています。透明度も平均20m、最高時には30~40mまで上がり、これほど豊かな海は他にありません。この宝物を次世代に伝えていくためには、例えば漁業者とダイビング業者が協働して海を守ったり、海と森とつながり合ったりと、俯瞰の視点、長いスパンでものを見て活動していくことが大切です。「この海が好きだ」という想いから始まった黒潮実感センター。これからも地域の価値を見だし、情報発信しながら、未来へのバトンをつなげていきたいですね。



高知大学では「柏島学」という現場実習と座学を組み合わせた授業も行われている。現場で様々な体験を重ね、楽しみながら深い学びができる人気だ。

Profile 高知大学農学部栽培漁業学科卒。東京大学海洋研究所博士課程修了。専門は魚類生態学。2002年「島がまるごと博物館」構想のもと同センターを設立し、島の自然と人の暮らしが両立する持続可能な「里海」作りを挑戦中!

学生時代から、釣りの腕前は「レジャーじゃなくて漁だ!」と言われるほど。釣り、ダイビング、生態研究——「大学時代から遊びと学びに境界はなかった」と神田さん

第6回エコツアーリズム大賞受賞!!

Introduction

企業の最前線から

—— 製品化で、世の中の役に立つ!

現場に学びのチャンスあり

高知大学の強みは何といってもたくさんの「現場」を持っていること。農・林・水産業の現場をはじめ、食品や化粧品メーカーなど様々なものづくりの現場が高知大学を核につながり合っています。学生時代からいろいろな人と交流し、新技術や話題の製品が生み出されるプロセスを間近で見られるのは、何にも勝る学びのチャンス。どん欲にチャレンジしてみては?!

大学発のブランド商品が今、注目されている

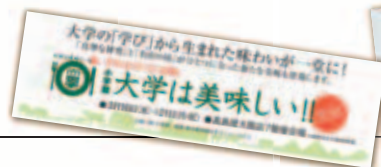
共同開発された商品は、近年、様々な雑誌やメディアでとりあげられたり有名百貨店の企画展で販売されたりと大活躍! 発想や視点のユニークさだけでなく、高い品質や機能性がそのブレイクの理由です。そんな高知大学発のブランド商品を、いくつかここでご紹介——。

東京ビジネスサミット 2010逸品コンテスト 優秀賞!



くるり。 | 菓子工房コンサルト

生地とクリームに「黒酵母β-グルカン」を使用することで、味や食感より美味に、カロリーは大幅にダウン。健康的でおいしいスイーツとして注目されています。



平成15年度 全国地場産業大賞 奨励賞!



情熱は、高知から宇宙まで!!

高木酒造の高木純水会長は、高知大学農学部を卒業後、教員として教育にも携わった。明治17年から続く伝統を継承しつつ、宇宙を旅した酵母菌を使った「土佐宇宙酒」の開発など、新しい挑戦を続けている

「やさしいゆず酒」や「くるり。」は、高知大学発商品の代表格! 高島屋大阪店のランドオープン記念展「大学はおいしい」(企画:小学館)に出品されたり、「日経ヘルス・ブルミエ」(日経BP社)で「賢いアルコール、機能★性★スイーツ」として紹介されるなど、注目を集めている。

ニーズに応える斬新な学び

～土佐さきがけプログラム～

進取の気性を持ち、時代の一步先を進むリーダーを育成する、
特別教育プログラムが始まる! 目指せ! 平成の龍馬!

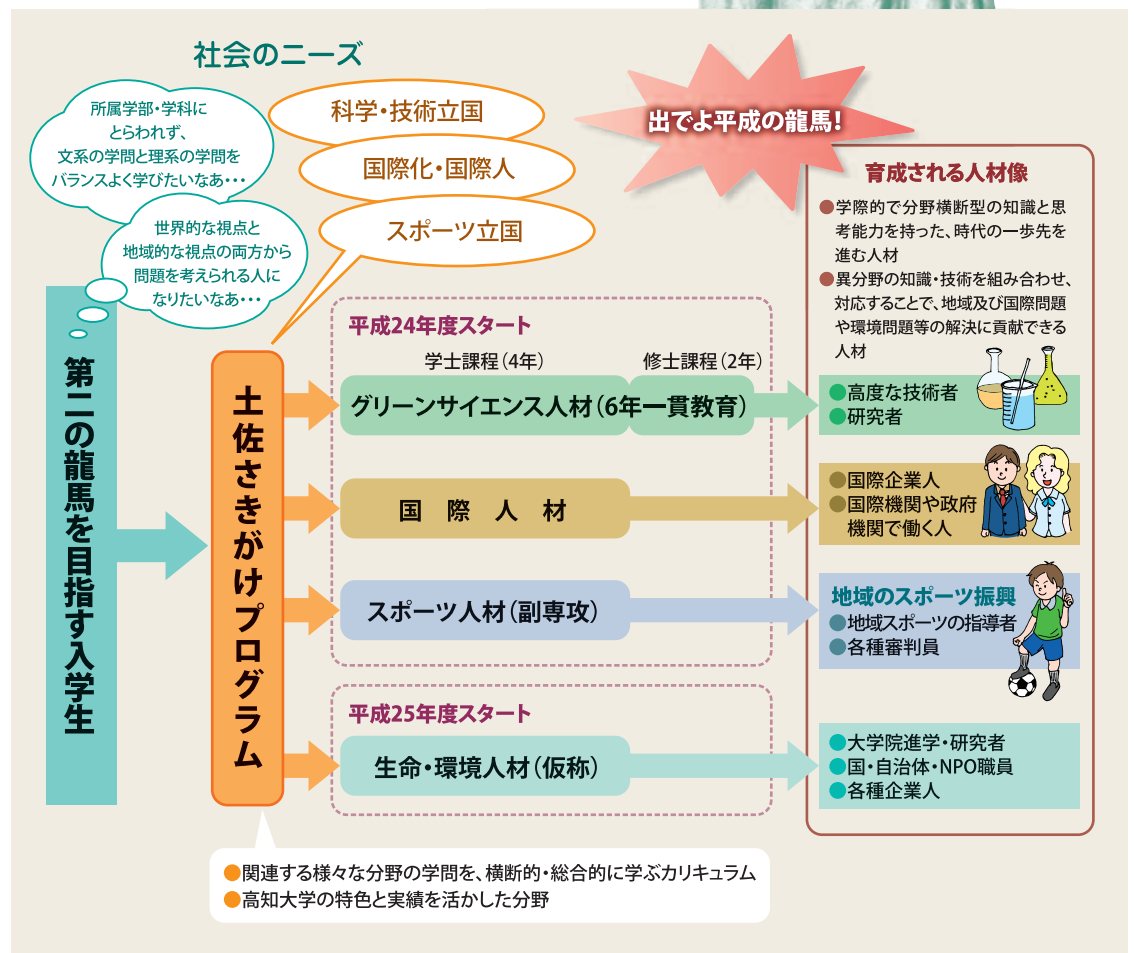
「土佐さきがけプログラム」とは

高知大学のこれまでの教育・研究の実績や特色を活かした上で、従来の学部・学科等のカリキュラムから独立した、時代を先駆ける新しい高知大学独自の教育プログラムです。

「土佐さきがけプログラム」では、これまでの学部や学科・コース等での学びにとどまらず、関連する様々な分野の学問を横断的かつ総合的に学ぶ特色ある独自のカリキュラムが準備されています。これらを学ぶことで、様々な分野に関連する幅広い知識(基礎力)や、それらを組み合わせて物事を考える力(応用力)を身につけ、地域社会の課題から国際問題、環境問題など、現代社会が抱える様々な課題の解決に積極的に取り組む社会のリーダー、すなわち幕末の志士坂本龍馬のように、時代の一步先を進む人材の育成を目指します。

「土佐さきがけプログラム」では、それぞれが育成すべき人材像に適した学際的かつ体系的なカリキュラムにより教育する一方、卒業論文研究では研究分野や指導教員の選択をある程度学生の自由に任せるなどの特色があります。

「土佐さきがけプログラム」は、平成24年度からまず3つのコースが、また平成25年度からはさらに1つのコースが始まる予定です。右ページには、24年度から始まる3コースについて詳しく書いています。



グリーンサイエンス人材育成コース

設置の目的と育成する人材像

化学を基盤とし、環境に配慮した技術開発・学際研究(グリーンサイエンス研究)を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。



教育の特色

- 化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけ、少人数で多くの研究実験を行い、化学者としての技量を高めます。
- 入学後の早い時期から、高知大学で実施されている最先端の研究に参加し、課題探求能力や問題解決能力を高めます。
- 学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とし、学部から大学院まで、6年一貫の特別なカリキュラムの中で、広い知識と高度な技術を習得します。

主な授業科目

グリーンサイエンス特別講義
科学者倫理学
海外インターンシップ
学術論文作成セミナー

就職先例

民間企業開発部門や公的研究機関など

国際人材育成コース

設置の目的と育成する人材像

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっている中国語及び日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。



© UN Photo/Mark Garten

教育の特色

- 日本人学生と外国人留学生在が同じプログラムの中で共に学ぶことで、国や文化の違いを超えて相互理解を目指す姿勢を身につけます。
- プログラム前半の2年間では語学力の向上と異文化理解に重点を置き、後半2年間では国際経済に関する専門知識を中心に学びます。
- 日本人学生は海外協定校への留学や海外インターンシップ、外国人留學生は国内留学や国内企業でのインターンシップを行い、グローバル化の進む社会で活躍できる実践力を身につけます。

主な授業科目

アカデミック英語
異文化理解
英語コミュニケーション論
対人コミュニケーション論

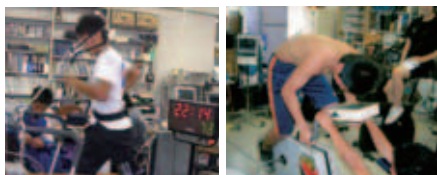
就職先例

国際的企業、国連などの国際的機関、NGOなど

スポーツ人材育成コース

設置の目的と育成する人材像

人文学部・教育学部(スポーツ科学コースを除く)・理学部の推薦入試Iの合格者の中から、それぞれの学部での学びに加えて、入学後に副専攻プログラムとしてスポーツ人材育成コースで学ぶことを希望する人を対象に選考します。所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、卒業後はさまざまな職業で活躍しながら、職場でのスポーツの活性化やスポーツを通じた地域貢献を行える人材を育成することを目指します。



教育の特色

- それぞれの所属学部・学科の専門分野に加えて、副専攻として運動時の心身の働き、メカニズムについてスポーツ生理学、スポーツ心理学、トレーニング論を通してスポーツ科学の理論について学びます。
- トレーニング実習や専門実技演習I～IIIを通して実践について学び、競技力の向上を目指します。
- スポーツ指導やコーチング理論、地域スポーツクラブの運営について学び、競技の指導能力や地域のスポーツ振興に貢献できる力を身につけます。

主な授業科目

専門実技演習 I～III
テーピング・スポーツマッサージ実習
コーチング演習

活動先例

それぞれの職業を持ちながら地域のスポーツ振興にかかわる指導者や各種スポーツの審判員など

教員紹介

役員

理事	櫻井 克年	土壌情報解析学、土壌生態学、熱帯土壌学
理事	深見 公雄	海洋微生物の生態とそれを利用した海洋環境保全・修復
理事	小槻 日吉三	有機合成化学、高圧有機化学、天然物合成化学、不斉合成化学

人文学部 人間文化学科 人間基礎論コース

教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、神話学
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
教授	塩坪 いく子	空間認知の発達・言語獲得
教授	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
教授	高橋 克己	ドイツ思想詩：古代ギリシアと西欧：プラトーン主義と教父
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
准教授	西尾 美穂	統語範疇とは何か、またそれはどのように変化するか
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
准教授	増田 匡裕	様々な対人関係の発達・解消過程のコミュニケーション

人文学部 人間文化学科 地域変動論コース

教授	上野 智子	日本語方言・四国地方方言・高知県方言の研究と海岸部地名の研究
教授	大榎 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	萩 慎一郎	日本近世社会史の研究、日本近世鉱山史、「浦」社会史
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	清家 章	弥生時代～古墳時代を中心とした日本考古学
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏・南海路の研究
教授	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史
准教授	小幡 尚	行刑史などを中心とする近代日本刑事政策史研究
准教授	川本 真浩	イギリスおよびイギリス帝国の近代史にみる地域イベント
准教授	後藤 拓也	アグリビジネスの地理学的研究

人文学部 人間文化学科 言語表象論コース

教授	大西 宗夫	フランス文学・思想、特にラカンの精神分析の研究
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	山本 秀人	日本語学、特に漢字の訓、古辞書（漢和辞書等）に関する研究
准教授	鈴木 隆司	平安朝文学における作品の成立と享受
准教授	宗 洋	19世紀末からモダニズムの時期にかけての英文学
准教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、大正期文芸思潮研究

人文学部 国際社会コミュニケーション学科

教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	岡本 克人	フランス語・日本語・英語の比較対照研究
教授	奥村 訓代	デジタル化時代にふさわしい外国語としての日本語教授法研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	上岡 克己	アメリカの自然・環境と文化・文学とのかわりについて
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国唐代の漢詩
教授	中森 健二	中国の古代・中世文学、おもに詩文学と詩論の研究
教授	丸井 一郎	言語相互行為研究、特に異文化間対照、比較文化学
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にブラウニングの英詩研究
教授	LINGLEY, Darren Scott	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	古閑 恭子	アカン語（ガーナ）の記述研究、ガーナの言語状況の研究
准教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の文法
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	遠山 茂樹	情報通信技術（ICT）を利用した地域づくりに関する研究
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	藤崎 好子	音声の自然性・第3言語習得・旧ソ連圏の言語政策と英語教育
准教授	持尾 伸二	英独の伝承文学、とくにバラッドについて
准教授	DOYLE, Howard Barry	言説とジャンル、リテラシー教育、外国語（第二言語）の研究
准教授	HARE, Joanna Dorothy	和英翻訳や解説（四国に関するテーマ・深沢七郎の文学等）
講師	岩佐 光広	医療に関する人類学的・倫理学的研究、ラオス地域研究
講師	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
講師	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
講師	HUG Stefan	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語
講師	OTLOWSKI, Marcus George	英作文教授法、英語教授法

人文学部 社会経済学科 総合地域政策学コース

教授	上田 健作	保健医療NPOに関する日米比較研究
教授	大石 達良	日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究
教授	鈴木 啓之	現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論
教授	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
教授	青木 宏治	基本的人権とローカル・ルール、公教育における権利のあり方
准教授	石筒 寛	工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策
准教授	稲田 朗子	医事刑法
准教授	上神 貴佳	現代日本における選挙や政党の研究
准教授	緒方 賢一	地域・農業・農村・環境問題に関する法社会学的研究
准教授	岡村 和明	雇用、所得分配のメカニズムに関する実証研究
准教授	雷田 博史	ドイツ統一後の連邦財政調整制度
准教授	肖 紅燕	チベットムスリム研究、日中家族研究、土佐酒造史・茶業史
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障制度の普遍化に関する課題
准教授	松本 充郎	行政法・環境法・法哲学、日米水法の総合的研究
助教	堀 美菜	漁村社会学、アジアの地域住民と漁業のかかわりに関する研究

人文学部 社会経済学科 経済企業情報学コース

教授	飯國 芳明	山間地域における活性化の分析、農業政策の国際比較
教授	池田 啓実	自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	頭川 博	高度な生産力形成と貧富の拡大という資本主義の二大特色を研究
教授	田村 安興	流通経済史の研究、日本思想史の研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	紀国 正典	金融の公共性・国際公共性と国際金融システムについての研究
准教授	円谷 友英	データのあいまいさに着目した区間解析に関する研究
准教授	中澤 純治	産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
准教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
講師	切詰 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究
講師	中道 一心	デジタルスチルカメラ産業における地域、国、企業の競争力の分析

教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース

教授	内田 純一	成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論
教授	馬場園 陽一	認知・メタ認知に関する理論的・発達の・実践的研究
教授	藤田 尚文	親子関係、学力問題、触覚・力覚の感性情報処理
准教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
准教授	加藤 誠之	思春期問題（主に不登校・非行）に関する現象学—実存主義的理解
准教授	金山 元春	ソーシャルスキル教育、教育相談
准教授	柳林 信彦	アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース

教授	北川 修久	書写書道教育の学習方法と古典における表現研究
教授	久野 眞	日本語の記述的研究
教授	渡邊 春美	国語科の授業活性化の研究、および国語科教育の歴史の研究
准教授	北 吉郎	新美南吉童話の研究および児童文学教材の学習指導研究
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典文学の享受に関する研究
准教授	玉木 尚之	中国古代の芸術観（おもに音楽観）

教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース

教授	市村 高男	中世日本社会を政治・経済・文化の諸側面から総合的に考察する
教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史（ヘーゲル）、快楽論、リラクゼーション論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人権について
教授	岡田 俊裕	近世および近現代日本の地理学史および地理教育史
准教授	藤塚 吉浩	大都市衰退地区の再生と中心市街地の再活性化に関する研究
准教授	柳川 平太郎	近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究
准教授	山崎 聡	経済思想（ケンブリッジ学派）の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース

教授	織田 進	可換代数の研究、とくに環の不分解拡大、環上の多項式環に関する領域
教授	國本 景亀	生命論に立つ数学教育の理論構築と実践をテーマとしている
教授	中野 俊幸	数学的認識の記号論的研究および算数・数学学習指導法の研究
教授	中村 治	点や線や円板等でできた図形の計算機を用いた研究
准教授	佐藤 淳郎	可換代数、とくにネーター環の拡大についての研究
准教授	山口 俊博	やわらかい幾何学（トポロジー）の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース

教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	國府 俊一郎	固体の電子系と原子核を対象にした量子力学多体問題

教授	田中 秀文	火山岩による古地磁気の強度と方向の変動に関する研究
教授	原田 哲夫	子どもの生活リズム研究、アメンボ類とくに外洋棲ウミアメンボ研究
教授	普喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
准教授	伊谷 行	海産無脊椎動物の自然史学、河口域・干潟域の生態学
講師	中城 満	理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース

教授	谷口 雅基	英語音声学、音声教育、国際コミュニケーションのための英語教育、異文化理解
教授	那須 恒夫	英語の教授・学習過程、外国語教育の国際比較、異文化教育
教授	小比賀 香苗	イギリス文学におけるファンタジーの形状と意味
准教授	多良 静也	変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究
准教授	松原 史典	統語(文法)理論により様々な言語現象を解明すること

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース

教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
教授	山中文	音楽科の授業構成研究、音楽活動中の子どもの発話研究
教授	脇岡 宗一 (総一)	オーボエを中心とした管楽器奏法及びロマン派作品の研究
准教授	高橋 美樹	沖縄のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
准教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース

教授	金子 宜正	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授	土井原 崇浩	油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授	吉光 誠之	木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
准教授	吉岡 一洋	グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造
講師	阿部 鉄太郎	塑造による具象彫刻の研究
講師	野角 孝一	日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース

教授	神家 一成	スポーツ運動の学習過程および指導過程に関する研究
教授	刈谷 三郎	体育授業の日韓比較研究および陸上競技指導論
教授	駒井 説夫	全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
教授	野地 照樹	サッカーのコーチングと高知大サッカー部の指導研究
教授	本間 聖康	生活習慣(とくに運動や栄養)と健康や体力の関係について
教授	福田 俊治	地域スポーツの振興条件や学校との関わりについて
准教授	矢野 宏光	スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか

教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース

教授	裏垣 博	超音波による工業材料や構造物の非破壊試験・検査
教授	増尾 慶裕	児童生徒の学力を育成するための構成主義学習指導に関する研究
教授	中西 秀男	半導体特性の非接触評価、触覚・力覚の感性情報処理
准教授	道法 浩孝	ニューロコンピューティング、電気・情報に関する教育

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース

教授	菊地 るみ子	家庭科教育および生活環境教育に関する理論的・実証的研究
教授	小島 郷子	家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
教授	田村 和子	被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
准教授	森田 美佐	生活経営学・ジェンダー平等に関する研究
講師	柴 英里	健康科学を基盤とした食物学の意義と実践の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教授	稲富 眞彦	障害児の教育方法、ASDの行動特性の変容過程、障害の早期発見
教授	寺田 信一	脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
准教授	是永 かな子	北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
講師	鈴木 恵太	学習障害など発達障害のある子ども達の理解と指導に関する研究

教育学部 生涯教育課程 芸術文化コース

教授	小原 浄二	研究内容は、学校教育教員養成課程と同様
教授	北川 修久	
教授	土井原 崇浩	
教授	宮田 信司	
教授	吉光 誠之	
教授	脇岡 宗一 (総一)	
准教授	玉木 尚之	
准教授	前田 克治	
准教授	吉岡 一洋	
講師	阿部 鉄太郎	
講師	野角 孝一	

教育学部 生涯教育課程 スポーツ科学コース

教授	神家 一成	研究内容は、学校教育教員養成課程と同様
教授	駒井 説夫	
教授	野地 照樹	
教授	本間 聖康	
教授	福田 俊治	
准教授	矢野 宏光	

教育学部 生涯教育課程 生活環境コース

教授	裏垣 博	研究内容は、学校教育教員養成課程と同様
教授	田村 和子	
教授	普喜 満生	
教授	藤本 富一	
准教授	赤松 直	
准教授	伊谷 行	
准教授	森田 美佐	
准教授	山崎 聡	

教育学部 附属教育実践総合センター

准教授	古口 高志	ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
准教授	田邊 重任	道德教育の方法に関する諸問題の研究
講師	島田 希	授業研究、カリキュラム開発および教師の力量形成に関する研究

理学部 理学科 数学コース

教授	大坪 義夫	非線形評価関数を伴うマルコフ決定過程論とその応用に関する研究
教授	下村 克己	安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
教授	諸澤 俊介	複素力学系、クライン群論
教授	野間口 謙太郎	制約条件下の統計的推測、不完全データの統計的推測
教授	逸見 豊	高次元多面体の研究、代数的方法を用いたボロゾーの研究
教授	福間 慶明	代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
准教授	池田 徹	3次元多様体論、結び目理論
准教授	大浦 学	符号、不変式、モジュラ形式の境界部分
准教授	小野寺 栄治	偏微分方程式、幾何解析
准教授	小松 和志	準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
准教授	土基 善文	非可換代数幾何学、非可換環論
助教	三角 淳	相転移を含む確率モデル

理学部 理学科 物理科学コース

教授	飯田 圭	高密度物質の理論
教授	津江 保彦	強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
教授	西岡 孝	極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
教授	松村 政博	核磁気共鳴・核四重共鳴による磁性、超伝導の研究
教授	大盛 信晴	宇宙線のエネルギースペクトル、組成、時系列の研究
准教授	加藤 治一	遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
准教授	島内 理恵	燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
准教授	中村 亨	超高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
准教授	西澤 均	機能性材料の合成と物性評価
助教	仲野 英司	理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など

理学部 理学科 生物科学コース

教授	石川 慎吾	植生の動態と攪乱地に生育する植物の生活様式の研究
教授	遠藤 広光	魚類の分類・系統学に関する研究
教授	奥田 一雄	植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
教授	佐々木 邦夫	魚類の形態学的研究
教授	種田 耕二	動物の生理学、動物行動のしくみの研究
教授	松岡 達臣	原生動物の環境応答およびクリプトバイオシスの分子機構
准教授	岡本 達哉	地衣学
准教授	関田 諭子	渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
准教授	松井 透	アブラコケ目蘚類の分類、キンシゴケ科蘚類の分類、四国の蘚類相
准教授	峯 一朗	藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
准教授	三宅 尚	花粉分析に基づく後期更新世以降の植生史の解明
助教	加藤 元海	理論生物学、生命科学や生物学における現象を数学を用いて解明
助教	児玉 有紀	ミドリゾウムシとクロレラとの細胞内共生成立機構の研究

理学部 理学科 地球科学コース

教授	石塚 英男	太古代大陸地殻の形成プロセスと進化に関する研究
教授	臼井 朗	海底鉱物資源の形成過程、形成条件
教授	近藤 康生	二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
教授	Santosh Madhava Warrior	変成岩研究による Gondwana 超大陸の集合・分裂・移動過程解明
教授	吉倉 紳一	珪長質マグマ溜まりプロセスと大陸地殻の形成・発展過程の研究
准教授	岩井 雅夫	南極氷床発達史と海洋生態系の形成・進化に関する研究

教員紹介

准教授 中川 昌治 セラミックス原料の鉱物学鉱床学、南インドの鉱物資源
 准教授 奈良 正和 フィールド古生態学野外調査にもとづく埋動物の古生態(生態)に関する研究

理学部 応用理学科 情報科学コース

教授 豊永 昌彦 組合せ最適解の計算機算法(回路の配置・配線自動化)
 教授 中込 照明 量子モノド論、情報多体系、オブジェクト指向、統計
 教授 村岡 道明 システムおよびLSIのEDA技術の研究、データベースの研究
 准教授 伊藤 宗彦 層型空間の開基、多角形の位相的性質
 准教授 岡本 竜 知識工学と学習科学
 准教授 塩田 研一 暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
 准教授 本田 理恵 データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
 准教授 森 雄一郎 ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
 助教 三好 康夫 学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス

理学部 理学科/化学コース、応用理学科/応用化学コース

教授 藤山 亮治 反応速度および分子軌道計算による有機反応機構解析
 教授 北條 正司 非水溶媒環境下における溶存化学種の同定と定量
 教授 吉田 勝平 発光性色素および金属錯体の創出と光機能材料への応用
 教授 米村 俊昭 新規機能性錯体および生体系モデル錯体の開発と評価
 准教授 上田 忠治 新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
 准教授 金野 大助 有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
 准教授 渡辺 茂 有機—無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
 助教 永野 高志 有機合成化学、有機金属化学、新規触媒的有機分子変換反応の開発
 助教 松本 健司 天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発

理学部 応用理学科 海洋生命・分子工学コース

教授 市川 善康 天然物化学、生物有機化学、糖化学に関する研究
 教授 川村 和夫 出芽ホヤの生殖担当細胞が示す未分化性と分化転換のしくみ
 教授 鈴木 知彦 グアニジノキナーゼの構造、機能および進化
 教授 藤原 滋樹 動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
 准教授 中野 啓二 有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
 准教授 湯浅 創 酵素の生化学と分子進化
 助教 宇田 幸司 酵素の構造と機能の進化に関する研究
 助教 砂長 毅 群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究

理学部 応用理学科 災害科学コース

教授 岡村 眞 津波堆積物および海底活断層から地震の長期予測を行う
 教授 佐々 浩司 模擬実験による竜巻・ダウンバーストの解明、メソ気象擾乱の観測
 教授 田部井 隆雄 GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
 教授 横山 俊治 斜面災害の野外科学、テーマ:四国山地は尾根から裂ける
 教授 東 正治 雲母粘土鉱物の混合層構造解析
 准教授 橋本 善孝 沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学・物質—流体相互作用
 准教授 松岡 裕美 浅海底活断層の研究、津波堆積物の研究
 准教授 村上 英記 地震火山活動に関連する流体の研究、月内部構造の研究
 助教 村田 文絵 バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究

理学部 附属高知地震観測所

准教授 久保 篤規 斜め沈み込みによる四国周辺における地震発生の力学および媒質の研究

理学部 附属水熱化学実験所

教授 柳澤 和道 水熱反応によるセラミックス合成と廃棄物の処理・処分
 准教授 梶芳 浩二 水熱法・電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
 助教 恩田 歩武 バイオマス変換に有効な新規固体触媒反応に関する研究

医学部 医学科 解剖学

教授 由利 和也 神経情報伝達系とステロイドホルモン
 准教授 平野 伸二 神経回路形成および形態形成における細胞接着分子の役割
 准教授 三井 真一 発達障害の診断・治療の基礎研究
 助教 Zinchuk Vadim S. 毛細胆管における輸送体の解析
 助教 福島 篤 神経内分泌学
 助教 山口 奈緒子 神経内分泌学

医学部 医学科 病理学・病理学兼病理診断部

教授 降幡 睦夫 ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
 教授 李 康弘 発がんのメカニズムとその遺伝的修飾の研究
 准教授 小山内 誠 古くて新しいビタミンの病理:ビタミンで癌を治療する?
 准教授 竹内 保 腫瘍発生進行の分子メカニズムを病理学的視点より研究
 助教 井口 みつこ 人体病理
 助教 倉林 睦 人体病理
 助教 戸井 慎 人体病理
 助教 中嶋 絢子 人体病理

医学部 医学科 病理診断部

准教授 弘井 誠 造血器疾患の臨床病理学的研究
 講師 松本 学 人体病理

医学部 医学科 生理学(統合生理学)

教授 梶 秀人 絆の神経生物学
 准教授 奥谷 文乃 においや味の情報は脳でどのように処理されているか
 助教 谷口 睦男 香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
 助教 村田 芳博 化学感覚情報に基づく記憶形成のメカニズム

医学部 医学科 生理学(循環制御学)

教授 佐藤 隆幸 心臓病の新しい治療法の開発
 准教授 柿沼 由彦 細胞内アセチルコリン産生系の細胞代謝機能制御に関する基盤研究
 助教 有川 幹彦 アセチルコリンの心筋保護作用の分子機構に関する研究

医学部 医学科 生化学

教授 本家 孝一 遺伝子を超えた生命の不思議—生体膜のダイナミズムとはたらき
 准教授 戸田 勝巳 エストロゲンの生理作用の解析
 助教 久下 英明 神経分化に関わる生理活性脂質、中枢性尿崩症の病因
 助教 宮原 馨 精子形成における遺伝子の発現調節

医学部 医学科 遺伝子機能解析学

教授 麻生 悌二郎 遺伝子発現の調節機構の解明
 助教 安川 孝史 転写伸長因子Elongin Aの新規機能の解明

医学部 医学科 生体分子構造学

教授 岩堀 淳一郎 構造に基づく分子機能予測、食品微生物リスク評価
 准教授 三木 洋一郎 医学教育学/タンパク分子の計算機シミュレーション

医学部 医学科 薬理学

教授 横谷 邦彦 ストレスにおける交感神経—副腎髄質系の脳内賦活機構に関する研究
 助教 清水 孝洋 ストレス反応に関与する交感神経—副腎髄質系の脳内制御機構の研究
 助教 田中 健二郎 交感神経系賦活に関与する視床下部の脊髄投射性ニューロンの解析

医学部 医学科 微生物学

教授 大畑 雅典 ウイルス感染による発がん、微生物と血液疾患の関係、血液腫瘍の病態解明
 准教授 松崎 茂展 バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
 助教 今城 雅之 メルケル細胞ポリオマウイルスに関する研究
 助教 内山 淳平 バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
 助教 村上 雅尚 腫瘍ウイルスによる発がんおよび癌転移抑制蛋白による制御メカニズムの解明

医学部 医学科 寄生虫学

准教授 是永 正敬 寄生虫病学、寄生虫感染防御機構の研究
 助教 熊澤 秀雄 有害節足動物、および節足動物が介在する寄生虫の生活史

医学部 医学科 免疫学

教授 宇高 恵子 T細胞による抗原認識機構の研究、悪性腫瘍の免疫治療
 准教授 清水 健之 免疫反応の調節や成熟のメカニズムの解明
 助教 小松 利広 T細胞の腫瘍内浸潤機構の解明

医学部 医学科 法医学

教授 橋本 良明 原性合併侵襲病態、法アルコール学、自殺予防に関する研究
 助教 中西 祥徳 法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
 助教 西村 拓起 体組織中薬物濃度を指標とした病態解析に関する研究
 助教 古宮 淳一 自殺予防に関する社会病理学的研究

医学部 医学科 医療学

教授 阿部 眞司 日本社会における死生観、生命倫理の研究
 教授 菅沼 成文 産業医学と環境医学、とくに職業性呼吸器病
 教授 安田 誠史 高齢者の健康維持に関連する要因、がん登録の精度向上
 准教授 都竹 茂樹 メタボ予防・改善のeラーニングプログラムの開発
 助教 栄徳 勝光 肺疾患とエピジェネティクスの関連性の研究
 助教 弘田 量二 アレルギー進展のメカニズム解明と予防法の開発
 助教 宮野 伊知郎 高齢者の生活機能維持に関連する要因

医学部 医学科 医療管理学

教授 小林 道也 消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法臨床試験
 講師 岡本 健 大腸、消化器腹腔鏡手術

医学部 医学科 家庭医療学(寄附講座)

教授 阿波谷 敏英 地域における医学教育、プライマリ・ケアの医療経済的意義
 准教授 松下 雅英 高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究

医学部 医学科 医学教育創造・推進室

教授 高田 淳 高齢者の心血管疾患に関する研究

医学部 医学科 消化器内科学・内科(消化器)・光学医療診療部

教授 西原 利治 肝癌抑止と生活習慣病研究
 准教授 岩崎 信二 原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎の病態と治療
 講師 小野 正文 非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療
 助教 岡本 宣人 上部消化管の先進医療
 助教 小笠原 光成 非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
 助教 耕崎 拓大 胆膵疾患の先進治療
 助教 高橋 昌也 肝癌の集約的治療
 助教 藤村 靖子 非アルコール性脂肪性肝疾患の分子遺伝学的研究
 助教 東谷 芳史 下部消化管の診断と治療
 助教 廣瀬 享 肝硬変の診断と治療
 助教 水田 洋 小腸疾患の先進医療

医学部 医学科 内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)

教授 寺田 典生 腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
 准教授 西山 充 食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
 講師 井上 眞理 動脈硬化進展機序と進展抑制についての研究
 助教 石橋 綾子 動脈硬化発症進展における分子機序の解明と新規治療法の研究
 助教 井上 紘輔 造影剤腎症における尿中バイオマーカーの研究
 助教 香川 亨 降圧薬の腎細胞保護効果と慢性腎臓病治療への応用
 助教 高田 浩史 インスリン抵抗性の分子機序の解明と新規治療法の研究
 助教 田口 崇文 ホルモン産生腫瘍に対する新規分子標的療法の確立
 助教 次田 誠 生活習慣病発症における分子機序の解明と新規治療法の開発

医学部 医学科 血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)

教授 横山 彰仁 呼吸器・アレルギー疾患の病態、診断および治療
 准教授 窪田 哲也 肺癌の治療
 講師 池添 隆之 新規白血病治療法の開発および凝固異常症の病態解明
 講師 砥谷 和人 造血器腫瘍の治療
 助教 大西 広志 閉塞性肺炎および間質性肺炎の病態、診断および治療
 助教 桑山 善夫 造血器腫瘍の治療
 助教 酒井 瑞 呼吸器疾患の病態・治療
 助教 塩田 直樹 呼吸器疾患の治療
 助教 谷口 亜裕子 血液疾患の治療
 助教 山根 高 呼吸器疾患の病態・治療

医学部 医学科 老年病・循環器・神経内科学・内科(老年病・循環器・神経)

教授 土居 義典 心筋症および老年者の心血管病に関する研究
 准教授 北岡 裕章 虚血性心疾患、心筋症
 講師 古野 貴志 虚血性心疾患、心筋症
 講師 松村 敬久 心エコー図学、心筋症
 助教 大崎 康史 パーキンソン病・類縁疾患
 助教 久保 亨 心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
 助教 森田 ゆかり パーキンソン病・類縁疾患
 助教 山崎 直仁 心臓病の身体所見(心音、心臓図)

医学部 医学科 小児思春期医学・小児科・周産母子センター

教授 脇口 宏 小児血液・腫瘍性疾患/感染症/臨床免疫
 准教授 藤枝 幹也 移植後の感染症とPTLDの発症に対する予防と対策
 講師 久川 浩章 小児癌に対する免疫療法、化学療法後の免疫能
 助教 荒木 まり子 造血幹細胞移植における二次性免疫不全の病態について
 助教 佐藤 哲也 ヘルペスウイルス感染と宿主免疫応答
 助教 高杉 尚志 こどもの循環器疾患と救急医療に関する研究、国際医療貢献活動
 助教 堂野 純孝 小児悪性疾患患者の免疫能について
 助教 細川 卓利 小児の血管炎と動脈硬化での好中球関与についての病理学的検討
 助教 松下 憲司 合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達
 助教 満田 直美 乳児期の機会疫学と発達障害の関連性について
 助教 山本 雅樹 先天性心疾患および不整脈、心臓電気生理に関する研究

医学部 医学科 神経精神科学

教授 井上 新平 統合失調症・うつ病などの心理教育的家族療法。地域精神医療
 准教授 下寺 信次 統合失調症、気分障害の心理教育、早期発見・早期治療
 講師 泉本 雄司 発達障害の早期発見と早期介入
 講師 上村 直人 認知症と自動車運転
 助教 掛田 恭子 精神腫瘍学、緩和医療、リエゾン精神医学、医学教育
 助教 永野 志歩 発達障害児への支援、女性心身医学
 助教 藤田 博一 統合失調症、気分障害の心理教育
 助教 諸隈 一平 気分障害の心理教育
 助教 吉岡 知子 発達障害児への早期介入と支援

医学部 医学科 皮膚科学・皮膚科

教授 佐野 栄紀 乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎
 准教授 樽谷 勝仁 乾癬、先天性角化症、表皮細胞生物学
 講師 中島 喜美子 乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
 助教 高石 樹朗 乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
 助教 中島 英貴 メルケル細胞癌におけるポリオマウイルスの関与
 助教 山本 真有子 関節症性乾癬
 助教 横川 真紀 日光角化症、皮膚癌、皮膚美容

医学部 医学科 放射線医学・放射線科

教授 小川 恭弘 放射線増感剤の開発
 准教授 西岡 明人 頭頸部癌・食道癌・膵臓癌等の放射線治療
 講師 久保田 敬 画像診断、超音波診断(乳腺、甲状腺)
 助教 大西 剛直 核医学検査、PET-CT検査
 助教 刈谷 真爾 放射線による癌細胞死のメカニズム、前立腺癌の放射線治療
 助教 田所 導子 心臓CT、心臓MRI
 助教 田村 泰治 動脈性出血や悪性腫瘍に対するIVR(インターベンショナルラジオロジー)
 助教 山西 伴明 放射線増感剤併用動脈塞栓療法の開発

医学部 医学科 外科学(外科1)・外科(一)

教授 花崎 和弘 肝臓、新しい人工臓器の開発、肝再生医療研究
 准教授 杉本 健樹 乳腺・内分泌、新しいセンチネルリンパ節生検法の開発、マンモグラフィ遠隔診断
 講師 岡林 雄大 肝臓
 講師 並川 努 胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術
 助教 市川 賢吾 肝臓、一般外科
 助教 緒方 宏美 小児外科、排便機能
 助教 北川 博之 食道、一般外科、食道癌の胸腔鏡手術
 助教 駄場中 研 乳癌、大腸、消化器一般外科
 助教 南喜本 憲弘 乳腺・内分泌、新しいセンチネルリンパ節生検法の開発

医学部 医学科 外科学(外科2)・外科(二)

教授 渡橋 和政 心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
 講師 西森 秀明 胸部大動脈手術の低侵襲化
 助教 穴山 貴嗣 肺癌薬剤感受性決定遺伝子に関する研究
 助教 岡崎 泰長 内視鏡手術とロボット手術
 助教 川田 通広 血管内レーザー治療についての研究
 助教 久米 基彦 ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み
 助教 福富 敬 腹部動脈瘤手術時の血圧調節
 助教 山本 正樹 心筋虚血再灌流障害のメカニズム
 助教 吉田 行貴 乳房再建に関する形態学的研究

医学部 医学科 麻酔科学・麻酔科蘇生科

教授 横山 正尚 疼痛の機序、周術期管理、集中治療、局所麻酔薬
 准教授 山下 幸一 周術期における呼吸・循環・代謝管理に関する研究
 講師 北岡 智子 緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
 講師 河野 崇 周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
 助教 井本 明伸 周術期管理におけるアミノ酸の有用性に関する研究
 助教 廣橋 美穂 「麻酔の質」について、特に術後疼痛・副作用対策など
 助教 矢田部 智昭 周術期血糖管理における人工臓器の有用性に関する研究

医学部 医学科 産科婦人科学・産科婦人科・周産母子センター

教授 深谷 孝夫 生殖・生理学・生殖内分泌学
 准教授 前田 長正 子宮内膜症の発症メカニズムに関する研究
 講師 池上 信夫 周産期(出生前診断)、更年期(ホルモン補充療法)
 講師 泉谷 知明 子宮内膜症に関する研究～基礎から臨床まで～
 講師 小栗 啓義 婦人科がんの診断・治療および緩和ケアの研究
 助教 都築 たまみ 子宮内膜症の基礎と臨床
 助教 松島 幸生 子宮内膜症の基礎と臨床、周産期(胎児超音波診断)
 助教 山田 りこ 卵巣癌の腫瘍内溶液を用いた悪性度診断
 助教 山本 寄人 婦人科がんの診断

医学部 医学科 整形外科・整形外科

教授 谷 俊一 圧迫による脊髄麻痺・神経麻痺の電気診断法と治療法の開発
 講師 池内 昌彦 関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
 講師 川崎 元敬 骨転移や運動器疾患に対するMRガイド下集束超音波治療法の開発
 講師 木田 和伸 脊椎脊髄病、電気生理学的診断
 講師 武政 龍一 脊椎脊髄病、骨粗鬆症、人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
 助教 谷脇 祥通 手の外科、マイクロ手術の臨床研究
 助教 福田 剛一 股関節疾患の臨床研究

教員紹介

医学部	医学科	眼科学・眼科
教授	福島 敦樹	眼免疫疾患発症機序の解析
准教授	福田 憲	眼アレルギーにおける角膜障害の解明
講師	岸 茂	眼循環
助教	小松 務	緑内障
助教	角 環	前眼部疾患
助教	多田 憲太郎	前眼部疾患、網膜硝子体疾患
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、血管新生黄斑症の治療

医学部	医学科	耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科
教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、喉頭機能の年齢変化
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解明、睡眠時呼吸障害
助教	青井 二郎	頭頸部癌に対する集学的治療
助教	池永 弘之	嗅覚障害および味覚障害の診断と治療
助教	宋 碩柱	睡眠時呼吸障害、扁桃病巣感染症
助教	西窪 加緒里	音声障害および嚥下障害の診断と治療
助教	弘瀬 かほり	唾液分泌機能の中樞調節機能について

医学部	医学科	脳神経外科学・脳神経外科
教授	清水 恵司	悪性脳腫瘍に対する標的・遺伝子治療、神経再生医療、てんかん、頭痛
講師	田村 雅一	悪性脳腫瘍に対する遺伝子治療等新規治療の開発
講師	中城 登仁	間脳下垂体腫瘍の臨床研究、脳血管障害の病態解析
講師	中林 博道	脳腫瘍、脳疾患への分子生物学的アプローチ
助教	川西 裕	悪性脳腫瘍に対する分子標的治療
助教	東 洋一郎	脳内免疫応答におけるグリア細胞の機能解析
助教	政平 訓貴	再生医療への応用を目指した神経細胞運命決定機構の解析
助教	八幡 俊男	ゲノムの可塑性の制御に着目した発ガン機構の解明

医学部	医学科	泌尿器科学・泌尿器科
教授	執印 太郎	VHL病癌抑制遺伝子の異常の解析
准教授	井上 啓史	癌浸潤、癌転移、血管新生における分子生物学
講師	鎌田 雅行	腎細胞癌におけるVHL遺伝子の機能解析
助教	蘆田 真吾	悪性度を反映する前立腺癌新規腫瘍マーカーの機能解析
助教	辛島 尚	癌の浸潤、転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
助教	佐竹 宏文	進行度、悪性度を反映する前立腺癌新規腫瘍マーカーの探索
助教	田村 賢司	前立腺癌における分子標的治療候補遺伝子の解析
助教	安田 雅春	バクテリオファージを用いた感染症治療研究

医学部	医学科	歯科口腔外科学・歯科口腔外科
教授	山本 哲也	口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
准教授	山田 朋弘	顎顔面の先天異常および変形症に関する研究
助教	北村 直也	口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発
助教	笹部 衣里	口腔癌におけるHIF1αの機能解析
助教	吉村 友秀	アンドロゲンレセプターを標的とした唾液腺癌の新規治療戦略

医学部	医学科	病態情報診断学
教授	杉浦 哲朗	循環器疾患における生理機能検査の意義
准教授	公文 義雄	生活習慣病と動脈硬化性疾患、およびリウマチに関する研究
助教	上岡 樹生	ウイルス発癌・結核感染の検査

医学部	附属病院	輸血部
講師	今村 潤	輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部	附属病院	放射線部
講師	野上 宗伸	PETをはじめとする核医学的手法を用いた画像診断に関する研究
助教	濱田 典彦	画像診断、PACS

医学部	附属病院	検査部
講師	竹内 啓晃	ヘリコバクター関連疾患の病態解析、耐性菌対策、百日咳疫学調査
講師	山崎 文靖	低血圧、高血圧の診断、治療

医学部	附属病院	手術部
講師	山崎 一郎	CGH等の分子生物学的手法を用いた前立腺癌研究
助教	辻井 茂宏	胃、一般外科

医学部	附属病院	救急部
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

医学部	附属病院	集中治療部
講師	割石 精一郎	心臓血管外科における低侵襲化に関する研究
助教	神元 裕子	術後疼痛管理、慢性痛治療
助教	福永 賀予	周術期の疼痛管理について

医学部	附属病院	リハビリテーション部
准教授	石田 健司	リハビリテーション医学と介護福祉機器の研究
助教	永野 靖典	地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部	附属病院	総合診療部
教授	瀬尾 宏美	臨床技能トレーニングにおける教授法や評価法に関する研究
准教授	武内 世生	感染対策、心のケア、HIV診療、医学教育、総合診療
講師	小松 直樹	肺癌における癌抑制遺伝子の新規候補の発見とその機能解析
助教	上原 良雄	細菌-細菌間の相互干渉に関する研究、市中黄色ブドウ球菌の疫学調査
助教	松元 かおり	漢方医学

医学部	附属病院	薬剤部
教授	宮村 充彦	臨床薬理学、天然物化学

医学部	医学科	英語
講師	ダニエル・リブル	日本の古典音楽とアイルランドの民族音楽の比較

医学部	医学科	体育
講師	野田 智洋	学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

医学部	医学科	分子細胞生物学
教授	富永 明	免疫担当細胞、サイトカインによる生体制御機構の解明
准教授	久保田 賢	住民の健康づくりを支援する地域統合栄養ケアシステムの構築
准教授	田口 尚弘	腫瘍遺伝子解析、サル・寄生虫染色体マーカー作製

医学部	医学情報センター	
教授	奥原 義保	医療情報システム、医療情報データの解析
准教授	畠山 豊	医療情報解析、医療画像処理に関する研究
講師	渡部 輝明	予防医学におけるデータベースを利用した研究
助教	片岡 浩巳	医療情報データベースからの知識発見に関する研究
助教	中島 典昭	医療情報データベース解析

医学部	先端医療学推進センター	
講師	沈 淵	組織幹細胞の分化増殖および幹細胞を用いた損傷組織の修復
助教	飯山 達雄	トランスレショナルリサーチ、EBM、臨床研究デザイン、腫瘍免疫
助教	小谷 典弘	細胞膜上分子間相互作用の解析

医学部	看護学科	基礎看護学
教授	吾妻 健	感染症のコントロール、β-グルカンによる便秘緩和と自然免疫賦活
教授	栗原 幸男	保健医療分野でのIT活用と保健医療データベース解析
教授	坂本 雅代	看護技術の教育ならびに障害者の看護に関する研究
准教授	池内 和代	超低出生体重児を持つ母親のナラティブとケアの意味に関する研究
助教	岡田 久子	知的障害児・者のセクシュアリティ、養護教諭の児童生徒へのケアと教育
助教	野村 晴香	便秘緩和の看護ケアおよび看護技術教育に関する研究

医学部	看護学科	臨床看護学
教授	尾原 喜美子	子どもの発達と看護、障害児の家族看護に関する研究
教授	高橋 永子	看護学生の自己受容性および医療安全に関する研究
教授	溝淵 俊二	自然免疫(身体の抵抗力)を活性化させる食品の研究・開発
准教授	戸田 由美子	精神科熟練看護師の看護介入と患者理解の仕方についての研究
講師	青木 早苗	がん看護・緩和ケア・ターミナルケアに関する研究
講師	川島 美保	慢性疾患をもつ子どもの居場所、小児家族看護における調和、コーチング
講師	小松 輝子	助産師学生の感性に関する研究
講師	濱田 佳代子	出産、育児の支援に関する研究
講師	山脇 京子	がん患者のサポーティブケア
助教	北村 亜希子	早産による低出生体重児の母親の育児不安、看護学生の自己受容性と不安
助教	高橋 美美	健康と看護職(保健師・看護師)について
助教	寺下 憲一郎	高齢者の癒しに関する研究

医学部	看護学科	地域看護学
教授	片岡 万里	高齢者のQOLに関する研究
教授	高尾 俊弘	ストレスと生活習慣(病)に関する研究
講師	齋藤 美和	慢性疾患患者に関する研究、看護管理学に関する研究
講師	藤田 晶子	病院から在宅への移行期の看護、チームケアと看護の役割
助教	小笠原 木綿	看護士における嚥下障害患者の効率的な看護ケアに関する研究
助教	杉本 加代	高齢者が地域で生活継続するための福祉に関する研究

農学部 農学科 暖地農学コース

教授	尾形 凡生	果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授	島崎 一彦	花卉の生長と発育の制御・植物の器官研究・県特産花卉の生産研究
教授	村井 正之	稲の遺伝、良食味早生品種、米粉パン用極多収晩生品種、鑑賞用品種の開発
准教授	西村 安代	野菜の養液栽培・生理障害と対策・環境保全型農業に関する研究等
准教授	松川 和嗣	発生工学および分子生物学的手法による土佐赤牛の生産技術の研究
准教授	宮内 樹代史	省エネルギー温室の環境計測・評価、農産物生産・流通システムの最適化
准教授	宮崎 彰	水稲栽培における環境保全技術、水稲の環境ストレス生理
准教授	安武 大輔	植物の輸送現象・生理機能等の研究、園芸施設の省エネルギー化
講師	濱田 和俊	果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師	松島 貴則	労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師	山根 信三	スイカの肉質、水耕栽培によるトマト、果菜の研究

農学部 農学科 海洋生物生産学コース

教授	足立 真佐雄	赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
教授	大島 俊一郎	微生物の病原性発現に関わる分子的基盤の解明と予防
教授	川合 研兒	魚病の診断・感染機構・防除法、魚病細菌の性質
教授	關 伸吾	鮎の有用形質探索の研究、放流種苗・野生集団の研究
教授	森岡 克司	養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
准教授	足立 亨介	魚介類色素の生化学的解析
准教授	深田 陽久	魚類の成長に関する内分泌学的研究、養魚飼料の評価
准教授	山口 晴生	海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
助教	中村 洋平	魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態

農学部 農学科 食料科学コース

教授	芦内 誠	バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
教授	受田 浩之	食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索
教授	康 峪梅	土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策
教授	八木 年晴	ビタミンの新規機能、酵素の構造と機能に関する研究
准教授	上野 大勢	高等植物の栄養生理に関する研究
准教授	柏木 丈弘	食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用
准教授	島村 智子	乳製品の品質管理技術、食品成分間反応、生体調節機能物質の検索
准教授	村松 久司	産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発

農学部 農学科 生命化学コース

教授	岩崎 貢三	土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業開発
教授	枝重 圭祐	動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探求
教授	葛西 孫三郎	哺乳動物の生殖細胞・初期胚の凍結保存法開発
教授	金 哲史	昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授	永田 信治	食と健康と環境に役立つ有用微生物探求と産業利用
教授	曳地 康史	植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発
准教授	木場 章範	植物の防御応答・植物免疫の制御機構の解明

農学部 農学科 自然環境学コース

教授	荒川 良	天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発
教授	石川 勝美	パン適性小麦、天然資源・麦飯石の高度利用、水の構造化、植物工場
教授	河野 俊夫	食品原料生産技術および食品製造技術に関するプロセス科学
教授	笹原 克夫	森林斜面からの降雨と土砂の流出、斜面崩壊発生メカニズム
准教授	伊藤 桂	ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授	手林 慎一	生理活性物質化学、園芸作物の耐虫性、貯蔵害虫の化学生態学
准教授	福田 達哉	マメ科植物の蝶形花を用いた相対性に関する進化発生学的研究
准教授	森 牧人	広域農林生態系の気象環境学的評価

農学部 農学科 流域環境工学コース

教授	大年 邦雄	雨水の挙動・河川に関する土木工学的研究、地下水、水防災
教授	藤原 拓	地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授	松本 伸介	農業施設の構造設計、土木材料の新規開発
准教授	齋 幸治	地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授	佐藤 周之	流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授	佐藤 泰一郎	中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進
准教授	原 忠	液状化や斜面崩壊などの地盤災害に関する工学的研究

農学部 農学科 森林科学コース

教授	大谷 慶人	きのこ、木材・非木材パルプ・紙、木材保存
教授	後藤 純一	林業機械の開発、林業作業計画のための森林空間情報システムの開発
教授	塚本 次郎	ヒノキ人工林の密度管理、森林の大型土壌動物と物質循環の分布研究
教授	藤原 新二	林木の成長と材質の変動、生育環境と木材組織構造の変動、年輪解析
准教授	市浦 英明	機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授	柴山 善一郎	グリーンルネサンス、さし木ひのき、小面積林家の経営について
准教授	鈴木 保志	林道の維持管理施設、木質バイオマス資源の収穫方法
准教授	古川 泰	地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業
講師	松本 美香	中山間地域における森林管理、林業林産業構造、集落構造

農学部 農学科 国際支援学コース

教授	市川 昌広	人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題
教授	大谷 和弘	生物活性天然化合物の探索と地域保健への応用
教授	益本 俊郎	魚に必要な栄養素を調べ体内での栄養素の働き、より良い飼料開発
教授	山岡 耕作	黒潮圏における魚の生態と幸の形の関係に関する研究
教授	山本 由徳	熱帯有用植物の生理・生態学的特性と利用
准教授	池島 耕	沿岸の環境および生物資源の保全と持続的な利用に関する研究
准教授	市栄 智明	樹木種子の発芽時の資源分配と定着特性、成長や繁殖に対する役割
准教授	田中 壯太	熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
准教授	松岡 真如	リモートセンシングデータを用いた陸域(土地被覆や植生)の解析

総合教育センター(人文学部担当)

教授	塩崎 俊彦	17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
准教授	大槻 知史	持続的な地域運営ビジョンの形成支援・防災・地域活性、遺産保全
准教授	立川 明	化学教育における能動学習の効果・無溶媒脱水反応
准教授	玉里 恵美子	中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
准教授	永野 拓矢	高校と大学の教育接続(進学指導、評価制度等)に関する研究
講師	俣野 秀典	経営戦略、大学経営、高等教育、ナレッジ・マネジメント

総合教育センター(医学部担当)

助教	大塚 智子	入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
----	-------	-------------------------

総合教育センター(学芸員養成担当)

特任准教授	松島 朝秀	文化財における科学的的手法を用いた調査・保存環境の研究
-------	-------	-----------------------------

共通教育実施機構(人文学部担当)

教授	辻田 宏	日米スポーツ法および判例の比較研究、スポーツビジネスとマネジメント
----	------	-----------------------------------

総合研究センター(理・農学部)

教授	木下 泉	魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
教授	上田 拓史	黒潮流域圏の動物プランクトンの分布、生産、分類
准教授	平岡 雅規	海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究

総合研究センター(医学部)

教授	谷口 武利	IL-27分泌型樹状細胞による関節炎治療法の開発
准教授	津田 雅之	発生工学的的手法を用いたマウス生殖細胞確立機構の解明
助教	坂本 修士	癌化や免疫調節に関与する非翻訳RNAの産生調節に関する研究
助教	都留 英美	自然免疫系細胞を中心とした感染防御システムの解析

総合研究センター(農学部)

教授	大西 浩平	病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
講師	加藤 伸一郎	遺伝子工学的的手法による含硫化合物生合成系の機能解析

国際・地域連携センター(人文学部担当)

准教授	石塚 信史	産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
助教	エバ ガルシア デル サス	国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

国際・地域連携センター(教育学部担当)

准教授	大塚 薫	日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
准教授	神崎 道太郎	読解と論述・作文との教授法における関連付け
准教授	林 翠芳	日本語の語彙に関する研究、日中対照研究

総合情報センター(理学部担当)

准教授	佐々木 正人	状況に適応したアプリケーションに関する研究
助教	石黒 克也	量子色力学における真空構造の解明、格子上の量子色力学
助教	斎藤 卓也	格子QCD理論を用いたハドロン物理の研究

海洋コア総合研究センター(理学部担当)

教授	小玉 一人	古地磁気学・岩石磁気学、および磁性測定全般
教授	津田 正史	海洋微細藻からの有用物質の探索と開発
教授	安田 尚登	底生有孔虫を用いた深層水循環及び海洋環境変動の研究
教授	村山 雅史	同位体を用いた物質循環の解明と過去の海洋環境復元
准教授	池原 実	新生代における地球環境システム変動の解明
准教授	岡村 慶	海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
助教	山本 裕二	地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明

保健管理センター(医学部)

教授	岩崎 泰正	ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用
准教授	渋谷 恵子	医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築
講師	北添 紀子	児童期・青年期の精神保健に関する研究

国立大学法人では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学法人では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。

本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。

博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

履修の特徴

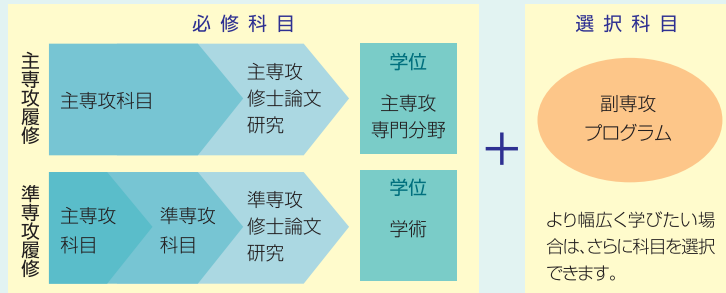
修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修
所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。
また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得
各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

修士課程の履修システム



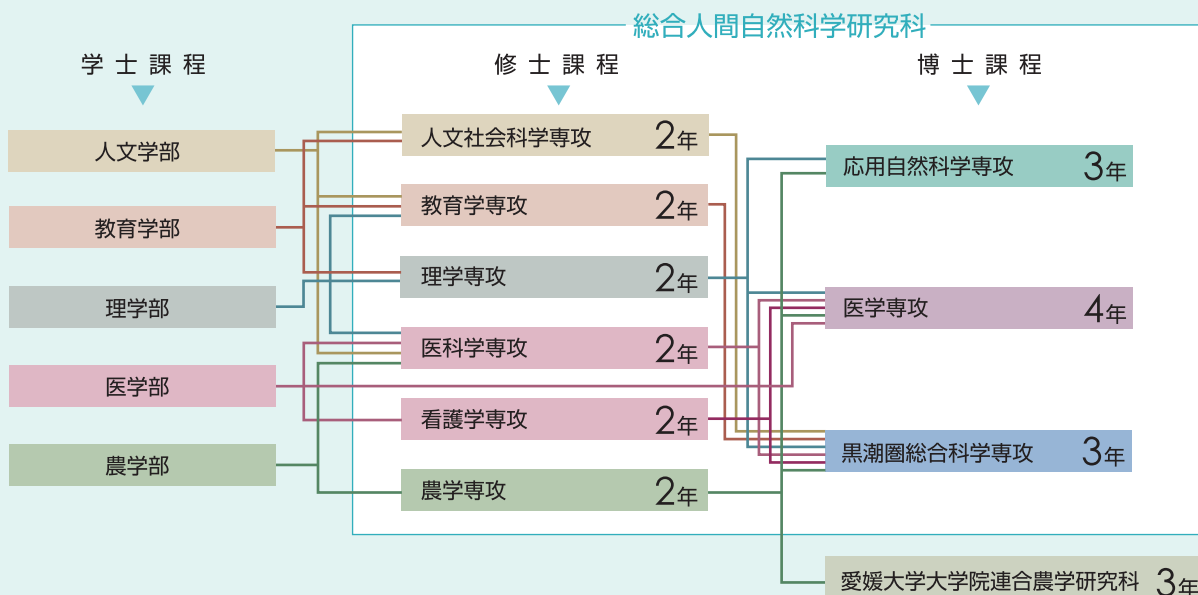
<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意されたレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■レディーメイド副専攻プログラム例

「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学(ISK)」「現代教育学」

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献しうる人材を養成します。

- 地域・日本研究コース
 - 国際交流研究コース
 - 人間学研究コース
- } 定員10名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し展開できる創造的な資質を持った教員を養成します。

- 学校教育コース
 - 特別支援教育コース
 - 授業実践コース
- } 定員30名

理学専攻

学術研究の高度化、多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を行います。理学コースでは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、更に学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学をつくり出すことのできる人材を養成します。応用理学コースでは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野において、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を発揮できる人材を養成します。

- 理学コース
 - 応用理学コース
- } 定員75名

医科学専攻

遺伝子療法・再生医療・生殖医療などの先端医療が形成される一方で、医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。そうした状況に的確に対応するためには、自然科学のみならず人間主体の人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。そこで本専攻では、自然科学系学部(理学・農学・薬学・工学など)や人文科学系学部(心理学・社会学・経済学・教育学など)を含む幅広い学部修了者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身に付けた医科学分野の研究者、更には社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を養成します。

- 医科学コース
 - 情報医科学コース
- } 定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

- 看護学コース
- 定員12名

農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術をあわせ持つ人材を養成します。

- 農学コース
- 定員59名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
 - 物質機能科学コース
- } 定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、自然科学と人間科学のパラダイムも取り入れた教育研究体制を構築することにより、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

- 生命科学コース
 - 医療学コース
 - 情報医療学コース
- } 定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 人間科学コース
 - 共生科学コース
- } 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいうまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

国際交流

International Exchange

外国の大学に留学し学ぶことは、学位や単位の取得だけでなく日々の生活体験を通じて異文化に触れ、同時に日本文化を伝える上で大きな意義を持ちます。

また学内においても、外国人留学生との交流をはかることで、国際的な視野を広げることができます。高知大学は、大学独自の奨学金制度を設け、海外への留学・外国人留学生を支援しています。

国際交流協定校(大学間協定) 2011.1.31現在

現在高知大学では、アメリカや中国など14の国と地域、44の大学、研究所と国際交流協定を結んでいます。



国際連携室

外国人留学生に対する修学及び生活上の指導助言を行うとともに、海外留学を希望する学生に対して交流協定校の情報提供や、留学先の修学及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受けることができますので、留学に興味のある方は気軽に訪ねてみてください。

▶国際連携室からアドバイス

大切なのは、何のために留学するのか、どういうことを学びたいのかという目的意識です。それさえしっかり持っていれば、あとはスタッフが精一杯サポートします。まずは気軽に相談しに来てください。

留学生の派遣実績

<6カ月以上の派遣>

	2008年度	2009年度	2010年度
公費留学	1名	2名	2名
私費留学	14名	11名	14名

<6カ月未満の派遣(研修を含む)>

	2008年度	2009年度	2010年度
派遣数	121名	114名	123名

派遣国 オーストラリア、中国、カナダ、タイ、韓国、フィリピン、スウェーデンなど

外国人留学生の受入状況(2010.10.1現在)

受入学生数: 159名



外国人留学生と日本人学生との交流は、学内外で盛んに行われています。来日後間もない外国人留学生に、上級生が1対1で学習指導や日常生活のアドバイスをするチューター制度や、パートナー(友人)となってアドバイスをするパートナーシップなどがあります。

国際交流会館

外国人留学生・研究者の専用住居施設として平成5年度末に国際交流会館が岡豊キャンパス(医学部)及び物部キャンパス(農学部)に設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス

海外留学について

留学の形態

留学扱い ※

外国の大学で修得した単位が高知大学の単位として認定され、留学期間中の高知大学の授業料は免除されません。

※留学先の大学で修得した授業の単位は、協定校への留学のみ、高知大学で修得した授業科目として認定しています。

休学扱い

外国の大学で修得した単位が高知大学の単位として認定されず、留学期間中の高知大学の授業料は免除されます。

留学費用

公費留学

私費留学

民間団体の奨学金による留学

私費留学

民間団体の奨学金による留学

留学の種類

短期留学

- 期間: おおむね半年～1年
- 留学先: 学生交流に関する協定などを結んだ大学
- 国が奨学金を支給

その他

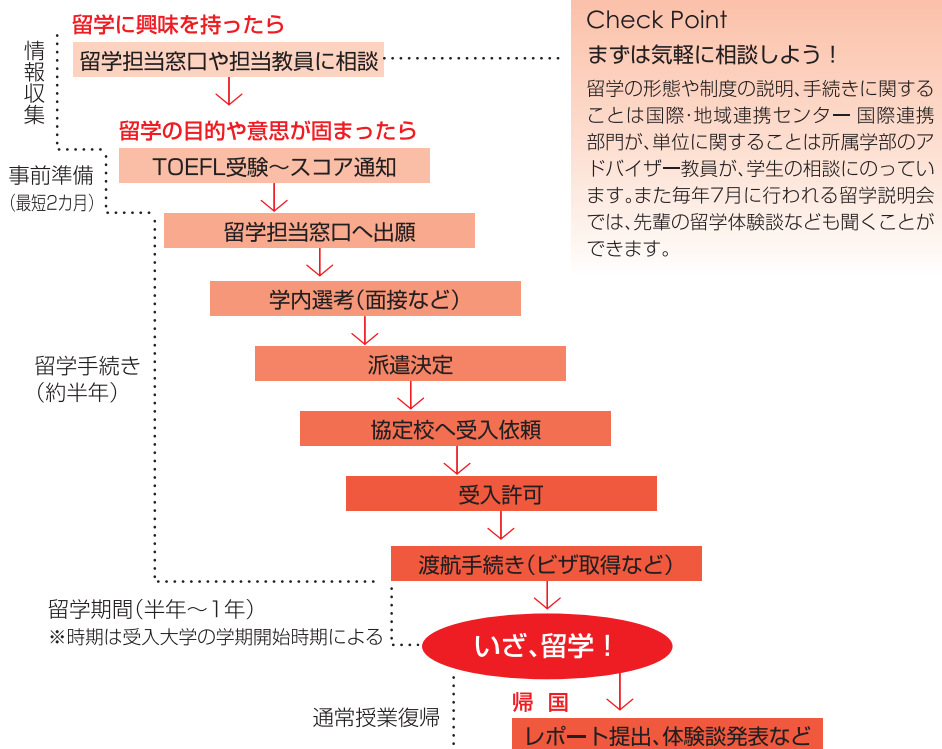
外国政府または政府機関などの奨学金によるもの

留学する際の条件

各大学によって、受け入れる学生に対する条件はまちまちです。特に外国語の能力については、留学を実りあるものにするために、事前に外国語の能力を一定の水準にまで高めておくなど、十分な準備が必要です。

海外留学の流れ(協定校への留学)

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



TOEFL

留学生のための英語能力をはかるテストです。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。受験日については、ETS(Educational Testing Service) または、CIEE(国際教育交換協議会)のホームページで確認してください。

留学における学び

異文化の中に身を置き学ぶことは、人生においてかけがえのない経験となります。ここでは、海外留学を体験した学生の留学レポートを紹介します。



イエーテボリ市内にある島にて、イエーテボリ大学に留学中の仲間とピクニック



図書館とヒューマニステン(人文学部)

スウェーデン国立イエーテボリ大学に留学して

人文学部
国際社会コミュニケーション学科3年
石川 祐実

私は2009年8月から2010年7月までスウェーデン国立イエーテボリ大学に公費交換留学をしました。小学生の頃から続けてい



ハンデルス(経済学部)の建物

た国際協力活動を通じて、社会福祉に関心を持ち、スウェーデンへの留学に興味を持つようになりました。イエーテボリ大学では様々なコースを受講し、社会福祉を経済、教育及び社会政策の観点から学びました。スウェーデンのクラスの雰囲気で印象に残ったことは、クラスメイト同士がとても協力的なこととです。その背景には成績評価の方法にあります。スウェーデンの大学での成績は秀、良、不可の3段階で評価され、クラスの中で秀を取る学生は1人が2人、残り不可の学生を除き全員良の成績が出ます。このシステムでは、学生同士が秀を取るためにライバルになるのではなく、みんなで協力して合格しようという空気が生まれました。課題のレポートや試験も一人だけでアイデアを作り上げてしまうのではなく、互いの意見を交換してさらに考察することができました。最終試験が近づくと、クラスメイ

トと大学に残って遅くまで討論し、寮に帰って考察し推敲することを繰り返しました。競争社会ではないスウェーデンだからこそ授業に限らずあらゆる場面で自分の考えと向き合うことができたと思います。留学してよかったと思うことはたくさんありますが、そのうちの一つは1年間日本を離れて生活したことで、ものごとを多面的に見ることができるようになったことです。日本にいただけでは感じることはできなかった価値観や考えを大切にこれからの生活に活かしていきたいです。

スウェーデンの文化の一つを紹介します。スウェーデンにはfika(フィーカ)という習慣があります。コーヒーや紅茶を飲みながら甘いお菓子を食べることをいいます。スウェーデンの人はこのfikaが大好きです。街のいたるところにたくさんの喫茶店があり、それぞれ雰囲気も置いているものも違うので、喫茶店めぐりをするのも楽しいです。スウェーデンでは、学校や職場でも必ず毎日fika timeがあります。私のクラスでも毎回1時間半おきにきっちりfikaをしました。しっかり休憩をするかわり何ごとにも集中して取り組む習慣、雰囲気があるので、fikaはスウェーデンの人たちにとってすごく大切なものなのだと思います。

イエーテボリ大学

- 学部数 医学部(歯学部含む)、自然科学部、人文学部、芸術学部、商・法学部、教育科学部、教員養成学部、IT学部の8学部があり、およそ40の学科がある。
- 学内施設 イエーテボリ大学の図書館は、スウェーデンでは規模が大きく先進的な図書館の一つであり、およそ14,000冊の電子雑誌や20,000冊の電子書籍、300のデータベースを所蔵している。
- 敷地面積 約385,800平方メートル

海外実習での学び

留学以外にも、世界の実状に触れる機会はたくさんあります。授業として行われている海外実習の一部を紹介します。

常夏の島ハワイでアメリカの医療を体験 ~臨床実習~

担当教員: 小林 道也教授
医学部 医学科

ハワイ大学医学部臨床実習 医学部 医学科・専門科目

ハワイ大学やKuakini Medical Center(ハワイ大学の臨床実習病院)で4週間の臨床実習を経験します。現地医師の指導のもと、はじめに米国式身体診察の研修を受け、その後、17日間の内科病棟実習、次に8日間の家庭医療実習プログラムに参加します。病棟実習では、数多くの症例を経験するとともに、日常的に組み込まれている教育講義を通じて学びます。家庭医療実習では外来診療に加え往診にも同行するなど、異文化が混在するハワイで、医療チームの一員として実践的教育を受けることができる充実したプログラムです。



身体検診を学ぶ



他大学からの参加者との交流

熱帯・亜熱帯の農、林、水産の現場を巡る ~海外FS実習~

担当教員: 山岡 耕作教授
農学部 農学科 国際支援学コース

海外フィールドサイエンス実習 農学部 農学科 国際支援学コース・専門科目

この実習では、高知大学と交流協定を結んでいるアジアの大学を訪問し、農林水産業に関する実習を行いながら、その国の環境や文化についての知見を深めます。平成22年度は国際支援学コースの2年生15名がフィリピンを訪問し、主にピコル大学と合同で実習を行いました。



熱帯の植物について学ぶ



農場のひまわり畑にて

学びの環境 — 教育研究施設

Educational Research Facilities

キャンパスには、学生の主体的な学びを支える様々な施設や設備が用意されています。また、自ら学ぼうとする学生の意欲やニーズに応え、利用しやすいシステムやサポートの体制を充実させています。



総合情報センター(図書館)

あさくら
ASAKURA campus

メディアの森 図書部門／情報部門

近代的な外観が特徴的な「メディアの森」。ここには様々な図書や電子ジャーナル、データベースを利用できる図書館としての機能と、高速で安定的なインターネットが利用できるネットワーク機能が備わっており、キャンパス内で最も「人」と「情報」が集まる場所となっています。



貴重なコレクションも!

ジョン・万次郎が手がけた日本初の英会話入門書「英米対話捷徑」の原本や、18世紀フランスのデイドロとダランベール監修「百科全書」など、貴重なコレクションも所蔵しています。



キャレル



情報コンセントコーナー

図書部門



レファレンスコーナー

全館の所蔵図書約75万冊、学術雑誌約19,000種を超える膨大な資料は、オンラインで検索可能。学外の書籍や資料、論文も、ここで申請して取り寄せてもらえます。



開架閲覧室

蔵書は2階から5階まで分野別に整理されています。



雑誌コーナー

もちろん、話題の新作や一般雑誌も豊富です。



キャレル



グループ学習室・個室

新入生アンケートでも毎年好評の1人用学習スペースです。3人から10人で利用できるグループ学習室もあります。

情報部門



情報コンセントコーナー

高知大学ではノートパソコンが必携で、キャンパスのいたるところで学内LANに接続できますが、この端末を使えば、より高速で安定的にネットワークを利用できます。



教育端末室

主に各学部の専門授業で利用しますが、空いている時は自由に使用可能です。



勉強用なら出力無料

学生の学習を支援するため、学術研究用のプリントアウトは無料です。(年間上限枚数まで)



岡豊キャンパスのランドマーク時計塔



キャレル



専門図書閲覧室

総合情報センター(図書館)医学部分館 **OKO** おこう campus

岡豊キャンパスのランドマークにもなっている、時計塔のある図書館。

学習量の多い医学部生のために、開館時間が長いのが特徴。朝9時から夜20時まで職員がついて開館していますが、その後26時まで登録制のカードキーを使って勉強することができます。昼夜を問わず情報を必要とする医療人を支援します。



開架閲覧室



情報検索コーナー



グループ学習室・個室



キャレル

総合情報センター(図書館)農学部分館 **MONOBE** ものべ campus

広大な農場が隣接し、ゆったりとした雰囲気のある物部キャンパスの図書館。

主に農学部の学生が利用していますが、共同研究をしている企業の研究者や近隣の農家の方たちもやってくる、地域に開かれた図書館です。学術研究用の蔵書はもちろん、学生のリクエストに積極的に応じています。



開架閲覧室



情報コンセントブラウズ室



雑誌コーナー



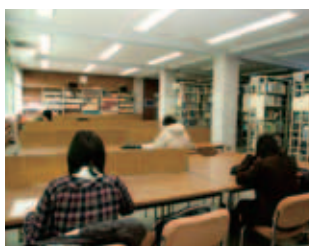
グループ学習室・個室



キャレル



学生と職員の距離が近い



開架閲覧室



情報コンセントブラウズ室



声をかけやすい、話をしやすい、フレンドリーでアットホームな図書館です。

総合研究棟

あさくら
ASAKURA campus

学部や研究科の枠を超えた教育研究活動の拠点として整備された総合研究棟。

1階の学生ゾーンには、いつでも自由に勉強ができる「自学自習室」や少人数での学習や演習ができる「グループ演習室」があり、いつも多くの学生が利用しています。



自学自習室

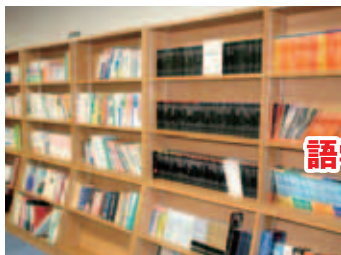
個別ブースに仕切られ、静かな環境で学習に取り組めると学生に人気です。



自習コーナー



学習相談コーナー



自律学習支援センター

オアシス
OASIS あさくら
ASAKURA campus

主に語学についての学習相談や自学自習を目的としたスペースで、人文学部管理棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語教材の貸出やTOEICの対策講座・模擬試験なども行っています。

自習コーナー

メディアの森、総合研究棟と並んで利用率の高い学習スペース。プリントアウトも無料です。

学習相談コーナー

専門の担当者がいつでも英語などの相談に応じています。

語学教材は6000点以上!

TOEIC・TOEFLなどの各種検定試験対策問題集や、英語・ドイツ語・中国語・フランス語・スペイン語・韓国語などの学習用書籍、月刊誌、DVDなどが揃っています。

保健管理センター

あさくら
ASAKURA campus

おこう
OKO campus

ものべ
MONOBE campus

学生や教職員が健康で安全な大学生活を送れるようサポートしているのが保健管理センターです。

何かの時にはすぐに対応できるよう内科の医師と看護師が常駐し*、整形外科や婦人科などの専門医も定期的に診察を行っています。二次対応が必要な場合は、症状に合わせて医学部附属病院や近隣の病院を紹介します。

また近年は身体の健康だけでなく心の健康——メンタルヘルスにも力を注いでおり、精神科の専門医や臨床心理士が、学生や教職員の心の不調や悩みの相談にのれる体制を整えています。

さらに、より積極的に学生の健康増進や病気の予防に関わろうと、食生活や生活習慣も含めたトータルな視点で学生をサポートしているのも大きな特徴です。

*物部キャンパスは看護師のみの常駐です

定期的な取り組み

- 健康診断:全学生対象
- 特殊健診:実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 心電図検査:インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 骨密度検査
- 感染症対策、予防接種のチェック
- メンタルヘルスに関するアンケート調査:新入生が対象
- メンタルヘルス講演会

イベントなど

- お料理教室



一人暮らしの学生が多いので、食生活から心のケアまで“親代わり”の目線で気を配っています。



朝食



物部分室

二十歳はメタボの曲がり角?! ~今どき大学生の健康事情~

内科医である岩崎崇正センター所長に、最近の大学生の健康状態についてお聞きしました。「最近増えているのは『若年メタボ』。1、2年生のうちは運動量も多いけれど、実験や卒業で忙しくなる3、4年生になって急に太る学生が目立ちます。一方で、女子学生の『やせすぎ』も気になる問題です。保健管理センターには肥満度や筋肉量を計測する装置もあるので、スポーツジムのような感覚で気軽に利用して、健康なキャンパスライフを送って下さい」



■ 共同利用・共同研究拠点

海洋コア総合研究センター

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として、海洋研究開発機構(JAMSTEC)との共同運用体制のもと設立されました。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際協力プロジェクトである統合国際深海掘削計画(IODP)における世界3拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定されました。2010年度からは地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究を行い、我が国主導の地球掘削科学やその関連分野の拠点化・推進を図ることとしています。



■ 学内施設

総合教育センター

総合教育センターには、「大学教育創造部門」・「入試部門」・「キャリア形成支援部門」・「社会協働教育部門」・「修学・留学生支援部門」の5部門が置かれ、本学における教育・入試・留学生教育・学生支援のあり方などについて研究・開発・試行・点検・評価を実施し、有為な人材を育成するための仕組みを総合的に作り出すことを目指しています。

大学教育創造部門

共通教育と専門教育とを体系化した新しい大学教育プログラムの研究・開発・試行や、教育システムの開発などを行っています。また、自己点検及びFDの企画や実施に関すること、学習支援のあり方に関することなどにも取り組んでいます。



キャリア形成支援部門

首都圏や関西圏の大学、また学外の諸団体と協働し、キャリア形成に関わる教育などの企画・実施を行ったり、県外での就職活動支援企画を立案・試行しています。



入試部門

入試部門では、入学者の入学後における動向を長期間にわたって追跡的に調査・解析することにより、アドミッションポリシーに基づく入学者選抜方法の妥当性について検証するとともに、それを踏まえた広報活動の方策に関する検討を精力的に推進しています。こうした研究成果を社会に公表することにより、入学者選抜方法に関する社会的説明責任を果たす努力を積み重ねています。



社会協働教育部門

社会協働教育部門では、社会協働教育プログラム及び社会と協働して行う学生支援などの調査研究・開発・試行に関する業務を行います。



修学支援部門

修学支援、正課外教育などの学生生活に関わる諸課題の調査研究及び企画立案を行っています。また、学生ボランティア活動等への支援にも取り組んでいます。



国際・地域連携センター

“敬地愛人”—— 地域を敬い、人を愛する

国際・地域連携センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与するとともに、高知大学の有する人的資源、知的財産、施設を活用して、地域社会との緊密な連携を推進することにより、地域社会における人材の育成、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、生涯学習、地域文化交流、健康福祉の向上及び地域課題の解決支援に資することを使命とします。また、アジア・太平洋地域を中心とした世界の国々との学術交流を通じた教育研究活動の活性化に資するとともに、外国人留学生及び海外留学を希望する学生に対し、積極的な支援等を行うことにより、国際社会への貢献及び地域の国際化に寄与していくことを目指します。



生涯学習部門

地域社会における高等教育の享受のための機会拡大と、生涯教育に資する場や学術情報の提供を行うとともに、地域社会の文化的交流のための取り組みを推進します。

知的財産部門

高知大学の創出した知的財産を、自らの責任のもとに保護、管理、活用し、本学、教職員等、学生、地域社会が受ける利益の最大化を目指します。

産学官民連携部門

教育研究、共同研究、受託研究及び生涯学習研究を通じた教育研究成果を地域社会に還元し、地域の活性化を支援します。

国際連携部門

教育研究などの国際的な連携及び国際的な大学間交流及び学生交流を推進するとともに、留学生の支援や地域の国際化に寄与します。

総合研究センター

総合研究センターは、人的資源と知的財産を最大限に活用して、全学的な重点研究プロジェクトを支援ならびに推進するとともに、大型実験施設や機器の整備を図ることにより、本学の研究・教育の進展に寄与することを目的としています。このことにより、個性豊かな地域の大学をつくり出すことに貢献しています。

本センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、

- 1) 海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
 - 2) 生命・機能物質に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
 - 3) 自然災害発生と防災に対する研究、教育及び地域連携
- の3つの機能を持っています。

海洋部門

■ 海洋生物研究教育施設

海洋生物学、水産学及びそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、機器類のほかには海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。主に黒潮に関する共同研究の場となっています。



生命・機能物質部門

■ 遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は、遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。カルタヘナ法に準拠したP-1、P-2、P-3の設備を持ち、放射性同位元素も使用できる実験室と、遺伝子組換え実験に必要な機器を揃えており、高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のためのセンターとして重要な役割を果たしています。

■ 実験実習機器施設

生命科学の教育、研究に必要な設備、機器を整備し、共同研究の効率化をはかり、本学における教育及び研究の向上、発展に貢献しています。施設には、生化学系、形態系、生理系、免疫系、バイオハザード系の5つの系があり、それぞれの研究に必要な大型機器が完備されており、大学内の研究者がいつでも利用できます。配属職員は、機器の維持管理のほか若手研究者、大学院生向けの技術研修会の開催、地域貢献の一環として毎年高校生を対象にしたサイエンス体験学習教室を開催しています。塩基配列測定などは、学内から送られて来たサンプルを測定し、データをWeb配信するサービスも行っています。

■ RI実験施設 放射性同位元素を用いた実験に関する研究、教育、安全管理を行い、医学・生命科学の研究の発展に貢献しています。

■ 動物実験施設

生命科学分野の研究は、医学や医療の発展、遺伝子治療や医薬品の開発、環境破壊や環境汚染への対応、遺伝子組換え食品の開発や食料増産など幅広い分野と関係しており、これらの教育と研究を推進する上では動物を用いた教育実習や実験は必須です。実験動物の尊厳・命の犠牲の上に成り立っているという事実を踏まえ、学生・院生に対しては動物と接する際に必要な実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。



防災部門（南海地震防災支援センター）

南海地震をはじめとする自然災害に関する研究を行うとともに、その研究成果を活用して地域の関係機関と連携をはかり、防災の問題解決及び支援を行い、地域に貢献することを目的として活動しています。



高知大生 Presents

キャンパスライフ

年間スケジュール

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル紹介

生活費

ようこそ、“おらんく”のキャンパスへ

豊かな自然とあたたかい地域の絆が残る高知県。そのほぼ中央に位置する高知市と南国市に、高知大学の3つのキャンパスがあります。ゴトゴトと路面電車が行き交う学生の街・朝倉。長宗我部氏の城跡と桜が美しい岡豊。360度の空と太平洋が目の前に広がる物部。それぞれのキャンパスにそれぞれの良さや特徴があり、学生たちは充実したキャンパスライフを楽しんでいます。



横田 啓一郎くん

岡豊キャンパス

➔ 65p.

朝倉キャンパス

➔ 63p.

物部キャンパス

➔ 67p.



唐渡 美沙子さん



是澤 悠介くん



清川 千明さん



井上 聡史くん

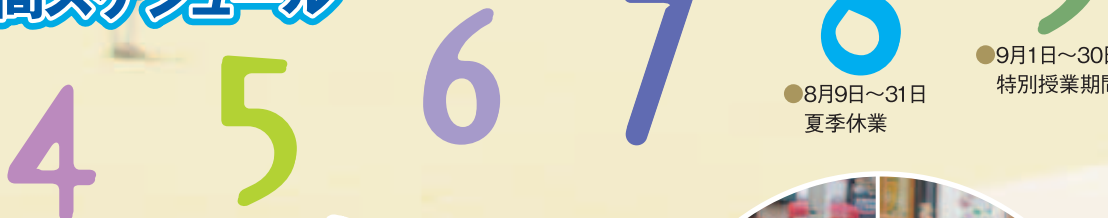
岡田 みなみさん

隅田 佐和さん

私たちが
紹介します!

7月上旬
四国インカレ

年間スケジュール



- 4月1日 学年開始
- 4月11日 1学期授業開始

● 8月9日～31日
夏季休業

● 9月1日～30日
特別授業期間

4/3 入学式



4月 環境美化活動



みんな個性的な
チームがいっぱい!!



8/10・11 よさこい祭り(本祭)

鳴子を手に華やかな衣装で踊り歩く、高知の夏の一大イベント!「炎」や「旅鯨人」など多くの高知大学生のチームも、日頃から練習を重ねて祭りに参加しています。踊ったあとの達成感と爽快感はひとしおです!

学祭は 大学生活の華!!

キャンパスライフの一番の楽しみ、大学祭。高知大学では、朝倉の黒潮祭、岡豊の南風祭の2つの学祭が開催されます。趣向を凝らした展示やイベント、お笑い芸人のライブなど楽しみどころがいっぱいです。

10月下旬~11月上旬 黒潮祭



1月上旬 寒中水泳

高知大水泳部主催の伝統行事。氷を抱えて、いざダイブ! 面白いゲームも開催しています!



11月下旬~12月上旬 室戸貫歩

フレンドリーコンサート
(医学部附属病院にて)

10月中旬 南風祭



10

●10月3日
2学期
授業開始

11

12

●12月26日~1月3日
冬季休業

1

12月上旬
学長杯争奪駅伝大会

2

●2月10日~29日
特別授業期間

3

●3月1日~31日
学年末休業

11月上旬
物部キャンパス1日公開

物部キャンパスで、年に1回地域にキャンパス内を開放するイベント。家族連れにも大変好評です。



3/23 卒業式

困ったことが
あった時は...

ココだ!!

学生何でも相談窓口

この窓口は、修学上のことやキャンパスライフに関してなど、何でも、質問・不安・悩みを受けつけています。質問や悩みごとなどをどこに相談したらよいかわからない時は、気軽にこの相談窓口を利用してください!
また、窓口以外でも「E-Mail」や「何でも相談箱」による受付も行っています。

- 相談窓口
- 朝倉キャンパス TEL 088-844-8149
- 岡豊キャンパス TEL 088-880-2259
- 物部キャンパス TEL 088-864-5116
- E-Mail (全学共通) gsoudan@kochi-u.ac.jp

これで4年間の食事の

心配なし!!

ミールカード

1日1,000円まで食べ放題の
食費ミールカード。
19万8,000円(2010年度)で
販売していて、有効期間は
1年間です。年間営業日数は270日なので、全営業日使えばなんと27万
円分も食べられます。カフェテリア食堂は朝8時から夜10時まで営業して
いるから、1日に何回も利用可能。親御さんには食事歴のレポートを1カ月
ごとにお送りしているので安心ですよ。上手に利用してください。
(朝倉キャンパスでの利用条件です)





朝倉 *asakura* キャンパス



シンボルツリー「おうちの木」
※棟(おうち)=センダン

充実キャンパスでのびのびライフ

高知市中心部から電車で20分ほどの朝倉キャンパス。人文学部、教育学部、理学部の1~4年生と農学部1年生が学んでいます。敷地内には学食や図書館のほか、学生の憩いの場も多く、アットホームなキャンパスです。



- 1.本部管理棟(学務部入試課) 2.非常勤講師宿舎 3.保健管理センター 4.総合研究棟 5.教育学部2号館 6.教育学部3号館 7.教育学部4号館 8.教育学部51番教室 9.教育学部音楽棟 10.教育学部附属教育実践総合センター 11.プール 12.理学部情報科学棟 13.実験系総合研究棟・理学部1号館 14.理学部2号館 15.共通教育1号館・学生サービスセンター(学生支援課・就職室)・学生サービスセンター(学務課・共通教育)・総合教育センター 16.共通教育2号館 17.共通教育3号館 18.人文学部管理棟 19.メディアの森[総合情報センター(図書館)] 20.学生会館(福利厚生施設) 21.北体育館 22.理学部附属高知地震観測所 23.理学部附属水熱化学実験所 24.国際・地域連携センター 25.南体育館 26.教育学部附属特別支援学校校舎 27.教育学部附属特別支援学校日常生活訓練施設(くじらの家) 28.プール(附属特別支援学校) 29.国際連携室

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル紹介

生活費

おすすめポイント

学生会館 IKUS イクス

快適なIKUSは、ランチはもちろん授業の空き時間にも大活躍。メニューは週ごとに変わるから、毎日のお昼が楽しみです。

[営業時間]
平日8:00~22:00、土曜11:00~19:00
日曜・祝日休み



IKUSでは、高知嶺北地域の棚田米を使用し、地産地消を推進しています!

ホレンが広場



IKUS前の広場では、よさこいに参加するチームが踊りを披露していることも。

カフェテリア



空席
あります



ベーカリー



焼きたてベーカリーは女子学生に大人気! 季節ならではのアイデア商品も。

パソコン購入



パソコンは必須です!

ノートパソコンは授業で使うので必携です。生協で購入できますので、お問い合わせください。生協では、サポート・修理も受付。安心です。



書籍コーナー



購買コーナー

お昼は行列ができるほどの人気の
天気の良い日は、
パンを買って外のベンチで
食べるのもいいですよ~



岡豊okoキャンパス

医学部生は 勉学も遊びも真剣!

地域の中核病院である高知大学附属病院を備えた岡豊キャンパスでは、医学部の学生が学んでいます。広大なグラウンドや体育館がすぐ横にあるため、サークルを楽しむ学生が多いのも特徴。メリハリをつけて学生生活を楽しんでいます。



- 1.講義棟 2.実習棟 3.基礎・臨床研究棟 4.体育館 5.FI・動物実験施設 6.医学部会館(福利厚生施設) 7.管理棟(学生・研究支援課)保健管理センター(医学部分室) 8.中央機械室 9.排水処理施設 10.車庫 11.臨床講義棟 12.病棟 13.中央診療棟 14.外来診療棟 15.高エネルギー治療施設 16.食堂棟 17.メ総合情報センター(図書館)医学部分館 18.大学院研究棟 19.医学情報センター 20.職員宿舎 21.課外活動共用施設 22.武道場 23.非常勤講師宿泊施設 24.陸上競技場 25.テニスコート 26.プール 27.野球場 28.リ治療施設・院内保育所 29.弓道場 30.野球場附属施設 31. MRI・CT装置棟 32.国際交流会館(単身・共用棟) 33.国際交流会館(世帯棟) 34.看護学科棟 35.発電機棟 36.PETセンター 37.ホスピタルローン 38.スターバックス コーヒー

Pick up! 岡豊okoキャンパス

勉学編

講義棟



総合情報センター(図書館) 医学部分館



医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大医学部の魅力です。



充実した研究施設

週末はテニスコートが自由に使えるので、みんなでよく汗を流しています!

イベントたくさん!!

南風祭

Pick up! 岡豊okoキャンパス

課外活動編

学祭のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭や1年生同士が交流をはかる室戸合宿などイベントがいっぱい。おかげで学部生みんなが仲良しです。勉強のストレスも発散できます!



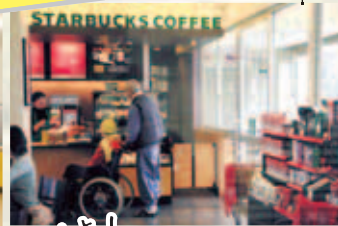
体育祭



室戸合宿



こんなお店が学内にありますよ!



スターバックス コーヒー

ホスピタルローソン

空気でボリュームも満点!

Pick up! 3 岡豊キャンパス 生活編



医学科ロビー



看護学科ロビー



キャンパスの周りは自然がいっぱい! かかせみや鴨もいて、散歩すると楽しいですよ

学生さんに聞きました!

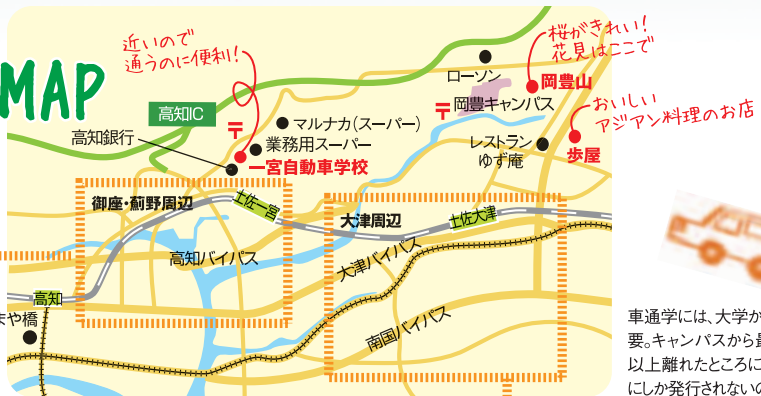
キャンパス周辺MAP

キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮(御座・薊野)周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

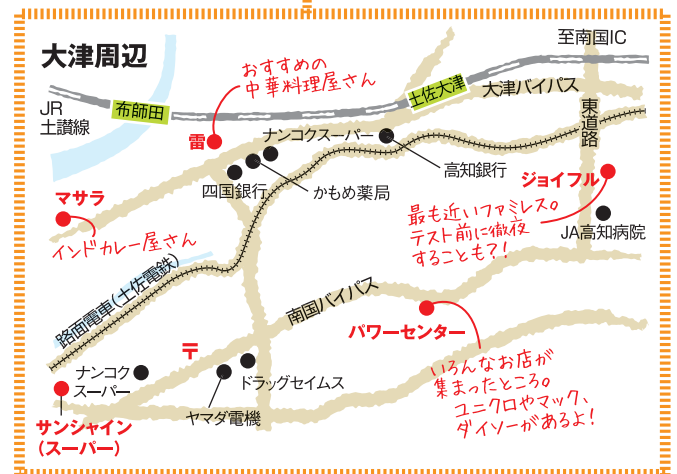
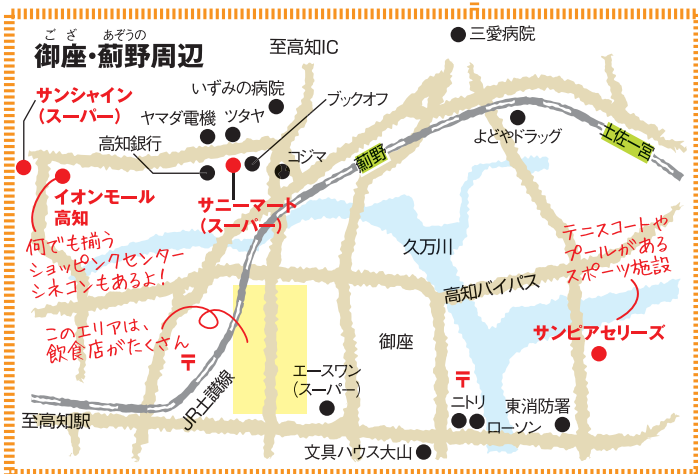
生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。

▶ 詳しくは、物部キャンパス68ページ参照

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。



車通学には、大学からの許可書が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないの、ご注意ください。





物部 *monobe* キャンパス

周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

高知龍馬空港のすぐ横にある物部キャンパスは、目の前に太平洋が広がるのどかな立地。敷地内には広大な農場があり、かわいい牛やヤギと触れ合えます。海、山、川と大自然に恵まれ、農学を学ぶには絶好の環境です。

1

ここが自慢! 物部 キャンパス 農場と牛



すぐそばにある
広い農場をみるだけで
のびのび気分!



- 1.農学部1号館 2.農学部2号館
- 3.農学部3号館 4.農学部4号館 5.実験研究棟 6.厚生会館 7.総合情報センター(図書館)農学部分館及び講義室棟
- 8.日華会館(福利厚生施設) 9.農学部附属農地フィールドサイエンス教育研究センター 10.体育館 11.日章寮 12.留学生寄宿舎 13.国際交流会館 14.遺伝子実験施設 15.共同利用機器分析室棟 16.海洋コア総合研究センター 17.黒潮圏総合科学専攻棟

研究室



生物が好きで農学部に入った学生も多い。研究室には設備が充実!

ここが自慢! 物部 キャンパス 学習・研究・厚生施設



図書館



福利厚生施設

グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使えるのでうまく使えばアクティブな生活が満喫できます!

広大な農場!



野菜販売



農学科の学生が栽培したお米や季節の野菜を、校舎内で販売しています。これが安くてホントに美味しい! そして校舎の前に広がる農場には、牛がいっぱい。敷地内に農場がある大学は珍しいと思いますよ!



パイナップルも栽培していますよ!!



牛さんはみんなの
アイドル的存在



朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル活動

生活費



▶農学部 2~4年

3
ここが自慢!
物部 キャンパス

高知全体が
フィールド

林業塾



フィールドサイエンス



海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶフィールドといえます。1年次必修のフィールドサイエンス実習や林業サークル、林業塾など、自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。



海でも山でも、とこど
現場に飛び込むで〜

Watching
MONOBE
campus

農学部のモットーは
徹底した現場主義!



1年生のイチ押し授業といえば「フィールドサイエンス実習」。農場、森林、河川、海洋、ラボの5つの現場を回り、人と自然の関係を学びます。

学生さんに
聞きました!

キャンパス周辺MAP

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が上空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます! 学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



うらめし屋飯店

ポリウム満点、男子学生御用達の店。大学裏手にあるから「うらめし屋」!

近くの浜からは
びっくりするほどそばで
飛行機が見える!



サークル活動

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、同好会やサークル活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。高知大学では100以上あるサークルに学生の約半数が所属し、充実した毎日を送っています。

2010年度に活躍したサークルを紹介します!



2010 ニュース

NEWS!

サッカー部

総理大臣杯ベスト8、インカレ3位。さらなる高みへ!

Data

全日本大学選抜やユニバーシアードのコーチ、監督を歴任している野地照樹監督のもと、約90名の部員が活動。総理大臣杯は10年連続20回、天皇杯は8年連続15回出場、インカレは17年連続26回出場と、全国大会の常連校として名を馳せている。2009年は総理大臣杯で過去最高の準優勝。2010年は同杯ベスト8。「サッカーを通じての豊かな人間形成」がモットーで、サッカーと学業との両立を重視。また地域の小学生を対象にした少年サッカーの指導など、地域貢献にも力を注いでいる。



Jのキャンプに“招集”

1~2月は、合宿に訪れた多くのプロチームと練習試合を行います。レベルの高いプロとの実戦は、またとない学びの機会。プロの目にとまる就活ならぬ“蹴活”のチャンスにも!



“地方の雄”、“国立大学の雄”として総理大臣杯など全国レベルの大会で輝かしい戦績をあげてきたサッカー部。2010年度は総理大臣杯ベスト8、インカレ3位入賞を果たしました。また、今年度は2名の選手がプロ入り。特にJリーグへは5年連続で合計9人の選手を送り出しており、後輩たちの大きな刺激となっています。



岩崎 将斗
主将
教育学部3年
(鳥取県出身)

監督からいつも言われるのは「基本と自立」。サッカーのプレーにおいては「止める」「蹴る」の技術が基本。また生活の面でも、生活リズムや食生活をしっかり自己管理するという基本を大事にしています。サッカーは判断のスポーツ。選手の自立や人間的な成長がとても大切だという監督の言葉を、学年が上がるにつれて実感しています。

5年連続Jリーガー輩出!!



川崎フロンターレ 實藤友紀 (DF)
教育学部 (徳島県出身)



2010年アジア競技大会での日本の金メダル。決勝点を決めました!



カターレ富山 酒井貴政 (MF)
教育学部 (広島県出身)

JFLにも選手を輩出!!



Honda FC 香川大樹 (MF)
教育学部 (広島県出身)



ツエーゲン金沢 布施祐典 (FW)
教育学部 (鳥取県出身)

PICK UP 監督に聞く | 野地 照樹 教授

サッカーで日本のスポーツを変える



指導において一番大切にしているのは「基本と自立」です。サッカーではプレーでも戦術でも基本がないと応用はありませんし、早寝・早起き・朝ごはんという基本的な生活習慣や、学業、家族、友人も大事。人間としての基本がしっかりあった上で、個々が自立することが大切なのです。学生は何のために大学に来ているか—それは自立した社会人になるためです。このことがわかると、自ずと自分がどうすればいいのかもわかる。高校時代に無名でも、高知大学に来てから伸びる選手が多いのはそのためです。もうひとつ大切なのは「フェアプレーの精神」。わざ

と転んだり、見えないところで引っ張ったりと、審判をだますようなプレーは絶対にいけない。スポーツはフェアプレーに徹するべきです。それが最終的には自分に返ってくる。学生には、人間として正直でありなさいと常に言っています。日本のスポーツ指導は、これまで精神主義や長時間練習という傾向にありました。けれどそれは本当のスポーツ文化ではない。学生たちには卒業後も、何らかのかたちでサッカーに関わってもらいたいと思っています。彼らがこれからの日本のスポーツ文化を変えてくれる。それを楽しみに日々指導をしています。

Profile 全日本大学選抜、ユニバーシアードのコーチ、監督を歴任。1982年よりJFA指導者養成講習会の講師となり、教え子には元日本代表監督の岡田監督をはじめ多くのJリーグ指導者がいる。

硬式野球部

Data

大学野球の最高峰、全日本選手権大会(神宮球場)に過去3回出場し、名門チームとして知られている高知大学野球部。率いるのは就任30年以上となるベテラン小松清祥監督で、部員は約50名。チームの特徴は「考える野球」。監督の指導のもと、選手自ら試合の反省点を見だし、日々の練習に取り組んでいる。また「文武両道」を重んじ、野球と学業の両立も大切にしている。全日本選手権ではまだ勝ち星がないため、神宮での一勝を目指し、チーム一丸となって練習に励んでいる。



神宮を狙う国立大学の強豪校



練習グラウンドはサッカー部との共用で、ハード面では決して十分とはいえない環境ですが、それを補う「考える野球」で結果を出してきました。試合の反省点や弱点は常に自分たちで分析し、練習メニューを考え、ていねいに取り組みます。その主体性と高いモチベーションがチームの持ち味となっています。

▶ 高橋大地 主将 人文学部3年(愛媛県出身)

好きな野球と勉強と両方本気でできる大学へ行きたいと考え、高知大学に来ました。ここには本当に野球の好きなやつが集まっています。監督の指導で印象的なのは、「社会ではどんな人間が通用するか」とよく言われること。大学4年間だけでなく、その先まで考えて指導してくれていると感じます。仲間や監督への強い信頼感を持って、目標である「神宮一勝」に向け日々練習しています。



プロリーグで大活躍!

ドラフト5位で横浜ベイスターズ入りした、OBの福田岳洋投手(教育学部卒)。2010年は18試合に登板し、大活躍しました! 写真は、小松監督と福田選手。



MHCC

Mental Health Care Club

Data

メンタルヘルスやプライマリ・ケアに関心のある学生が集まり、カウンセリングや精神医学について学び合いながら「心」に関する様々な活動を実践している。中心となるのは、室戸ドルフィンセンターが行う広汎性発達障害児を対象とした「ドルフィンセラピー」のサポート活動。その他、地域の高齢者とふれあう「百遊会」や学生の相談にのる「ピア・サポート活動」など、意欲的に活躍の場を広げている。メンバーは医学科・看護学科の学生、約30名。



ドルフィンセラピーで「心」のケアをお手伝い



子どもたちの“変化”がうれしい!

室戸にやってくる子どもたちは、主に幼児から小学低学年。抱えて泳ぐので、実は脚力や体力も必要なのだとか。うれしいのは、やはり子どもたちの変化。「それまでさわれなかったベットのエサをあげられた」「また行きたいと言った」なんて聞くと、心から笑顔になれます!

ドルフィンセラピーとは動物介在療法の一つ。MHCCは県東部の室戸ドルフィンセンターと連携して、発達障害を持つ子どもやその家族のメンタルヘルスを支援しています。プログラムは1泊2日で、年3~4回ほど実施。学生たちは、子どもをだき抱えてイルカと一緒に海に入ったり、家族と積極的に関わったりして同じ時間を共有します。そのため、ふだんから臨床心理士や教員と一緒にカウンセリングや発達障害についての自主勉強にも取り組んでいます。大変ですが、メンタルヘルスを学びたいという強い想いと、子どもたちや家族が心を開いてくれたときの喜びがみんなのモチベーションになっています。

ほかにも
こんなサークルや
同好会があります!



サークル・同好会紹介

数あるサークルの中から、いくつかピックアップしてご紹介します。

▶ サークル

Hand to hand

アピールポイント

サークル名の由来は“手と手をつなぐ”こと。大文字「H」は大人の、「h」は子どもの手を表す。活動のメインは絵本の読み聞かせ。最初は恥ずかしがっている部員でも、子ども達の声援やツッコミ(!)でやる気が火がつき、すぐに演技力も鍛えられます。部員の数は約40名。男子が多いのが意外な特徴。ケン玉名人やモノマネ名人など、子どもたちがあっと驚く特技を持っている人、大歓迎です!

読み聞かせや遊びを通じて、子どもを笑顔に!



小学校や図書館での読み聞かせ活動は、自作の人形劇や創作絵本づくりに発展。評判を聞きつけた小学校やPTAから依頼が入るまでに。



物部キャンパス近くの野市青少年センターでは、地域の子どもたちといろんな遊びを楽しむ「子どもの城」の活動を、土佐市の体育館では小中学生と身体を使って遊ぶ「放課後の居場所づくり」活動をしています。

▶ サークル

陸上競技部 常に“1ステップ上”を目指す!

アピールポイント

走って、跳んで、投げて、継ぐ集団。創部46年の歴史があり、現在部員は約80名。日々の練習はもちろん、小学生対象の陸上教室開催や大学グラウンドでの競技会運営、審判などを通して貴重な経験を積み重ね、アクティブな毎日過ごしています。

0.01秒でも速く、1cmでも遠くへ、全員が常に一段上のステップを目指し奮闘しています。がんばった成果が記録に表れたときの快感はたまりません! 個人競技という印象の強い陸上競技ですが、私たちは集団意識を大事にし、チーム一丸となって試合に挑んでいます。そんなチームを支えてくれるマネージャーも募集!



▶ サークル

ヨット部 海を介して広がる、人と地域との交流

アピールポイント

全日本学生ヨット選手権大会には、ほぼ毎年出場しています。土・日・祝日は香南市ヤ・シィパークにあるハーバーで練習。初心者も参加OKです。NPO法人YASU海の駅クラブに加盟し、海と浜辺の環境保全や情報発信にも力を入れています。

醍醐味は何といっても走っている時の爽快感。特に雄大な太平洋は、セーラーたち憧れの海なのだそう。シーカヤックやサーフィンなどほかのマリンスポーツを並行して楽しむ部員も多く、地域住民と一緒に海の清掃や小学生のヨット教室を行うなど活動は幅広い。



▶ よさこいチーム

粹恋 ~すいれん~

アピールポイント

学生よさこいサークル粹恋は、高知大学・高知県立大学を中心とした学生チームです。みんなとても仲が良く、アットホームな感じで楽しく踊っています。練習時間があまりとれない方にも合わせた指導を行っているので、興味がある方は、ぜひ一度見学に来てみてください。私たちと最高の夏にしましょう。



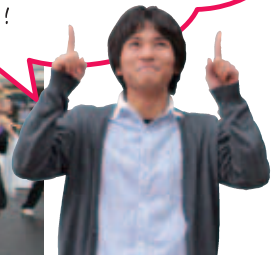
最高の一体感!!



県外出身者が多い高知大学なので、「入学して初めてよさこいを知った」、「初めて踊った」というメンバーも多い。

よさこい祭りって?

高知の夏の風物詩。毎年8月9~12日に開催されています。趣向を凝らした150以上ものチームが、踊りや衣装、個性を競い合います。高知に来たら、一度は踊ってみては?!



▶ サークル

高知大学環境サークル
ESWIQ

エコを気軽に!

アピールポイント

テーマは「環境」というキーワードで集まった高知大学生が、やりたいことを、何でも、全部できる“場”であり続けること。具体的には衣類の循環システム作りを目指す「しこくろプロジェクト」や朝倉キャンパスの構内緑化、「四国を軽くしよう」(通称JUMP)の運営などを行っています。

一人ではかたちにできないことも、みんながいればできる。自分にいいこと、気軽に始めてみませんか?



▶ サークル

モダンダンス部

いつでも・どこでも・だれとでも

アピールポイント

モダンダンス部は30年近くの歴史があります。主な活動は、エアロビック・コンテンポラリーダンス・ジャズダンス・ヨガなど、幅広いジャンルのダンスを研究し、創り上げていきます。ダンスは形として残すことができないからこそ、踊っている瞬間の充実感がたまらないのです。さあ、心と体で自分を表現しましょう!

第10回全日本学生エアロビック選手権大会、男子シングル部門・男子フライング部門:優勝。第6回全国フライング選手権大会、男子フライング部門:準優勝。その他、踊りに行くぜ!!・高知県芸術祭・黒潮祭(高知大)・紅葉祭(高知女子大)等にも参加。



▶ 同好会

こどもの森

「ストップ温暖化!」の地域リーダー

アピールポイント

教育学部生を中心に、部員は約30名。活動内容はCO₂や太陽、ソーラーパネルなどが親しみやすいキャラクターとなって登場する環境劇や、自転車発電機などを使った電気づくり体験、節電クイズなどの出前公演が主。活動実績は2年間で延べ約20回。学生たち自ら県の助成金制度に応募して資金を得たり、他の団体と交流をはかるなど、行動力は抜群!

地球温暖化防止に向けて様々な活動が広がる中、省エネの大切さを子どもたちに楽しく伝える「環境劇」で、高知県「CO₂ CO₂(コツコツ)勝つコツキャンペーン」大賞を受賞。環境省主催の全国大会にも出場しました。地域の幼稚園・小学校に環境劇を届けるなど、県内の草の根エコ活動をリードしています。



文化系サークル一覧

■ 朝倉キャンパス

交響楽団、吹奏楽団、合唱団、マンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、フォークフォーク、軽音楽部 BLUE SKY、SEA BREEZE、美術部、裏千家茶道部、表千家・白流茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、星の会、野生生物研究会、ユースホステル部、E.S.S.、写真部、子ども倶楽部、総合映像研究会、放送研究会、園芸部、奇術部、ニューシネマ☆パラダイス、Hand to hand、文芸創作サークル海老銃、環境サークルESWIQ

■ 岡豊キャンパス

医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部映画研究会、医学部合唱団、ACT-K、ACLS南国、医学部管弦楽団、医学部軽音楽部、医学部JAZZ研究会、小原流華道部、医学部裏千家茶道部、医学部写真部、医学部天文部、医学部美術部、アウトドア・HAM・サークル、パソコンサークル DOS/V、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部漢方研究会(うどん部)、フィールド医学研究会、医学部ボランティア部、Peer部、高知大学 Mental Health Care Club、医学部ダンス部

■ 物部キャンパス

嶺北フィールド学生サポーター林業塾

体育系サークル一覧

■ 朝倉キャンパス

陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、サッカー部、ワンダーフォーゲル部、モダンダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、ラグビー部、硬式野球部、バレーボール部、ハンドボール部、バスケットボール部、バドミントン部、体操競技部、ソフトボール部、アメリカンフットボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、洋弓部、卓球部、軟式野球部、芦原空手部、フットサル部、ラクロス部

■ 岡豊キャンパス

医学部合気道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部柔道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部準硬式野球部、医学部水上運動部、医学部ダイビング部、医学部卓球部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、医学部蹴球部、水泳部(朝倉キャンパスと合同)、陸上競技部(朝倉キャンパスと合同)



学生の暮らし

学生生活にかかる費用は学部や学科、学内外での活動など個々の状況に応じて様々ですが、奨学金制度をはじめとする諸制度も導入されていますので気軽に学務部学生支援課までお問い合わせください。



アパートで暮らす

垣本 章吾 教育学部2年

野球少年だった僕は、大学でも野球がしたいと思い高知大学に入学しました。社会人野球で活躍している憧れのOBのユニフォームを部屋に飾り、初心を忘れないようにしています。アパートは、大学生協IKUSで家賃が安い物件を探しました。ほかの人と比べ部活動費がかかるし運動をしていると食費もかかるので、極力自炊をしています。部活の練習はハードですが、その分、授業中は集中しその時間に頭にしっかり叩き込むようにしています。一人暮らしを始めてからは、将来を真剣に考える時間が多くなりました。そして自由な時間も増えました。でも一人暮らしで時間を好きなように使えるからこそ、規則正しく過ごすことの大切さがわかったように思います。睡眠をしっかりとり、朝は早く起きる。そうすると生活が楽しく充実してきます。それから、高知大学は友達もみんなキャンパス付近に住んでいるので、キャンパス周辺が一つ屋根の下という感じ。隣の部屋に行く感覚で、近くの友達の家に遊びに行ったりしています。それも楽しいですね。



学生寮で暮らす

東 真利奈、深川 由香 共に人文学部3年

親に頼らず大学に通いたかったので、寮に入りました。寮費が安い上、かつ寮は平日の昼食と夕食が出ますので、金銭的にも助かります。また寮母さんが共同スペースを掃除してくださいまし、時間にゆとりがあるのもうれしいことです。寮生活でよかったことは、いろいろな学部の先輩後輩がいて交流の輪が広がること。特に、何もわからなかった入学時はとても心強かったです。またセンサーで部外者が入れないようにしていますので安心感もあります。



写真左が、東さん。隣が深川さん

寮では新歓や寮祭、追いコンなど食堂でパーティを催して寮生の交流を深めています。出し物を企画するなど、とても楽しいイベントです。また、平日の夜は部屋を行き来したり、週末も寮生と一緒に食事に出かけたりして、仲良く過ごしています。

高知は人がとても温かいところ。少しのことで手助けしてくれる、そんな人柄の良さを感じます。また高知大学はいろいろな価値観を持った人と出会い刺激を受けられる、恵まれた環境だと思っています。

入学科・授業料

入学科・授業料	
入学科	282,000円
授業料 [年額]	535,800円 (前期・後期分各 267,900円)

※入学科及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学科及び新授業料が適用されます。

■入学科・授業料に関する問い合わせ先
財務部経理課出納グループ
TEL 088-844-8125

奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金が主なものですが、そのほかに地方公共団体や民間育英団体などの奨学金があります。

奨学金の貸与を受けることができる者は、学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により、学資の支弁が困難と認められる者です。

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金及び有利子の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額(平成22年度入学生)は、第一種の場合30,000円、自宅通学(45,000円)、自宅外通

Scholarship

学(51,000円)から選択することができます。

第二種の場合は30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円の中から自由に貸与月額を選択することができます。

なお、本学独自の奨学金としては、医学部の「岡豊奨学会奨学金」及び農学部の「池知奨学金」があります。

■奨学金制度に関する問い合わせ先
学務部学生支援課(奨学金担当)
TEL 088-844-8565

生活費の内訳例

1 アパートで一人暮らしの男子学生の場合

収入

仕送り	80,000
奨学金	30,000
計	110,000

支出

住居費	33,000
食費・光熱費	35,000
教材費(学費を除く)	5,000
交通・交際費(携帯電話・インターネット含む)	22,000
部活動費	10,000
雑費	5,000
計	110,000

2 学生寮に入寮している女子学生の場合

収入

仕送り	0
奨学金	30,000
バイト代	30,000
計	60,000

支出

寮費(寄宿費・食費・光熱費等)	18,000
教材費(学費を除く)	5,000
交通・交際費(携帯電話含む)	10,000
雑費	17,000
計	50,000
繰り越し	10,000

生活費

学生生活を送るのに必要な費用は、個々様々ですが、10万円前後の者が約25%を占めています。全体的な平均金額は8万程度であると思われ、家庭からの仕送りは10万円前後の者が約27%を占める一方で、3万円未満の者も約22%います。

また、約3割が何らかの奨学金により、4万円前後を受給しています。

アルバイトについては、約72%が月額3万円未満の収入となっています。

住居

下宿、アパートやマンションの紹介は、朝倉キャンパス及び岡豊キャンパスは高知大学生生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生生活協同組合と物部学務課の双方で、それぞれ行っています。料金は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

各キャンパス周辺の賃貸価格は、平成23年4月現在で下表の通りです。なお、最近では食事付きの下宿はあまり希望者がありませんが、その場合の料金は約50,000円となっています。

各キャンパス周辺賃貸価格表

貸間	15,000~25,000円
6畳・8畳 1K・ワンルーム	25,000~50,000円

学生寮情報

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南浜寮	男子 (242人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約18,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (80人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車で約10分
日章寮	男子 (60人)	約9,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部(農学部)キャンパス に隣接

■学生寮に関するお問い合わせ先:学務部学生支援課(学生寮担当) TEL 088-844-8565

入学科・授業料減免制度

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により入学科の納付が困難である学生は、申請により入学科の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

※大学院生を対象とした学業等成績優秀者授業料免除

学業等成績が特に優れている者に対して、各専攻からの推薦により授業料年額の4分の1が免除されることがあります。推薦時期は毎年9月を予定しており、各専攻で定めた選考基準により推薦者が決定されます。

■入学科・授業料減免制度に関するお問い合わせ先
学務部学生支援課
(入学科・授業料免除担当)
TEL 088-844-8149

学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

データ

Data

■過去3年間の志願状況 全選抜方法（平成21年度～平成23年度）

志願者数(人)

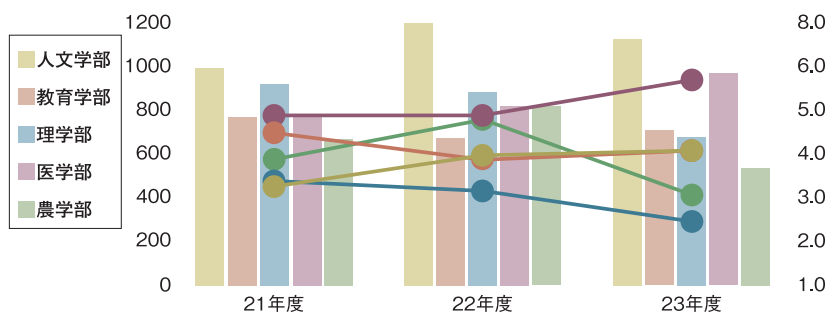
区分	21年度	22年度	23年度
人文学部	987	1,190	1,211
教育学部	763	668	701
理学部	912	877	673
医学部	779	813	962
農学部	665	811	532
合計	4,106	4,359	4,079

志願倍率(倍)

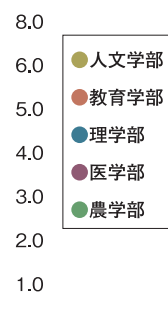
※志願倍率=志願者数/入学定員

区分	21年度	22年度	23年度
人文学部	3.3	4.0	4.1
教育学部	4.5	3.9	4.1
理学部	3.4	3.2	2.5
医学部	4.9	4.9	5.7
農学部	3.9	4.8	3.1
合計	3.9	4.1	3.8

志願者数(人)



志願倍率(倍)



<詳細:前期日程>

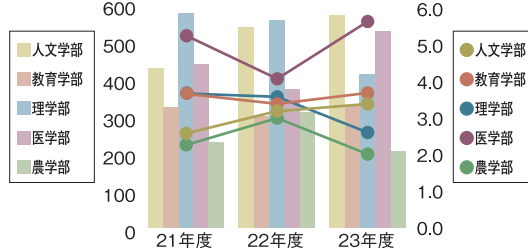
志願者数(人)

区分	21年度	22年度	23年度
人文学部	443	549	586
教育学部	332	307	335
理学部	593	570	422
医学部	452	379	539
農学部	237	316	209
合計	2,057	2,121	2,091

志願倍率(倍) ※志願倍率=志願者数/入学定員

区分	21年度	22年度	23年度
人文学部	2.6	3.2	3.4
教育学部	3.7	3.4	3.7
理学部	3.7	3.6	2.6
医学部	5.3	4.1	5.7
農学部	2.3	3.0	2.0
合計	3.4	3.4	3.4

志願者数(人)



志願倍率(倍)



<詳細:後期日程>

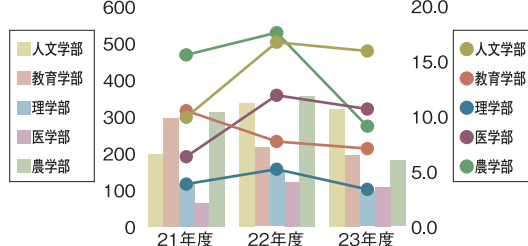
志願者数(人)

区分	21年度	22年度	23年度
人文学部	199	339	323
教育学部	297	216	195
理学部	116	153	95
医学部	64	121	108
農学部	314	358	181
合計	990	1,187	902

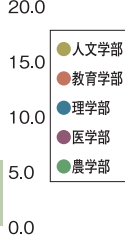
志願倍率(倍) ※志願倍率=志願者数/入学定員

区分	21年度	22年度	23年度
人文学部	10.0	17.0	16.2
教育学部	10.6	7.7	7.0
理学部	3.9	5.1	3.2
医学部	6.4	12.1	10.8
農学部	15.7	17.9	9.1
合計	9.2	11.0	8.4

志願者数(人)



志願倍率(倍)



平成22年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										A O 入試			推薦入試							
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ				
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)		
人文学部	人間文化学科	94	58	295	265	75	3.5	5	84	84	5	16.8				30	90	32					
	国際社会コミュニケーション学科	83	36	101	90	48	1.9	10	214	81	10	8.1				A選抜	20	59	21				
																B選抜	15	42	18				
																小計	35	101	39				
	社会経済学科	118	77	153	141	93	1.5	5	41	41	22	1.9	5	44	6	一般	15	41	16				
専門																15	26	17					
小計	295	171	549	496	216	2.3	20	339	206	37	5.6	5	44	6	95	258	104						
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	197	165	71	2.3	15	86	86	16	5.4							30	54	30		
	生涯教育課程	30	15	43	43	16	2.7	6	75	32	6	5.3				9	26	10					
																						芸術文化コース	
																						スポーツ科学コース	
																						生活環境コース	
小計	170	90	307	271	115	2.4	28	216	156	29	5.4				22	91	24	30	54	30			
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	50	154	143	56	2.6	30	153	153	30	5.1				数学分野	15	48	16			
			理科受験	110	416	396	140	2.8									理科分野	50	96	64			
																	情報分野	10	10	9			
小計	270	160	570	539	196	2.8	30	153	153	30	5.1				75	154	89						
医学部	医学科	107	62	281	259	67	3.9						30	178	30				15	59	11		
	看護学科	60	30	98	87	30	2.9	10	121	68	14	4.9				20	76	24					
	小計	167	92	379	346	97	3.6	10	121	68	14	4.9	30	178	30	20	76	24	15	59	11		
農学部	暖地農学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2				一般	4	12	5				
																専門	2	8	3				
																小計	6	20	8				
	海洋生物生産学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2					一般	4	22	6			
																	専門	2	4	2			
																	小計	6	26	8			
	食料科学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2											
																							小計
	生命化学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2											
																							小計
自然環境学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2												
																						小計	5
流域環境工学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2					2	8	3	一般	2	7	3	
																			専門	2	3	2	
小計	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2				4	15	5	4	10	5			
森林科学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2					2	7	2	一般	3	7	4	
																			専門	1	2	1	
小計	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2				4	9	5	4	9	5			
国際支援学コース	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2								一般	3	3	2	
																			専門	2	2	1	
小計	170	104	316	279	122	2.3	20	358	109	26	4.2				4	15	5	5	5	3			
合計	1,072	617	2,211	1,931	746	2.6	108	1,187	692	136	5.1	35	222	36	216	594	246	87	235	87			

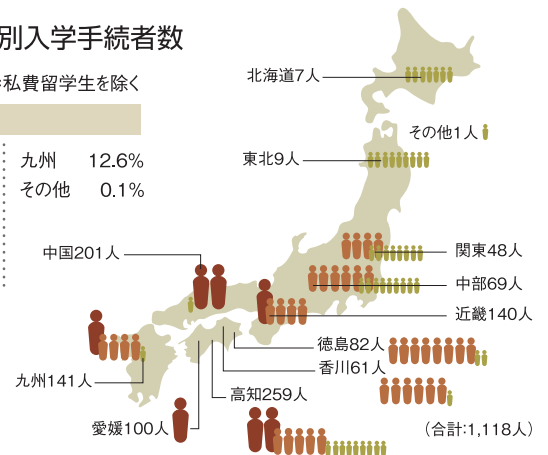
※□は募集なし
 ※帰国子女・中国引揚者等子女・社会人入試は志願者なし
 ※私費外国人留学生の選抜は、志願者=50名、合格者=14名
 ※実質倍率=受験者数/合格者数

平成22年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数) *私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.6% 中国 18.0% 九州 12.6%
 東北 0.8% 徳島 7.3% その他 0.1%
 関東 4.3% 香川 5.5%
 中部 6.2% 愛媛 8.9%
 近畿 12.5% 高知 23.2%



■平成23年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										A O 入試			推薦入試							
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ				
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)		
人文学部	人間文化学科	94	58	197	183	75	2.4	5	76	76	26	2.9					30	95	30				
	国際社会コミュニケーション学科	83	36	103	90	48	1.9	10	103	32	10	3.2				A選抜	20	57	22				
																B選抜	15	19	15				
																小計	35	76	37				
社会経済学科	118	77	286	263	93	2.8	5	144	144	12	12.0	6	50	8	一般	15	48	19					
															専門	15	33	18					
															小計	30	81	37					
小計	295	171	586	536	216	2.5	20	323	252	48	5.3	6	50	8	95	252	104						
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	195	164	67	2.4	15	61	61	17	3.6								30	90	34	
	生涯教育課程	30	15	52	51	15	3.4	6	69	33	8	4.1					9	33	9				
																							芸術文化コース
																							スポーツ科学コース
	生活環境コース	20	10	33	31	15	2.1	4	14	14	6	2.3				6	11	6					
小計	170	90	335	301	107	2.8	28	195	139	35	4.0				22	81	22	30	90	34			
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	40	106	100	47	2.1	30	95	95	30	3.2				数学分野	15	38	18			
			理科受験	110	292	277	138	2.0									理科分野	50	106	59			
			情報受験	10	24	23	10	2.3									情報分野	10	12	11			
小計	270	160	422	400	195	2.1	30	95	95	30	3.2				75	156	88						
医学部	医学科	110	65	466	355	65	5.5						30	172	30					15	68	15	
	看護学科	60	30	73	71	32	2.2	10	108	40	10	4.0				20	75	22					
	小計	170	95	539	426	97	4.4	10	108	40	10	4.0	30	172	30	20	75	22	15	68	15		
農学部	農学科	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5								一般	4	24	6
																				専門	2	2	0
																				小計	6	26	6
																				一般	4	15	7
																				専門	2	3	0
																				小計	6	18	7
																				一般	6	29	6
																				専門	6	19	6
																				小計	5	13	5
																				一般	2	3	2
専門	2	2	2																				
小計	4	5	4																				
一般	3	5	3																				
専門	1	0	0																				
小計	4	5	3																				
一般	3	11	5																				
専門	2	1	0																				
小計	5	12	5																				
小計	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5				4	15	5	42	127	42			
合計	1,075	620	2,091	1,837	742	2.5	108	902	575	143	4.0	36	222	38	216	579	241	87	285	91			

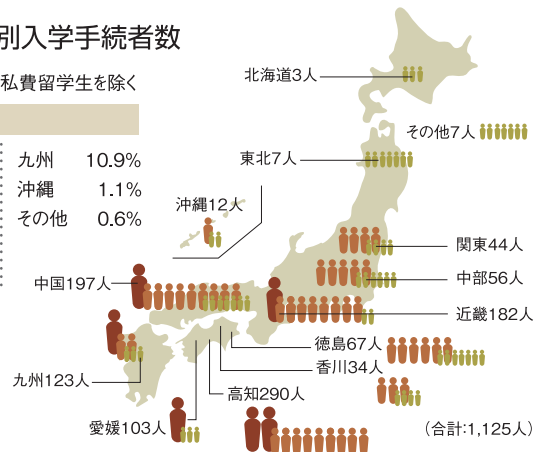
- ※□は募集なし
- ※帰国子女・中国引揚者等子女・社会人入試は志願者なし
- ※私費外国人留学生の選抜は、志願者=62名、合格者=25名
- ※実質倍率=受験者数/合格者数
- ※医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の受験者数

■平成23年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数) *私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.3%	中国 17.5%	九州 10.9%
東北 0.6%	徳島 6.0%	沖縄 1.1%
関東 3.9%	香川 3.0%	その他 0.6%
中部 5.0%	愛媛 9.2%	
近畿 16.2%	高知 25.8%	



2009~2011年度入学者出身校一覧 (2011年4月1日現在在学者) ※学校名は入学時の名称

北海道

千歳高校、札幌葉若高校、岩見沢東高校、北見北斗高校、苫小牧南高校、静内高校、帯広三条高校、釧路江南高校、中標津高校、北広島高校、札幌国際情報高校、札幌光星高校、札幌第一高校、函館大学付属有斗高校、海星学院高校

青森

弘前中央高校、八戸北高校、五所川原高校、三沢高校

宮城

仙台向山高校、古川高校、泉館山高校、富谷高校、東北学院榴ヶ岡高校

秋田

秋田高校

山形

長井高校、加茂水産高校、酒田西高校、鶴岡南高校

福島

安積高校、磐城高校、福島東高校

茨城

水戸第二高校、勝田高校、麻生高校、土浦第二高校、下館第一高校、竹園高校、牛久高校、水戸桜ノ牧高校、並木高校、牛久米進高校、茨城キリスト教学園高校、茨城高校、水城高校、江戸川学園取手高校、茗溪学園高校、岩瀬日本大学高校

栃木

宇都宮高校、小山高校、栃木女子高校、佐野女子高校、足利高校、真岡女子高校、那須拓陽高校、黒磯高校、矢板東高校、宇都宮北高校、宇都宮短期大学附属高校

群馬

前橋(県立)高校、前橋女子高校、高崎高校、太田高校、太田女子高校、沼田高校、中之条高校

埼玉

浦和(県立)高校、熊谷高校、春日部高校、松山高校、越ヶ谷高校、越谷南高校、狭山ヶ丘高校、城北埼玉高校、西武学園文理高校、川越東高校、自由の森学園高校

千葉

千葉(県立)高校、千葉東高校、船橋東高校、成田国際高校、佐原高校、佐原白楊高校、長生高校、君津高校、習志野高校、銚子(市立)高校、千葉経済大学附属高校、麗澤高校、東邦大学付属東邦高校、渋谷教育学園幕張高校、市原中央高校、秀明八千代高校

東京

筑波大学附属駒場高校、東京大学教育学部附属高校、清瀬高校、小石川高校、昭和高校、新宿高校、八王子東高校、富士高校、町田高校、両国高校、城東高校、科学技術高校、国際高校、暁星高校、白百合学園高校、麻布高校、頌栄女子学院高校、海城高校、早稲田高校、桜蔭高校、順天高校、聖学院高校、開成高校、攻玉社高校、獨友学園女子高校、科学技術学園高校、東京都立大学付属高校、和光高校、立教女学院高校、十文字高校、東嶺高校、豊島女子学園高校、本郷高校、武蔵高校、八王子高校、創価高校、吉祥女子高校、成蹊高校

神奈川

横浜翠嵐高校、希望ヶ丘高校、川和高校、秦野高校、東高校、横浜雙葉高校、聖光学院高校、新宿高校、桐蔭学園高校、栄光学園高校、鎌倉学園高校、桐光学園高校

新潟

新潟高校、小千谷高校、柏崎洋高校、新潟明訓高校、北越高校

富山

八尾高校、高岡西高校、氷見高校、高岡南高校、羽野高校、富山第一高校

石川

金沢大学人間社会学部学校教育学類

附属高校、大聖寺高校、小松高校、金沢錦丘高校、金沢桜丘高校、金沢西高校、羽咋高校、小松明峰高校、星稜高校

福井

高志高校、羽水高校、美方高校、若狭高校、丹南高校、武生東高校、仁愛女子高校

山梨

桂高校、富士河口湖高校

長野

長野高校、屋代高校、上田染谷丘高校、諏訪二葉高校、岡谷南高校、伊那北高校、飯田高校、飯田風越高校、松本深志高校、松本姫ヶ崎高校、木曾青峰高校、松本第一高校、上田西高校、東海大学付属第三高校、佐久長聖高校

岐阜

岐阜高校、長良高校、大垣北高校、大垣養老高校、武義高校、東濃美業高校、多治見高校、多治見北高校、瑞浪高校、恵那高校、中津高校、益田清風高校、美濃加茂高校、高山西高校、帝京大学可児高校

静岡

伊東高校、韭山高校、三島南高校、御殿場南高校、須磨東高校、富士高校、清水東高校、静岡東高校、藤枝東高校、掛川西高校、磐田南高校、浜松北高校、浜松西高校、浜松南高校、静岡市立高校、浜松市立高校、富士東高校、伊豆中央高校、富士宮西高校、庵原高校、星陵高校、静岡雙葉高校、静岡北高校

愛知

名古屋大学教育学部附属高校、愛知教育大学附属高校、旭丘高校、千種高校、松蔭高校、昭和高校、熱田高校、旭野高校、津島高校、津島北高校、大府高校、横須賀高校、半田高校、刈谷高校、刈谷北高校、西尾高校、吉良高校、国府高校、豊橋東高校、豊丘高校、蒲郡高校、成章高校、小坂井高校、天白高校、緑高校、一宮南高校、豊田北高校、高蔵寺高校、豊田南高校、大府東高校、豊田高校、岡崎西高校、名東高校、知立東高校、新川高校、常滑高校、名古屋大谷高校、東海高校、名古屋高校、南山高校、海高校、春日丘高校、豊川高校、愛知産業大学三河高校、栄徳高校、豊田大谷高校

三重

四日市南高校、四日市西高校、神戸高校、龜山高校、津西高校、津東高校、松阪高校、宇治山田高校、本高校、川越高校、鈴鹿高校、高田高校、皇學館高校

滋賀

膳所高校、石山高校、八幡工業高校、八日市高校、水口東高校、米原高校、虎姫高校、草津東高校、河瀬高校、光泉高校

京都

山城高校、朱雀高校、嵯峨野高校、北嵯峨高校、桃山高校、東宇治高校、北桑田高校、龜岡高校、園部高校、須知高校、綾部高校、福知山高校、東舞鶴高校、西舞鶴高校、宮津高校、海洋高校、峰山高校、網野高校、日吉ヶ丘高校、紫野高校、洛西高校、西城陽高校、農芸高校、鳥羽高校、菟道高校、東山高校、洛星高校、洛南高校、京都文教高校、京都共栄学園高校、福知山成美高校

大阪

大阪教育大学附属天王寺高校、大阪教育大学教育学部附属池田高校、大阪教育大学附属平野高校、北野高校、池田高校、豊中高校、茨木高校、千里高校、三島高校、大手前高校、四条畷高校、高津高校、夕陽丘高校、布施高校、八尾高校、今宮高校、天王寺高校、住吉高校、東住吉高校、登美丘高校、泉陽高校、三国丘高校、鳳高校、東高校、大阪市立高校、北千里高校、狭山高校、港南造形高校、追手門学院大手前高校、千代田高校、大阪学芸高校、開明高校、履正社高

校、興國高校、桃山学院高校、浪速高校、大阪星光学院高校、大谷高校、宣真高校、四天王寺高校、大阪薫英女学院高校、箕面自由学園高校、近畿大学附属高校、清風高校、清風南海高校、清教学園高校、関西創価高校、帝塚山学院泉ヶ丘高校、東海大学付属仰星高校、大阪青凌高校、初芝富田林高校、大阪桐蔭高校、YMCA学院高校

兵庫

御影高校、神戸高校、兵庫高校、夢野台高校、長田高校、星陵高校、北須磨高校、舞子高校、神戸商業高校、西宮(県立)高校、鳴尾高校、西宮北高校、芦屋(県立)高校、尼崎北高校、伊丹(県立)高校、宝塚東高校、川西緑台高校、猪名川高校、柏原高校、篠山鳴鶴高校、明石高校、明石南高校、明石北高校、明石西高校、加古川東高校、加古川西高校、小野高校、西脇高校、三木高校、西脇工業高校、姫路東高校、姫路西高校、姫路南高校、福崎高校、香寺高校、龍野高校、赤穂高校、上部高校、姫路商業高校、太子高校、八鹿高校、生野高校、浜坂高校、出石高校、洲本高校、津名高校、三原高校、洲本実業高校、宝塚西高校、相生高校、東播磨高校、萱合高校、兵庫商業高校、西宮(市立)高校、尼崎(市立)高校、伊丹(市立)高校、姫路高校、琴丘高校、尼崎福園高校、須磨東高校、加古川北高校、伊丹西高校、網干高校、明石清水高校、高砂南高校、三木北高校、西宮中山高校、川西北陵高校、神戸高塚高校、明石城西高校、播磨南高校、宝塚北高校、姫路飾西高校、伊川谷北高校、北摂三田高校、三田西陵高校、兵庫県立大学附属高校、三田祥雲館高校、武庫荘総合高校、国際高校、芦屋国際高校、淡路三原高校、灘高校、神戸龍谷高校、親和女子高校、神戸学院大学附属高校、神戸星城高校、滝川高校、須磨学園高校、愛徳学園高校、神戸女学院高等学部高校、報徳学園高校、三田学園高校、柳学園高校、白陵高校、兵庫東播磨高校、賢明女子学院高校、淨心学院高校、東洋大学附属姫路高校、近畿大学附属豊岡高校、滝川第二高校、神戸国際高校、ウイザナビ高校

奈良

奈良高校、生駒高校、橿原高校、桜井高校、高田高校、青翔高校、一条高校、高田商業高校、平城高校、香芝高校、奈良北高校、奈良育英高校、帝塚山高校、天理高校、東大寺学園高校、智辯学園高校、育英西高校、聖心学園高校

和歌山

橋本高校、伊都高校、向陽高校、和歌山北高校、和歌山南高校、海南高校、耐久高校、日高高校、南部高校、田辺高校、串本高校、新宮高校、串本古座高校、開智高校、和歌山信愛女子短期大学附属高校、近畿大学附属和歌山高校

鳥取

鳥取東高校、鳥取西高校、八頭高校、倉吉東高校、倉吉西高校、米子東高校、米子西高校、境高校、鳥取中央育英高校、鳥取城北高校、倉吉北高校、米子松蔭高校

島根

安来高校、松江北高校、松江南高校、大東高校、三刀屋高校、平田高校、出雲高校、大社高校、大田高校、矢上高校、益田高校、隠岐高校、松江東高校、明星高校、出雲北陵高校、出雲西高校

岡山

岡山朝日高校、岡山操山高校、岡山大安寺高校、岡山芳泉高校、岡山工業高校、倉敷青陵高校、倉敷天城高校、倉敷南高校、倉敷中央高校、津山高校、津山商業高校、津山東高校、玉野高校、玉島(県立)高校、笠岡高校、笠岡商業高校、

西大寺高校、井原高校、総社高校、高梁高校、新見高校、瀬戸高校、邑久高校、勝山高校、落合高校、林野高校、岡山一宮高校、倉敷古城池高校、玉野岡山南高校、総社南高校、岡山山陽東高校、備前緑陽高校、倉敷鷺羽高校、山陽女子高校、就実高校、明誠学院高校、岡山理科大学附属高校、岡山県実作高校、岡山県作陽高校、岡山学芸館高校、金光学園高校、おかやま山陽高校、岡山白陵高校、岡山高校、朝日塾高校

広島

広島大学附属福山高校、広島大学附属福山高校、広島国泰寺高校、広島皆実高校、広島商業(県立)高校、海田高校、廿日市高校、大柿高校、西条農業高校、賀茂北高校、安古市高校、広島高校、呉宮原高校、尾道東高校、尾道北高校、三原高校、福山誠之館高校、府中高校、油木高校、大門高校、福山明王台高校、三次高校、舟入高校、呉高校、福山高校、神辺旭高校、福園北高校、安佐北高校、沼田高校、安芸南高校、東高校、因島高校、広島高校、崇徳高校、広島西高校、山陽高校、安田女子高校、比治山女子高校、広島女学院高校、ノートルダム清心高校、広島国際学院高校、広島学院高校、広島城北高校、武田高校、盈進高校、福山院の星女子高校、近畿大学附属福山高校、銀河学院高校、英数学館高校、如水館高校、呉青山高校

山口

岩国高校、柳井高校、光高校、下松高校、徳山高校、山口高校、山口中央高校、宇部高校、小野田高校、厚狭高校、豊浦高校、下関西高校、下関南高校、大津高校、萩高校、新南陽高校、華陵高校、宇部浦城高校、宇部フロンティア大学附属香川高校

徳島

城東高校、城南高校、城北高校、徳島商業高校、小松島高校、富岡東高校、富岡西高校、新野高校、鳴門高校、鳴門第一高校、板野高校、名西高校、川島高校、阿波高校、脇町高校、辻高校、宇部浦城高校、徳島市立高校、城ノ内高校、徳島北高校、海部高校、徳島科学技術高校、徳島文理高校

香川

小豆島高校、土庄高校、三本松高校、高松東高校、高松高校、高松工芸高校、高松商業高校、坂出高校、坂出商業高校、坂出工業高校、丸亀高校、丸亀城西高校、善通寺第一高校、高瀬高校、観音寺第一高校、観音寺中央高校、高松第一高校、高松西高校、高松北高校、香川中央高校、高松桜井高校、三木高校、英明高校、高松中央高校、香川県大手前高校、松高高校、坂出第一高校、香川県大手前高校、香川県藤井高校、尺誠学園高校、香川誠陵高校

愛媛

愛媛大学附属高校、川之江高校、三島高校、新居浜東高校、新居浜西高校、新居浜南高校、西条高校、西条農業高校、小松高校、丹原高校、今治西高校、今治南高校、今治北高校、弓削高校、松山東高校、松山南高校、松山北高校、松山商業高校、東温高校、上浮穴高校、小田高校、大洲高校、八幡高校、川之石高校、三崎高校、三瓶高校、宇和高校、野村高校、宇和島東高校、吉田高校、津島高校、南宇和高校、伊予高校、松山中央高校、今治東高校、松山西高校、宇和島南高校、今治明徳高校、愛光高校、聖力タリ女子高校、清美高校、清美平成高校、新田青雲高校、未来高校、帝京富士高校

高知

室戸高校、安芸高校、安芸桜ヶ丘高校、山田高校、嶺北高校、高知農業高校、

高知東工業高校、高知東高校、高知追手前高校、高知丸の内高校、高知小津高校、高知西高校、高知北高校、高知工業高校、春野高校、高岡高校、佐川高校、仁淀高校、須崎高校、中村高校、沼毛高校、清水高校、高知商業高校、岡豊高校、高知南高校、大方高校、高知若草養護学校、土佐高校、土佐女子高校、高知高校、高知学芸高校、明德義塾高校、土佐塾高校

福岡

京都高校、小倉南高校、小倉西高校、戸畑高校、八幡高校、東筑高校、宗像高校、新宮高校、福岡魁誠高校、福岡中央高校、福岡商業(県立)高校、海田高校、廿日市高校、大柿高校、西条農業高校、賀茂北高校、安古市高校、広島高校、呉宮原高校、尾道東高校、尾道北高校、三原高校、福山誠之館高校、府中高校、油木高校、大門高校、福山明王台高校、三次高校、舟入高校、呉高校、福山高校、神辺旭高校、福園北高校、安佐北高校、沼田高校、安芸南高校、東高校、因島高校、広島高校、崇徳高校、広島西高校、山陽高校、安田女子高校、比治山女子高校、広島女学院高校、ノートルダム清心高校、広島国際学院高校、広島学院高校、広島城北高校、武田高校、盈進高校、福山院の星女子高校、近畿大学附属福山高校、銀河学院高校、英数学館高校、如水館高校、呉青山高校

佐賀

佐賀西高校、唐津東高校、伊万里高校、小賀学院高校、武雄高校、鹿島高校、致遠館高校、佐賀清和高校、東明館高校

長崎

長崎西高校、長崎南高校、佐世保南高校、佐世保北高校、佐世保西高校、佐世保商業高校、大村高校、諫早高校、島原高校、口加高校、猶興館高校、松浦南高校、五島高校、対馬高校、佐世保中央高校、長崎北陽台高校、西陵高校、長崎南山高校、長崎日本大学高校

熊本

済々黌高校、第二高校、熊本西高校、熊本工業高校、熊本農業高校、玉名高校、鹿本高校、翔陽高校、御船高校、八代高校、口加高校、猶興館高校、松浦南高校、五島高校、対馬高校、佐世保中央高校、長崎北陽台高校、西陵高校、長崎南山高校、長崎日本大学高校

大分

高田高校、杵築高校、別府鶴見丘高校、大分舞鶴高校、大分雄鶴高校、大分西高校、臼杵高校、佐伯鶴城高校、竹田高校、日田高校、中津南高校、中津北高校、安心院高校、大分豊府高校、宇佐高校、国東高校、大分東明高校

宮崎

高千穂高校、延岡高校、富島高校、日向高校、高鍋高校、妻高校、宮崎大宮高校、宮崎南高校、宮崎西高校、宮崎商業高校、日南高校、福島高校、都城泉ヶ丘高校、都城西高校、小林高校、宮崎北高校、延岡雲雲高校、鵬翔高校、宮崎第一高校、延岡学園高校、日向学院高校

鹿児島

鶴丸高校、鹿児島中央高校、錦江湾高校、鹿児島南高校、指宿高校、枕崎高校、加世田高校、川辺高校、伊集院高校、川内高校、出水高校、加治木高校、国分高校、志布志高校、鹿児島高校、屋久島高校、大島高校、鹿児島玉龍高校、鹿児島女子高校、鹿児島女子高校、松陽高校、武岡台高校、鶴翔高校、鹿児島実業高校、鹿児島、ラサール高校、鳳凰高校、鹿児島第一高校、鹿児島中央高校、屋久島おおぞら高校

沖縄

知念高校、那覇高校、首里高校、浦添高校、普天間高校、コザ高校、読谷高校、宜野座高校、北山高校、八重山高校、浦添商業高校、具志川高校、開邦高校、球陽高校、向陽高校、那覇国際高校、沖縄尚学高校、昭和薬科大学附属高校



4年間のすべてが、 未来につながる

野球部唯一の女子プレイヤー、途上国問題への取り組み・・・

古本 湖美 人文学部国際社会コミュニケーション学科4年 大分県出身
NHK(日本放送協会)記者 2010年度卒業

「私の性格は負けず嫌い。大学4年間いろいろなことに挑戦してきましたが、そのすべてが今につながっていると感じます」
そう笑顔で話すのは、古本湖美さん。人気業界の狭き門を突破し、春からはNHKの記者として社会へ羽ばたく。
彼女がどんな学生か、ひとことで表すのは難しい。古本さんは、人文学部で国際コミュニケーションを専攻する女子学生であり、国際協力団体『すきっぷ』でフェアトレード活動に取り組むリーダーであり、硬式野球部唯一の女子プレイヤー。いくつもの“顔”を持っている。

「勉強は学生の本分。『すきっぷ』は、自分の興味を深め実践するための活動。そして野球は、私のプライドでしょうか」

大学野球の最高峰・神宮(全日本選手権)出場も果たした強豪・硬式野球部には、入学後すぐに入部。高校時代からプレイヤーとして活躍していた古本さんが、創部30年以上の野球部では初の女子選手。壁にもぶつかった。



野球部時代の古本さん(写真左端)。野球がしたくて、迷わず飛び込んだ。

「野球が好き! でも他の選手との体力差・実力差があり、試合に出られたのはわずかな練習試合だけ。悩みましたね。でも絶対に辞めたくなかった」

一方で、2年生の時には国際協力団体を有志で立ち上げた。「友達に恵まれたんです。周りの子たちがすごく意識が高くて。国際協力という視点で、高知から何ができるのかをみんなで考えていきました。私はフェアトレードのリーダーとして、フィリピンの貧困地域を支援するNGO団体や、アフリカ・マラウィーのエイズ孤

児を支援するJICAの方たちと活動を進めていきました。野球部の練習とかぶるので、みんなに声を掛けて昼休みにランチミーティングをしていましたね。時間をつくることを学びました」

古本さんが就職活動を始めたのは3年生の終わり。自分のやりたいことは何だろう? これまでの自分を振り返ると、マスコミ・報道という仕事が頭に浮かんだ。


「複数の大手新聞社や地元大分の新聞社などを受けました。でも採用試験が始まる3月後半で、大学野球のリーグ戦の時期なんですよ。なので、東京での試験が終わったらすぐ高知に帰って、部活の練習に出る毎日でした」

にこやかに話す古本さんが、相当にハードなスケジュールだ。「現役最後のリーグ戦。絶対に中途半端で終わらせたくなかったんです。ベンチ入りはしていない。でも、スタンドでも自分ができることがあります」

最終試験の日も野球が重なっていた。「忘れもしません!(笑)。埼玉で女子野球日本代表のセレクションに出席し、急きょ大阪に戻って最終試験を受けました。大変でしたが、野球がなければ、逆に途中で投げ出していたかも・・・」
野球で培った精神力が、就活で役立ったという。

「大学生生活って本当に自由。自分しだいなんです。興味を持ったら行動してみる。やり続ける。それが自然と将来に結びついてくのではないのでしょうか」

古本さんの今後の目標を聞いてみた。「取材される側の気持ちをお忘れな記者になりたいですね。相手の立場を考えると、国際協力でもずっとやってきたこと。それを大切に、声なき声を伝えていきたいと思います」
4月から、彼女の新たなステージが始まる。



古本さんの4年間

- 1 年生 **入学**
野球部に入部
夏休みの集中講座で、初めての国際協力体験
野球部初の女子プレイヤーに!
- 2 年生 **「すきっぷ」立ち上げ**
教員免許取得に向け多忙の日々
途上国の問題に高知から取り組む
- 3 年生 **1月になって就活に切り替え**
当初は大学院進学も考えていたけど・・・
マスコミ業界にしばってエントリー
- 4 年生 **最終の採用試験 就職内定!**
念願の記者に内定!

様々な就職活動支援のかたち

自律的な学びで大きく成長した学生が、卒業後、実社会に自分の力を発揮する場を見だし、地域や社会に貢献していけるよう、総合教育センターキャリア形成支援部門と学務部学生支援課就職室が連携して学生の就職活動をサポートしています。

サポート Support.1 ガイダンス開催



サポート Support.2 個別相談

また就職室では、職員が学生一人ひとりの相談にも対応しています。不安や悩みなど、どんなことでも気軽に声を掛けてください。丁寧に話を聞き、就職活動をサポートします。

また就職室には、常勤の職員以外にも、企業担当、教職担当、自己分析担当という外部の専門家が相談を受け付けており、学生個々の状況に応じて必要なアドバイスを提供しています。

本格的な就職活動の時期は大学3年生からですが、1年生だから早すぎるということはありません。1年生でも、気になったことがあれば、まずは就職室を訪ねてみてください。

私たちが全力でサポートします!!



サポート Support.3 イベント開催・情報発信

学生のキャリアデザインをサポートするために、就職室では様々なイベントを行っています。首都圏・大阪バスツアーでは、大型バスを借り切って首都圏や大阪で行われる合同説明会に学生を引率。そのほか、プロカメラマンによる履歴書用の写真撮影会なども人気の高いイベントです。

また、就職活動についての概要などをまとめた「Ambition—高知大学就職活動ガイドブック」を配布したり豊富な資料を取り揃えて、役立つ情報を提供しています。



就職活動 Q & A

就職室に聞きました

学生たちの就職活動を最も身近で支えている就職室。
そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。



Q 「就活」って大変そうなイメージがあるけれど、実際のところどうなのですか？

「働く」とか「就職活動」に対しては、はじめは多くの学生が不安を持っています。けれどそれは、ニュースやドラマから得たステレオタイプなイメージ。実際に動き始めてみるといろいろな出会いや発見があって、社会に出てからの具体的な目標も見えてきます。就活はいわば、「**社会との関わりの中で集中して自分自信を見つめ直す期間**」。そこで逃げずに仲間と協力しながら乗り越えれば、必ず大きく羽ばたけます。

Q 先輩たちはいつぐらいから「就活」を意識しはじめるのですか？

具体的に行動を起こすのは3年生になってから。でも、「**キャリア形成**」という意味では**1、2年生から既に意識**している学生も多いですね。インターンシップに行ったり、就職室に来て話を聞いていく1年生も結構います。

Q 「インターンシップ」に興味があるのですが。

インターンシップには**いろいろな形態**があります。学生が自分で探して行くものから授業の一環として行われるもの、また期間も短期から長期まで様々です。就職室では、みなさんが**自分の目的に合ったインターンシップ**を果たせるよう、ガイダンスの開催や情報提供、事前指導(マナー指導)などのサポートを行っているのです、うまく活用してください。

インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 課題探求能力育成型インターンシップ(CBI)→詳しくはP19を参照
- 正課外で行うインターンシップ(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

最近、複数回
インターンシップに行く
学生が増えています！



Q 就職室ではどんな相談にのってくれるのですか？

常勤の専門スタッフの他、自己分析担当、企業担当、教職担当という外部の専門相談員が相談にのっています。

話しているうちに「**本当に自分が見えてきた**」「**自信が持てるようになった**」という学生も、これまでたくさん見てきました。



Q 県外出身者ですが、地元や首都圏での就職サポートもありますか？

首都圏と大阪へは大学主催のバスツアーが組まれており、学生は格安料金で合同会社説明会に参加できます。特に首都圏バスツアーはOB・OGとの交流会がセットになっていて人気です。高知大学は学生の7割以上が県外出身者。近年は**地元志向**も高まっているので、都道府県ごとの情報収集や提供にも力を入れています。



Q 就職ガイダンスやセミナーなどの情報が知りたいのですが。

セミナーや会社説明会の開催情報をメール送信するサービスで、学生をサポートしています。携帯への転送設定をしておけば、貴重な情報を逃すこともありません！



Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

物部キャンパスでは学務課の中に就職担当があり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また朝倉キャンパスで行ったすべてのガイダンスやセミナーのDVDを物部で視聴できます。

就活会

がんばる先輩からがんばる後輩へ成功体験をつなげ!

意中の企業に内定した先輩学生が、同じ思いでがんばる後輩たちをサポートする「就活会」。自身の体験やネットワークを活かしたサポート活動が、プラスの連鎖を広げています。

僕らの就活?

先輩たちに聞きました



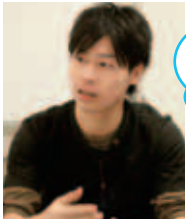
小林 薫太 (2010年度就活会代表)
理学部理学科 主専攻:生物科学コース、
副専攻:情報科学コース
福岡県出身
三栄コーポレーション 総合職内定

やりたいことを
やっていれば、
自ずと自分の道は
見えてくる!



岡田 美紀
教育学部学校教育教員養成課程
岡山県出身
水島信用金庫 総合職内定

資格が取れたり、
業界人が来たりと
ユニークな授業も多い。
アンテナを張って!



山本 大史
農学部生産環境工学科
福井県出身
(株)テクノスジャパン システムエンジニア内定

卒論では
“独特であるがともてである”
ことが大切と言われますが、
就活も同じ!



高萩 浩美
人文学部国際社会コミュニケーション学科
兵庫県出身
(株)ロックフィールド 営業職内定

全国から学生が
集まる高知大学。
人との出会いを
大切に!

留学が人生の転機に
小林 薫太

僕は、最初は教員志望。好きな理学の研究をしながら教員免許もとれるということで高知大学にきました。けれど、遊びもバイトも“何でもアリ”の大学の雰囲気に違和感を覚え、1年の終わりから8ヶ月間アメリカに私費留学。それが転機となりました。アメリカは、日本よりもさらに“何でもアリ”の国。けれど、宗教問題でも政治問題でもみんなが自分の意見を議論をできて、意見の衝突はあっても互いに認め合っていました。それまでの自分の価値観が大きく揺さぶられるのを感じましたね。帰ってくると、大学生生活も違って見えました。何でもできる環境にありながら、自分で自分の限界を決めてしまっていたことに気がつきました。そこからは、自分が本当にやりたいことは何か、真剣に考えるようになりました。そして、直接生徒に勉強を教える教職ではなく、もっと別の角度から自分の考える「教育」を実現できる仕事があるのではと思うようになり、今の内定先に就職を決めました。

インターンシップを重ねながら
岡田 美紀

私も最初は好きな英語を活かして教員になりたいと思っていました。でも学童保育のアルバイトを経験し、教員への思いはただの憧れに過ぎないのでは?と疑問を持ちました。そこでインターンシップに挑戦。2年生の時にいった図書館でのインターンシップでは、これまでにない幅広い年齢層の方と接することができ、それがとても魅力的に思えました。その後、3年生では医薬品メーカーのインターンシップを経験。徐々に自分の中で「全ての年代の人に関わること」が就活のキーワードとなっていきました。最終的に今の内定先を選んだのは、そこに高齢者向けの年金や資産の運用をアドバイスする業務があったから。社会での実体験を重ねながら、自分の興味の方向性を探っていく中で、お年寄りに関わりたい、役に立ちたいという明確な目標を見つけることができました。

尊敬できる社会人に出会えた
山本 大史

僕は、新しい土地で新しいことに挑戦したいと思い高知にきました。入学後は憧れの軽音部に入り、ライブ活動の毎日。そんな中、「自律協働入門」という授業の中で心から尊敬できると思える社会人に出会えたことが、今につながる最初のきっかけです。2年生では「CBI授業」を受講し、愛知県で半年間、長期インターンシップを経験。楽器販売業界でいち早くネット事業に取り組んだ起業家社長のもとで、ネットショップ運営に携わりました。サイトの閲覧者層やアクセス数を調べたり、商品企画をプレゼンしたりと経験を積んだことが自信になったし、任せてくれた社長の懐の深さにも感動。また、インターンシップの仲介してくれたネットワークが学生向けの勉強会を開催していて、そこでも多くの仲間や社会人と交流することができました。こうして「具体的に目標となる人、社会人像」に出会えたことが、僕の就活に活かされたと思います。

挫折経験をプラスに変えて
高萩 浩美

私は高校時代、進学校の中で劣等感を抱いて過ごしていました。高知大学に来た時、そんな自分を変えたくて、とにかくたくさんの人に話しかけて友達を作りました。よさこいサークルに入ったり、シティFMのラジオ番組にレギュラー出演したり、様々なアルバイトを経験したり…。そのような大学生活の中で感じたのは、「人と接することは楽しい」ということ。誰かが笑顔になれる瞬間に立ち会えるような仕事がしたいと、自然に思うようになりました。食品業界に興味を持ったのは、“おいしい”は人を笑顔にするから。内定した会社は野菜の産地や細かい調理法にまでこだわりを持っていて、自信をもって商品を提供することができます。また、私が高校時代の挫折をバネに乗り越えたことを評価してくださり、「あなたの前向きさが組織の中できっといい影響を与えられるよ」と言葉をかけてくださったのがとてもうれしかったですね。

先輩からのメッセージ

あなたは大学卒業後の自分を想像したことがありますか？

職業や働き方へのイメージを持つことは、大学生活をより有意義なものにする大切な指針となります。高知大学を卒業し社会で活躍している先輩方から、ご自身の経験を振り返って話していただきました。

大学時代は“自分しだい” 殻を破って挑戦を！

吉岡 和浩

(株)技研製作所 高知本社 管理本部 経理部勤務
理学部数理情報科学科(現・応用理学科)を
2007年度卒業
高知県出身



私の勤める技研製作所は、環境負荷を最小限に抑える新しい工法の開発や施工を通じて建設工事のあるべき姿を追求しています。誰もやっていないことに挑戦する、成し遂げる、というフロンティア精神を大切にしている会社です。

当社への就職活動の中で一番心に残っているのは、最終面接を受けた時のこと。帰り際に社長に呼び止められて、面接の中で私が話したことに対するフィードバックをいただきました。『自分の一番得意なこと(何よりも優れている資質)を見つけて、それを活かせる道に就くことが自分にとってプラスになる』——採用試験なのに、一学生に対して真剣に話をしてくれる姿に、人材育成に力を注いでいる会社だなと感じました。ここで働きたいと思いました。

あれから丸3年。これまで、3つの部署で様々な仕事に携わってきました。まず最初に配属されたのが、今も席を置いている経理課。その次に配属された製品開発部では、仕事の中でプログラミングなどがあり大学時代に修得した知識が役に立ちました。次に異動したのは企画営業部。ここは短かったのですが、自社の様々な製品に触れることができ勉強になりました。

現在は管理本部で、再び経理の仕事に携わっています。ここでは特にチームワークの大切さを実感しながら日々業務に取り組んでいます。実は、最初の頃は“自分の担当の仕事”をミスなく遂行することに精一杯で、その後続く業務の担当者に負担をかけてしまうことがありました。今はできる限り仕事を全体的

に見て、コミュニケーションをとるよう心掛けています。目的意識を持つこと、自己管理、準備をして確実に仕上げることの大切さ。これが、社会人になって学んだ点でしょうか。

大学時代というのは、自分しだいで自由に使える時間です。何かに挑戦したり、行動範囲を広げたり、何でもやってみればいいと思います。自分の殻の中で完結することもできるけれど、それではもったいない。私も研究以外に、よさこいチームでたくさんの学生や社会人と関わり合ったり、アーチェリー部で初めての競技に挑戦したり、4年間をめいっぱい楽しみました。

また、苦手だなと思うことや試験に必要な科目でも、まずは集中してやってみることをお勧めします。社会に出れば様々な知識や視点が求められます。柔軟に何でも吸収していけば、いずれ思わぬところで役に立つのではと思います。大学時代はそれができる時間なのです。

私自身は今後、今の業務に関するより深い知識を身につけると同時に、周辺の業務からまず見識を広め、自分のできることを増やしていきたいと考えています。「働く」ということは責任を伴います。それは一つの業務の中でもそうですし、もっと広い意味でもそう。与えられた職務を果たしていくことを通じて、地域や社会にも貢献できます。その自分なりのやり方をここで見つけたいと思っています。

これから大学生活を送られるみなさん、4年間は“あなたしだい”です。自分の殻を破って飛び出し、できるだけ多くの機会を掴み取ってってください。

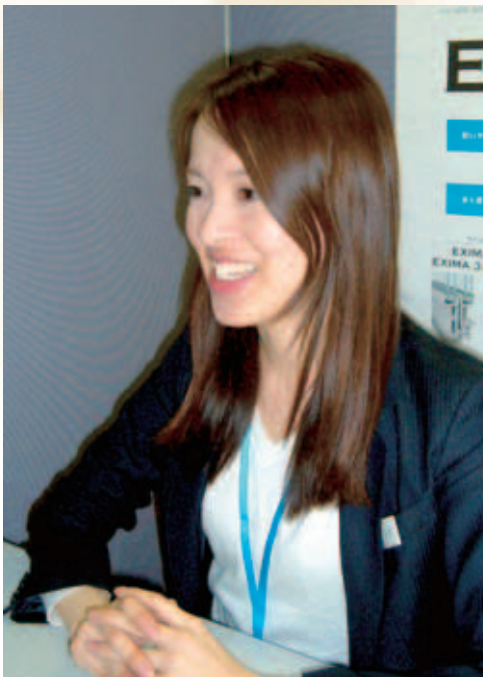


自己管理とチームワークを大切に、仕事に取り組む吉岡さん

自分の可能性の幅を広げた4年間

吉村 英里

YKKAP株式会社 事業本部
東京ビル建材統括支店 開発営業部 勤務
人文学部国際社会コミュニケーション学科を
2007年度卒業
高知県出身



私の所属している開発営業部は、主に東京都23区内の設計事務所などの設計・建築関係者に対して提案型の営業を行う部署です。「提案型営業」とは、お客様の問題点・要望などを把握し、その条件に対応出来る商品(=窓)を提案する型の営業です。お客様にとってプラスアルファの価値が与えられるような存在でないといけません。私の役割は営業活動に加え、ショールームでのプレゼンテーション、社員向け勉強会の講師、提案資料の作成など、その内容は様々です。窓は街並に大きな影響を与える存在でもあり、そこで住まう人々の生活の快適さを大きく左右する存在でもある中で、自分の提案した商品をお客様にご採用いただいた時にやりがいを感じますし、自分の携わった物件を街中で見るととてもうれしく思います。

YKKAPは失敗を恐れず新人でも思いきって仕事を任せる会社です。私は、入社1年目に役員(上席常務)の秘書業務を担当しました。ついさっきまで学生だった私に、YKKAPの経営陣の一人のスケジュール管理や来客対応を任せられた時は驚きましたが、とても貴重な経験ができたと思っています。先輩や上司など、多くのあたたかい方々に支えられながら充実した毎日を過ごしています。

大学時代は人文学部で学びました。自分自身の幅を広げるために、学科の垣根を超えて他学科の講義も受けてみたり、いくつかの資格検定にも挑戦したり、塾講師や映画館スタッフなどのアルバイトをしたり、学生時代は勉強・サークル活動・アルバイトと、



打ち合わせの様子

も忙しく過ごしました。

就職活動時、将来やりたいことがたくさんある中で、アルバイトを通じて得た社会との関わりや卒業後に企業で生き活きと働く先輩の影響を受け「モノづくり大国日本で、メーカーの一員として、商品を通じて人々の暮らしをよくしたい」という思いが自然と芽生え、企業で働く選択をしました。大学時代は多くの出会いによって様々なモノや価値観に触れ、自分の引き出しを増やすことができた4年間でした。

現在、高知大学就職室では首都圏への格安バスツアーが企画されていて、私のようなOGも参加して就職活動のアドバイスをさせていただいています。他には、主に首都圏で働く高知大学の卒業生や先生を中心に構成された高知大学OB・OG研究会での活動に参加しています。在学中も卒業後も、このような支援体制があるのも高知大学の魅力の一つではないでしょうか。

高知大学は可能性が無限にある大学です。その機会を活かすかどうかは自分次第ですが、卒業後、新たなステップに進む時に多くの選択肢を持てるよう、自分の視野を広げて様々なことにチャレンジしてほしいと思います。高知県は決して都会のような便利さはありませんが、その分都会に負けない自然の力があります。(私は高知県出身なので)個人的には大学生活を通じて高知県を好きになっていただけたらうれしく思います。自然に囲まれて過ごす皆さんの大学生活が充実したものとなりますよう、陰ながら応援しています。



自社商品を説明する吉村さん

社会からのメッセージ

社会で必要とされている人材像とはどういうものか——。

ここでは、企業から求められる人材について、また高知大学が行っているキャリア形成支援プログラムの意義について第一線で活躍されている社会人の方々からメッセージをいただきました。

希望をつなぐヘンな人

中澤 二郎 新日鉄ソリューションズ(株)人事部長

社会人師匠。そんな顔があからむ称号を、昨年高知大学からいただいた。学生向けに、その名に恥じぬ話をしてほしい。それがその称号の趣旨だった。

ヘンな人たちがいるものだ。遠い昔に会社に入り、長年人事をやってきた。その間いろんな人にも会ってきた。が、ヘンさ加減においては、高知の右にでる所はそうざらにない。

図書館長も、サラリーマンも「師匠」に仕立てる。「すじなし屋」というヘンな名をもつ東京会には、高知に無縁の人がつめかけ。かたや地元NPOは、群馬育ちの私に、高知の希望学と一緒に勉強しようとすり寄ってくる。あげくは、一期一会で別れた友が、再々この東京にやってくる。

困ったものだ。仕事にならない。私は高知に縁もなければ義理もない。にもかかわらず高知の人は、とりわけ先生方は、人を見たら仲間と思い、一晩飲んだら同志とみなす。それだけではない。そんな“高知攻め”を、知らずし

らず喜々として受け入れている自分がいるからなおさら困る。

企業はなんのために存在するか。むろん世の中をよくするためだ。そしてそのためには「三つの能力」、すなわち人を信じる力(人間力)、明日に働きかける力(コンピタンス)といわれる高い成果再現性、思いを形にする力(知識・スキル)が要ると考えている。

では、どんな人がそれにあてはまるのか。うーん、と迷いはするが、高知の「ヘンな人たち」もそれにあてはまるから笑ってしまう(あまりに身近な人たちなので…)。

ハナから人を信じて疑わない(人間力)。課題を見つければ、押したり、引いたり、倒したり。何がなんでも鍵穴をこじあけるまでは引き下がらない(コンピタンス)。もちろん教養も、技も、一流だ(知識・スキル)。

しかし、考えてみればそれもそのはず。その源流には龍馬がおり、寺田寅彦がいたではないか。「ヘン」はもちろん「変」と書く。人を変え、時代を変えた龍馬や寅彦がその

元祖であれば、その末裔の高知びとが「ヘン」ではないはずはない。そんなヘンな人たちをつくり続ける高知の先生が、「ヘン」でないことなどありえない。

だから高知をすすめる。とりわけ、若い時の高知遊学をすすめたい!

そのヘンな人たちとコトコト交わる。そのヘンな人たちを通して龍馬に出会う。寅彦と出会う。もちろん、私のような東京のヘンな人たちともたくさん出会う。そうすれば、いつしかそうした出会いが高知の希望をつむぎ、この国の明日をひらく。

そしてふと振りかえれば、あなたの確かなキャリア…^{わだち}軌ができています。



力強く社会に飛び立つための大学選び

原 正紀 産学官で活動する(株)クオリティ・オブ・ライフ代表取締役 若者支援のジョブカフェ・サポートセンター代表も務める

私はジョブカフェという若者の支援活動や自分の会社での人材ビジネスなどを通じて、多くの学生と関わってきました。高知大学では客員教授であり、もう10年以上のつながりです。私から見た高知大学は、学生の自律心を重んじながらも教育熱心で、オープンな風土を持つ学びの場です。学生たちは素直さを持ちながらも前向きで、社会に出てからも成長し続けられる人材に育っています。社会や企業が求めるのは、決して完成度の高い人材ではなく、成長し続けられる可能性ある人材で、その意味で高知大学は、社会から求められる人材を輩出してきた大学なのです。

高知大学では、通常の学問や教養の教育はもちろん、この基礎的な力を伸ばす教育が優れていると思います。社会で活躍している人を招いた勉強会や、社会人や企業とのコラボレーションによる実践的プログラム、

長期・短期の充実したインターンシップなど、先生やスタッフの皆さんが、知恵と努力で作上げた、ほかの大学にはない特徴ある教育を実行しているのです。

力をつけた学生たちが社会に飛び立つことも、手厚く支援しています。個別相談やセミナーなどの充実はもちろん、地元だけではなく全国企業への就職を目指している学生へのサポートを、東京や大阪でも行っており、企業とのネットワークも構築しています。そこまで支援する大学は少ないでしょう。卒業後のキャリア作りも応援しています。こうした努力の積み重ねが、産業界から支持される人材の育成につながっているのです。

産業界で望んでいる人材については、いろいろな要素がありますが、まとめていえば、豊かな感性を持ち、自分で考え行動できる人です。そうなるには学生生活で、のびのびと主体的に、勉強やスポーツ、その他の課外活

動に取り組むことです。高知大学には熱心な先生たちの指導のもと、そんな機会が山ほどあります。それを活かすのは、学生生活を充実させて、成長してやろうという、皆さんの前向きな心です。

大学はゴールではありません。皆さんが社会人として、素晴らしい人生に飛び立っていくための滑走路です。皆さんが若き日を過ごし、自分を高めるのにふさわしい高知大学のキャンパスで、思いっきり学生時代を駆け抜けてください!



主な就職先企業一覧 (医学部を除く) ※青字は高知県内企業

■食品関連業界

明治製菓、丸大食品、カバヤ食品、名古屋製菓、ニチレイ、ヤマザキ製パン、森永乳業、寿製菓、グリコ栄養食品、タカギペーカリー、伊藤ハム

■製造業界

バンダイ、東芝、富士通、再春館製菓所、YKK ap、京セラ、三浦工業、日本IBM、技研製作所、王子製紙、大王製紙、ミズノ、三菱自動車工業、大塚製薬、中外製薬、大日本住友製薬、エーザイ、鶴原製薬、タカラスタンダード、ニッポン高度紙工業、イトキン、ケーオー産業、サンラヴィアン、兼松エンジニアリング、デンソー、オフテクス、ニプロ、福助工業、キョウワ、鶴見製作所、三浦工業、ノダ、マルウ接着、シマノ、太陽、物産ケミカル、三菱農機、中国種苗、勇心酒造

■農業、林業、漁業

住友林業フォレストサービス、ホクト、尾鷲物産

■流通、販売、外食産業

高島屋、イオン、フジ、天満屋、旭食品、サニーマート、イズミ、マルナカ、生活協同組合コープ、三城、ヨドバシカメラ、ビッグカメラ、ヤマダ電機、メガスポーツ、良品計画、伊藤忠食品、花王カスタマーマーケティング、ニトリ、サンゲツ、マナベインテリアハーツ、西松屋チェーン、インターナカツ、岡山トヨタ自動車、ネットヨタ南国、住友金属物流、ローソン、サークルケイ四国、関、ユニマックス、コスモス薬品、丸三、王将フードサービス、日本マタイ、ナイス、エコレーディング、東京シティ青果

■エネルギー供給関連業

土佐ガス、高山産業

■金融、証券業

野村證券、大和証券、国民生活金融公庫、損害保険ジャパン、日本銀行、高知銀行、四国銀行、伊予銀行、阿波銀行、愛媛銀行、中国銀行、鳥取銀行、北国銀行、紀陽銀行、大分銀行、豊和銀行、福岡銀行、百十四銀行、トマト銀行、ひそな銀行、第一生命保険、日本生命保険、明治安田生命保険、かんぽ生命保険、高知信用金庫、京都中央信用金庫、きのくに信用金庫、水島信用金庫、日本政策金融公庫、労働金庫

■航空・運輸業界

全日本空輸(ANA)、ANAセールス、日本航空インターナショナル(JAL)、エア・ニッポン、JALスカイサービス、JALエクスプレス、JR(東日本、西日本、四国、九州)、スカイネットアジア航空、サカイ引越センター、郵船航空サービス、神姫バス、九州旅客鉄道、トナミ運輸

■建築・住宅不動産関連業界

ミサワホーム中国、横水ハウス、大和ハウス工業、ワールド開発工業、パーク24、ワールド開発工業、イムラ、大鉄工業(JR西日本グループ)、セキスイハイム九州、ミタニ建設工業

■情報・通信関連業界

高知新聞社、読売新聞、高知放送、日本放送協会(NHK)、ヤフー、楽天、NTT西日本、KDDI、ソフトバンク、富士通システムソリューションズ、西日本電信電話、高知電子計算センター、三菱電機ロジスティック、TDCソフトウェアエンジニアリング、VSN、CSKホールディングス、NECシステムテクノロジー、ヤマトシステム開発、日本システムデザイン、四国情報管理センター、アイエックス・ナレッジ、せとちシステム、日立ソフトウェアエンジニア

■インターネット

■サービス業、その他

海洋博覧会記念公園管理財団(沖縄美ら海水族館)、大阪ウォーターフロント開発(海遊館)、リクルートHRマーケティング、JT(B(中国四国、関東)、フジトラベルサービス、名鉄観光サービス、リゾートトラスト、休暇村協会、ダイヤモンドソサエティ、ノバベル、サザンシティホテル・アンジェブラン、キョードー大阪、JPホールディングス、JA職員(高知、徳島、岡山、山口ほか)、JA共済、全労済、漁協(北海道ほか)、郵便局、毎日コミュニケーションズ、応用地質、日本産業廃棄物処理、アイ・ケイ・ケイ、スタジオアリス、モンテディオ山形、モバイルコム、サーラカーズジャパン、バスコ、東洋技研、アース環境サービス、四電ビジネス、JICA

■医療・福祉

ベネッセスタイルケア、高知生協病院、日本赤十字社、エルザグライ

■教育関連

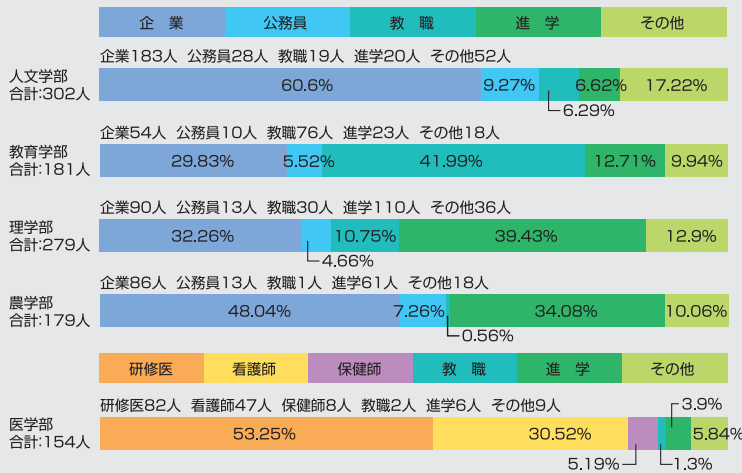
国立学校教員(高知県、岡山県、大阪府など)、私立学校教員、高知大学、岡山大学、中国黒龍省佳木大学、関西語言学院、中央出版

■公務員

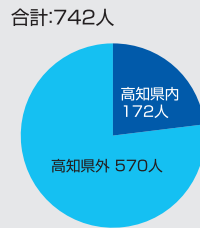
地方公務員(高知県庁、徳島県庁、兵庫県庁、岡山県庁、埼玉県庁ほか)、地方公務員(高知市役所、広島市役所、岡山市役所ほか)、警察官(高知県、愛媛県、兵庫県、広島県、京都府、大阪府、愛知県ほか)、各市町村消防局、国税庁、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、林野庁、四国運輸局、自衛隊、防衛省、裁判所

就職関連データ

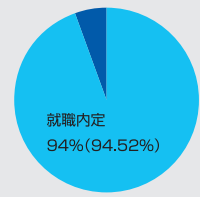
■グラフ1. 学部別就職状況(2010年3月卒業生)



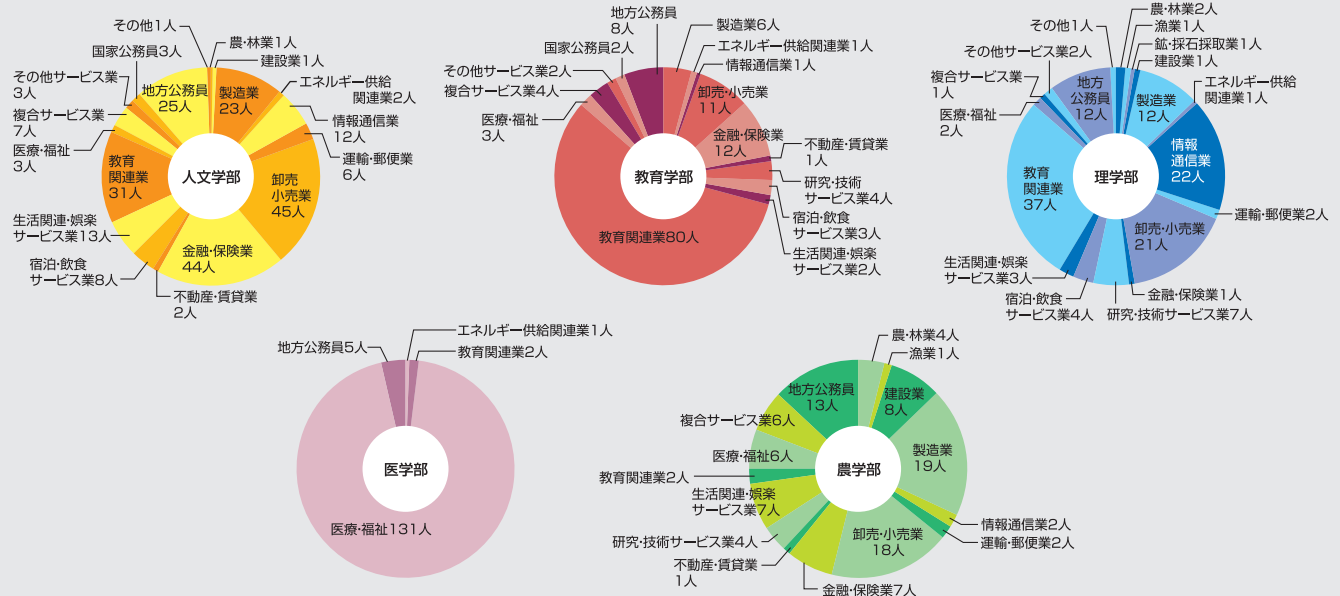
■グラフ2. 就職先の県内外比率(2010年3月卒業生)



■グラフ3. 就職希望者数に対する就職内定者数(2010年3月卒業生)



■グラフ4. 産業別内訳





受験生の皆さんへ

高知大学 学長 相良 祐輔

受験生の皆さんは、いま、生徒から学生になろうと勉学に励んでおられることでしょう。

大学生になろうと強く希望して、努力を重ねられている皆さんに、ぜひ理解しておいていただきたいことがあります。

大学に進む、学生になる、ということの基本は、あなた方自身の意志によって、教えてもらう生徒の時期に訣別し、受験し、何を学ぶかをあなた方自身が求め、決定する生活を始めるということなのです。

あなた方が真剣に求め続ける限り、高知大学は誠実にあなた方の問いかけに答え続けます。

高知大学は、地域の大学として、21世紀の日本の大学改革という要請を絶好のChanceと捉え、大学変革Changeに勇気を持ってChallengeし、21世紀にふさわしい新しい時代の智を創造Createしようとしています。

この四つのCを目標として、グレード・アップした大学に進化しつつあります。

受験生の皆さん!

この進化し続ける高知大学を目指してください!

この新しく生まれ変わった高知大学への入学のChanceを確実に捉え、生徒から学生へのChangeを果たして、21世紀の社会に十分Challengeできる能力を、みんなで一緒に開発Createしようではありませんか。

高知大学は、学生とともに進化する大学なのです。

あなた方の人生において、今、このときに求めておかねば、二度と手にすることのできないものは何か、それは、高知大学のキャンパスのどこかに必ずあります。私たち教職員は、そのようなあなた方と、共に進もうと考え、待っている、それが高知大学であります。

オープンキャンパス

Open Campus

Let's open the door!

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえ
るオープンキャンパス。

高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である
大学生たち自身も参画して、充実した内容の説明会や
体験型イベントを行っています。

あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。



平成23年

- 8月6日(土) 10:00~15:00 朝倉キャンパス：人文学部、理学部
- 8月7日(日) 10:00~15:00 朝倉キャンパス：教育学部
10:00~12:30 岡豊キャンパス：医学部看護学科
13:00~16:00 岡豊キャンパス：医学部医学科
10:00~15:00 物部キャンパス：農学部



各学部とも
盛りだくさんのメニューで
お待ちしております!

各学科/コース紹介、入試相談
模擬授業、施設見学
在校生の体験談/質問コーナーなど



[お問い合わせ先] 入試課

☎ 088-844-8766

FAX 088-844-8147



※申込方法及びその他詳細については大学HPをご覧ください。

高知大学入試情報サイト <http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>

所在地 及び 交通アクセス



1 朝倉キャンパス(人文学部・教育学部・理学部)/高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分
空港バスで約50分、「朝倉(高知大学前)」下車
車で約20分
- 高知駅から
バスで約25分
路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

2 岡豊キャンパス(医学部)/南国市岡豊町小蓮

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約30分
- 高知駅から
車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約15分

3 物部キャンパス(農学部)/南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 徒歩約15分
- 空港バス 約3分
- 高知駅から 車で約30分
空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分又は
路線バス(空港～植田線)で約20分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分又は路線バス(空港～植田線)で約20分

- 4 男子学生寮(南浜寮) 高知市朝倉丙252
- 5 女子学生寮(かつら寮) 高知市曙町1-16-1
- 6 女子学生寮(とさわ寮) 高知市朝倉東町46-33
- 7 教育学部附属小学校・中学校・幼稚園/
高知市小津町10-13・高知市小津町10-91・高知市小津町10-26
- 8 農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター(嶺北フィールド)
教育実習実験研究施設/香美市土佐山田町上穴内字栗石20-2
- 9 宇佐野外活動施設/土佐市宇佐町東町浜3159-5
- 10 海洋生物研究教育施設/土佐市宇佐町井尻194
- 11 艇庫

インターネットアクセス 及び お問い合わせ先

高知大学ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

インターネットを利用して高知大学ホームページにアクセスしてください。
入試情報や各学部・学科が独自に作成したホームページを見ることができます。

携帯電話サイト <http://daigaku.jc.kochi-u/>

イベント・ピックス情報、入試情報などを携帯電話から見ることができます。



入学者選抜に関するお問い合わせ先(ご意見・ご質問などお寄せください)

学務部入試課 TEL 088-844-8153 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています。 <http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

学務部学生支援課 TEL 088-844-8149 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail gs03@kochi-u.ac.jp

高知大学案内

発行日 2011年6月 / 発行 高知大学広報戦略室 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8643 E-mail kh13@kochi-u.ac.jp
エディトリアル・デザイン FACTORY Co.,Ltd

